LIXIL　アーキラインシェルターGK-A型　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
　表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

※太陽電池モジュールの設置条件は、太陽光が照射している時間に設置場所を確認することが重要です。障害物や向きによって、実際の発電量に影響がありますので、必ず事前に太陽光発電工事施工者の現場調査を依頼してください。
※パワーコンディショナは、壁面などに取付けてください。

⚠注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●電気設備工事は、「電気工事業法」・「電気工事士法」・「労働安全衛生規則」および「電気設備技術基準」に従ってください。なお、電気設備工事は、電気工事士の資格を保有した人が行ってください。
●パワーコンディショナ設置工事は電気工事士が行ってください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないでください。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
●設置場所の確認をしてください。
　・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
　・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
　・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
　・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。屋根上に竪樋長さ分の空間が必要です。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●取付説明書は施工完了まで捨てないでください。
●パワーコンディショナは海岸から500m以内、または潮風が直接当たる場所に設置しないでください。
●給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。

＜施工上のご注意＞

注 意

●風当たりの強い場所では、シェルターの周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●太陽電池モジュール表面のガラス面には絶対に乗らないでください。
●指定の箇所にシーリングをしてください。
●シリコンシーリングを行なう場合、当社指定のシーリング剤を使用してください。
●ガラス部分のシーリングは必ず2液性のものを使用してください。
プライマーはシーリング剤に指定されているものを使用してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。強度低下の原因になります。
●製品の改造は絶対にしないでください。強度低下またはケガの原因になります。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。強度低下またはケガの原因になります。
●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守り下さい。
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、右記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・締付けすぎない(被締結部材の破壊、ねじが塑性伸びを起こさない状態)ようにしてください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン	トスシール380
東レ・ダウコーニング	SE960

2液性シーリング剤

シーリングメーカー	品名および品番
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン	トスシール361
東レ・ダウコーニング	SE930

ボルト・ネジ締付けトルク

ネジ種類	タップ側材質		備考
	鋼材	アルミ	
M8ボルト	25N・m	12.5N・m	
M6ボルト	12N・m	―	
φ6ネジ	5N・m	2.5N・m	3種
φ5ネジ	2.9N・m	2.6N・m	3種
φ5ネジ	―	2.2N・m	3種樹脂座金付き
φ5ネジ	―	2.6N・m	ドリルネジ2種相当
φ4ネジ	―	1.2N・m	3種
φ4ネジ	―	1.2N・m	ドリルネジ2種相当

※上記値は、取付け部材同士が隙間無く締付けられた状態からの戻しトルク値（試験実測値）です。

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

補 足

●竪樋の端末以降の排水については、当社供給範囲外になっていますので、施工店様または施主様で手配してください。

＜基礎工事について＞

注 意

●基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷いてください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
●コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

ポイント

●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

＜電気配線工事について＞

注 意

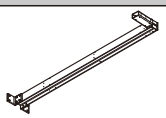
●電線の埋設工事、配線工事に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
●接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。

INDEX

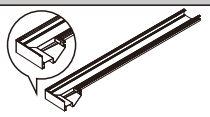
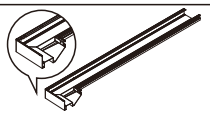
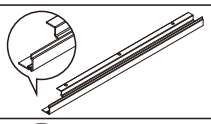
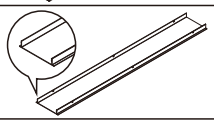
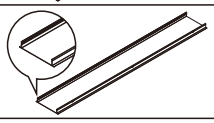
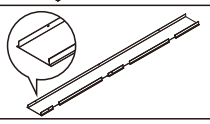
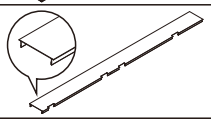
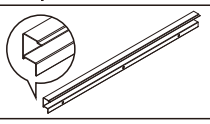
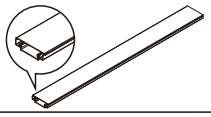
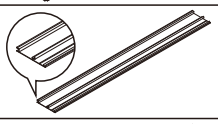
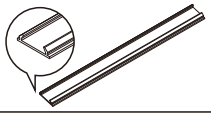
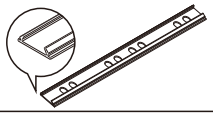
1　梱包明細表 …… 4
2　施工フロー …… 12
　1.ガラス …… 12
　2.ソーラー …… 13
3　基本寸法と各部名称 …… 14
　1.各部名称 …… 14
　2.基本寸法図 …… 20
4　本体の施工方法 …… 25
　1. 柱施工用基礎の施工と柱の取付け …… 25
　2. 桁の取付け …… 31
　3. 柱カバーの取付け …… 32
　4. 柱スペーサーの取付け …… 36
　5. 梁の取付け …… 38
　6. 前枠の取付け …… 40
　7. 梁・前枠の固定 …… 42
　8. 柱化粧枠の取付け …… 43
　9. 雨樋の取付け …… 45
　10. 梁ふた、前枠ふたの取付け …… 50
　11. 中骨の取付け …… 50
　12. 化粧枠の取付け …… 51
　13. 背面パネル金具の取付け …… 55
　14. 基礎の施工 …… 55
　15. 水抜き穴の加工 …… 56
　16. 屋根材・背面パネル・側面パネルの取付け …… 56
　17. 前枠端部キャップの取付け …… 57
　18. シーリング …… 57
5　オプションの施工方法 …… 60
　1. LEDの取付け オプション …… 60
　2. 輪止めの取付 オプション …… 67

1　梱包明細表

【1】柱

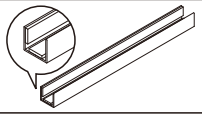
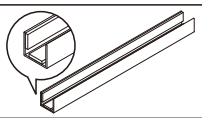
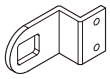
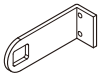
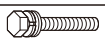
名　称	略　図	員　数
柱		1
【1-1】M12×100あと施工アンカー		4
【1-2】M20平座金		4

【2】端部柱カバー

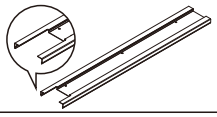
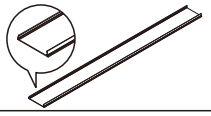
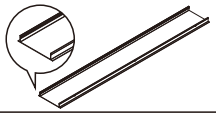
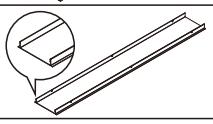
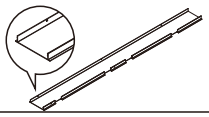
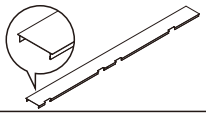
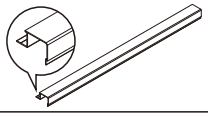
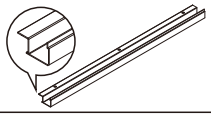
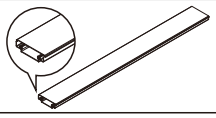
名　称	略　図	員　数					
		右	左	背面パネル用右	背面パネル用左	背面･側面パネル用右	背面･側面パネル用左
柱化粧枠(端部)		1	1	1	1	—	—
側面パネル用柱化粧枠(端部)		—	—	—	—	1	1
端部柱カバー		1	1	1	1	1	1
側面柱カバー(右)		—	1	—	—	—	—
側面柱カバー(左)		1	—	—	—	—	—
側面柱カバー(背面パネル用右)		—	—	—	1	—	1
側面柱カバー(背面パネル用左)		—	—	1	—	1	—
竪樋側柱カバー		1	1	1	1	1	1
竪樋 (H21:L=2178) (H25:L=2578)		1	1	1	1	1	1
化粧枠C		1	1	1	1	1	1
化粧枠ふた(柱) (H21:L=2249) (H25:L=2649)		1	1	1	1	—	—
化粧枠ふた (側面パネル用柱) (H21:L=2249) (H25:L=2649)		—	—	—	—	1	1

E341_201307B

【2】端部柱カバー（つづき）

名　称	略　図	員　数					
		右	左	背面パネル用右	背面パネル用左	背面・側面パネル用右	背面・側面パネル用左
背面・側面パネル端部カバー横 (L=2000)		—	—	2	—	4	2
背面・側面パネル端部カバー縦 (H21:L=2000) (H25:L=2400)		—	—	1	1	3	3
背面パネル金具A		—	—	4	4	4	4
背面パネル金具C		—	—	—	—	4	4
【2-1】M6×20座金組込六角ボルト(PW+SW)		—	—	8	8	8	8
【2-2】M6×35座金組込六角ボルト(PW+SW)		—	—	—	—	8	8

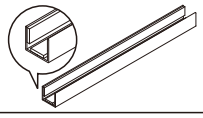
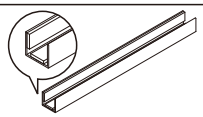
【3】中間柱カバー

名　称	略　図	員　数			
		標　準	背面パネル用右側	背面パネル用左側	背面パネル用両側
中間柱カバー		1	1	1	1
中間柱カバーふた		1	1	1	1
側面柱カバー(右)		1	—	1	—
側面柱カバー(左)		1	1	—	—
側面柱カバー(背面パネル用右)		—	1	—	1
側面柱カバー(背面パネル用左)		—	—	1	1
竪樋側柱カバー(右)		1	1	1	1
竪樋側柱カバー(左)		1	1	1	1
竪樋 (H21:L=2178) (H25:L=2578)		1	1	1	1

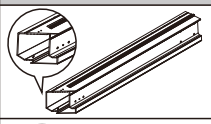
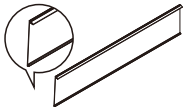
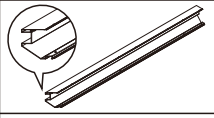
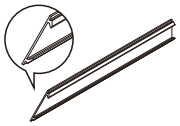
E341_201303A

■梱包明細表(つづき)

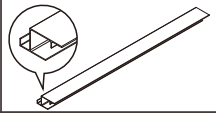
【3】中間柱カバー（つづき）

名　称	略　図	員　数			
		標　準	背面パネル用 右側	背面パネル用 左側	背面パネル用 両側
背面･側面パネル 端部カバー横　(L=2000)		—	—	2	2
背面･側面パネル　(H21:L=2000) 端部カバー縦　(H25:L=2400)		—	1	1	—
背面パネル金具A		—	4	4	8
【3-1】M6×20座金組込六角ボルト(PW+SW)		—	8	8	16

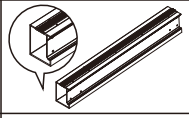
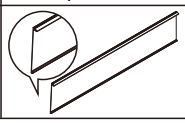
【4】端部梁

名　称	略　図	員　数
端部梁		1
梁ふた		1
梁化粧枠		1
梁化粧枠 ふた　(ガラスW21:L=1871) (ガラスW25:L=2271.5) (ソーラーW21:L=1882.6) (ソーラーW25:L=2284.8)		1

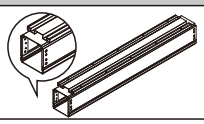
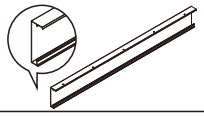
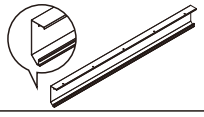
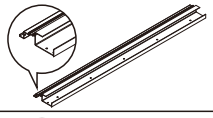
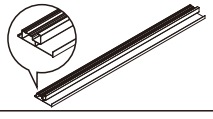
【4】端部梁（つづき）

名　称	略　図	員　数
端部枠		1

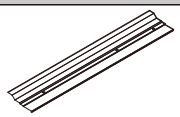
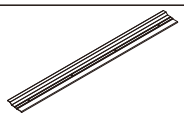
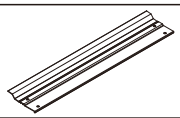
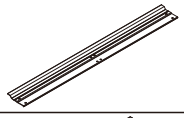
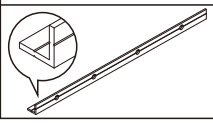
【5】中間梁

名　称	略　図	員　数
中間梁		1
梁ふた		1

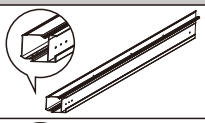
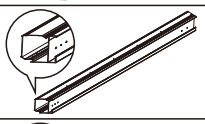
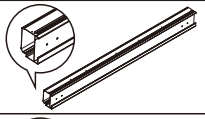
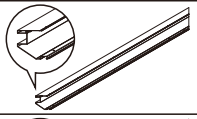
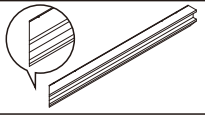
【6】桁・雨樋

名　称	略　図	員　数													
		ガラス								ソーラー					
		単独		端部右		端部左		連棟		端部右		端部左		連棟	
		L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30
桁		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁カバー(前)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁カバー(後)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋(ガラス)		1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
雨樋(ソーラー)		—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1

【6】桁・雨樋（つづき）

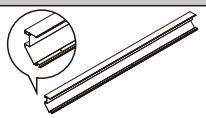
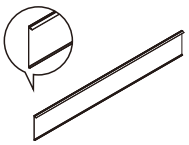
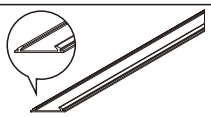
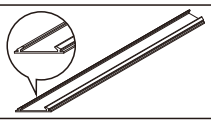
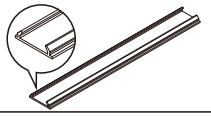
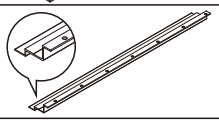
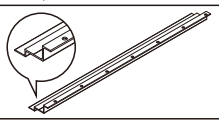
名　称	略　図	員　数													
		ガラス								ソーラー					
		単独		端部右		端部左		連棟		端部右		端部左		連棟	
		L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30
ガラス押え（雨樋端部）		2	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
ガラス押え（雨樋中間）		1	2	2	3	1	2	2	3	—	—	—	—	—	—
ソーラーパネル押え（雨樋端部）		—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—
ソーラーパネル押え（雨樋中間）		—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	1	2	2	3
ソーラーパネル押え（排水用）		—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	2	3	2	3
Lアングル		—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1

【7】前枠

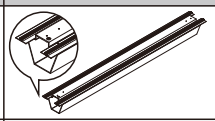
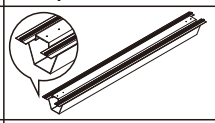
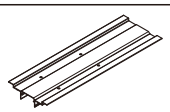
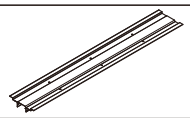
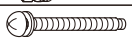
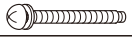
名　称	略　図	員　数						
		ガラス				ソーラー		
		単独	端部右	端部左	連棟	端部右	端部左	連棟
前枠（単独）		1	—	—	—	—	—	—
前枠（端部右）		—	1	—	—	1	—	—
前枠（端部左）		—	—	1	—	—	1	—
前枠（連棟）		—	—	—	1	—	—	1
前枠化粧枠（単独）		1	—	—	—	—	—	—
前枠化粧枠（端部右）		—	1	—	—	1	—	—
前枠化粧枠（端部左）		—	—	1	—	—	1	—

■梱包明細表(つづき)

【7】前枠（つづき）

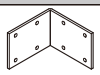
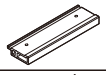
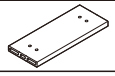
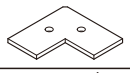
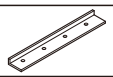
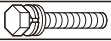
名　称	略　図	員　数						
		ガラス				ソーラー		
		単独	端部右	端部左	連棟	端部右	端部左	連棟
前枠化粧枠(連棟)		—	—	—	1	—	—	1
前枠ふた (単独L20:L=1864) (単独L30:L=2864) (端部L20:L=1867.5) (端部L30:L=2867.5) (連棟L20:L=1871) (連棟L30:L=2871)		1	1	1	1	1	1	1
前枠化粧枠（L20:L=2078) ふた(単独)（L30:L=3078)		1	—	—	—	—	—	—
前枠化粧枠（L20:L=2039) ふた(端部)（L30:L=3039)		—	1	1	—	1	1	—
前枠化粧枠（L20:L=2000) ふた(連棟)（L30:L=3000)		—	—	—	1	—	—	1
ガラス押え(前枠)		1	1	1	1	—	—	—
ソーラーパネル押え(前枠)		—	—	—	—	1	1	1

【8】中骨

名　称	略　図	員　数					
		ソーラー					
		端部右		端部左		連棟	
		L20	L30	L20	L30	L20	L30
中骨(端部)		1	1	1	1	—	—
中骨(連棟)		—	—	—	—	1	1
ソーラーパネル押え(中骨端部)		1	1	1	1	—	—
ソーラーパネル押え(中骨中間)		2	3	1	2	2	3
中骨金具		2	2	2	2	2	2
セッティングブロック（12□)		5	7	3	5	4	6
【8-1】M8×25座金組込六角ボルト(PW+SW)		8	8	8	8	8	8
【8-2】φ5×35トラスタッピンネジ3種(樹脂座金付)		1	22	10	16	12	18
【予備】φ5×35トラスタッピンネジ3種(樹脂座金付)		1	2	1	1	1	1

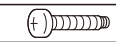
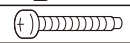
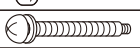
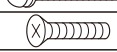
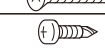
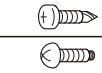
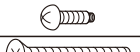
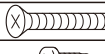
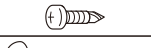
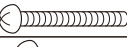
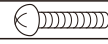
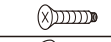
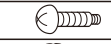
E341_201303A

【9】部品セット

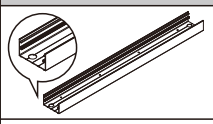
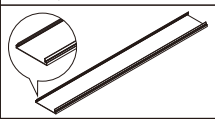
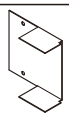
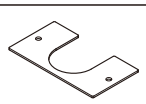
名　称	略　図	員　数							
		ガラス				ソーラー			
		基本		連棟		基本		連棟	
		L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30
端部梁前枠金具		2	2	—	—	2	2	—	—
雨樋端部キャップ右(ガラス)		1	1	—	—	—	—	—	—
雨樋端部キャップ左(ガラス)		1	1	—	—	—	—	—	—
雨樋端部キャップ右(ソーラー)		—	—	—	—	1	1	—	—
雨樋端部キャップ左(ソーラー)		—	—	—	—	1	1	—	—
前枠端部キャップ右		1	1	—	—	1	1	—	—
前枠端部キャップ左		1	1	—	—	1	1	—	—
竪樋水受け		2	2	1	1	2	2	1	1
セッティングブロック(12□)		4	6	4	6	—	—	—	—
セッティングブロック(20□)		—	—	—	—	6	8	4	6
シーリング材		1	1	—	—	1	1	—	—
中間前枠金具		—	—	1	1	—	—	1	1
中間梁金具		—	—	1	1	—	—	1	1
前枠スリーブ		—	—	1	1	—	—	1	1
端部配線カバー金具		—	—	—	—	2	2	—	—
雪おろしシール		2	2	—	—	2	2	—	—
端部柱スペーサー		2	2	—	—	2	2	—	—
中間柱スペーサー		—	—	1	1	—	—	1	1
化粧枠裏板		4	4	—	—	4	4	—	—
化粧枠連結金具		4	4	2	2	4	4	2	2
【9-1】M8×25座金組込六角ボルト(PW+SW)		32	32	24	24	32	32	24	24
【9-2】φ4×8トラスタッピンネジ3種		6	6	—	—	6	6	—	—
【9-3】φ4×12特サラタッピンネジ3種		14	15	4	5	14	15	4	5
【9-4】φ4×20ナベタッピンネジ3種		4	4	2	2	4	4	2	2
【9-5】φ5×12トラスタッピンネジ3種		46	51	20	25	46	51	20	25
【9-6】φ5×12トラスタッピンネジ3種(樹脂座金付)		25	31	13	19	35	46	23	34

■梱包明細表(つづき)

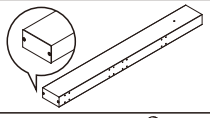
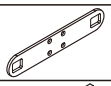
【9】部品セット(つづき)

名　称	略　図	員　数							
		ガラス				ソーラー			
		基本		連棟		基本		連棟	
		L20	L30	L20	L30	L20	L30	L20	L30
【9-7】φ5×12サラタッピンネジ3種		2	2	—	—	2	2	—	—
【9-8】φ5×16ナベタッピンネジ3種		36	36	24	24	36	36	24	24
【9-9】φ5×25ナベタッピンネジ2種		4	4	2	2	4	4	2	2
【9-10】φ5×35トラスタッピンネジ3種(樹脂座金付)		15	21	13	19	13	19	13	19
【9-11】M6×16サラ小ネジ		—	—	4	4	—	—	4	4
【9-12】φ4×10ナベドリルネジ		—	—	—	—	4	4	4	4
【9-13】φ4×10トラスタッピンネジ3種		—	—	—	—	4	4	—	—
【9-14】M6×35サラ小ネジ		4	4	4	4	4	4	4	4
【9-15】φ4×13ナベドリルネジ		—	—	2	2	—	—	2	2
【9-16】φ5×40トラスタッピンネジ3種		—	—	2	2	—	—	2	2
【9-17】φ6×25トラスタッピンネジ3種		8	8	4	4	8	8	4	4
【予備】φ4×12特サラタッピンネジ3種		1	1	—	—	1	1	—	—
【予備】φ5×12トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2	2	2	2
【予備】φ5×12トラスタッピンネジ3種(樹脂座金付)		2	2	1	1	2	2	2	2
【予備】φ5×16ナベタッピンネジ3種		2	2	2	2	2	2	2	2
【予備】φ5×35トラスタッピンネジ3種(樹脂座金付)		1	2	1	1	1	1	1	1
取付説明書(本体施工編)<E341>	—	1	1	—	—	1	1	—	—
取付説明書(ガラス施工編)<E342>	—	1	1	—	—	1	1	—	—

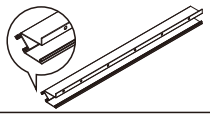
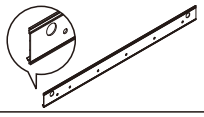
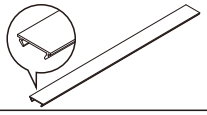
【10】配線カバー

名　称	略　図	員　数	
		H21	H25
ソーラー中間配線カバー		1	1
ソーラー中間配線カバーふた		1	1
中間配線カバー金具		1	1
配線カバー端部キャップ(下)		1	1
【10-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		8	9

【11】背面･側面パネル柱

名　称	略　図	員　数	
		中間	端部
背面・側面パネル柱		1	1
背面パネル金具B		4	-
背面パネル金具D		-	4
【11-1】φ5×14サラタッピンネジ3種		16	16

【12】LED照明 オプション

名　称	略　図	員数 L20	員数 L30
LED枠		1	1
LED台座		1	1
LED枠ふた		1	1
【12-1】φ4×10ナベタッピンネジ3種		8	12

【13】LED配線カバー オプション

名　称	略　図	員数
LED配線カバー		1
配線カバー端部金具		2
【13-1】φ4×30ナベドリルネジ		3

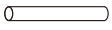
【14】LED渡り配線 オプション

名　称	略　図	員数
LED渡り配線		1

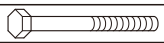
【15】束柱 オプション

名　称	略　図	員数
束柱		1
アンカー棒		1

【16】輪止めパイプ オプション

名　称	略　図	員数
輪止めパイプ		1

【17】輪止め部品セット オプション

名　称	略　図	員数 L20	員数 L30
輪止めブラケットA		2	3
輪止めブラケットプレート		2	3
輪止めパイプキャップ		2	2
小口キャップ		6	6
接着剤		1	1
【17-1】M6×65 六角ボルト		4	6
【17-2】M6 平座金		12	18
【17-3】M6 バネ座金		12	18
【17-4】M6 六角ナット		4	6
輪止めUボルト		2	3

2　施工フロー

1. ガラス

取　説	工　程	業　者
本体編	柱施工用基礎施工 ▼ 柱の建て込み ▼ 背面パネル金具取り付け（オプション） ▼ 桁の取付け ▼ 柱カバー取付 ▼ 梁の取付け ▼ 前枠の取付け ▼ 端部柱カバー取付け ▼ 竪樋取付け ▼ 桁カバー、雨樋取付け ▼ 化粧枠取付け ▼ ふた取付け ▼ 側面パネル金具取付け（オプション） ▼ 本体固定基礎コンクリート打設	エクステリア業者
ガラス編	ガラスを乗せる	ガラス業者
	▼ ガラス押え取付け	エクステリア業者
	▼ ガラス周りのシーリング	ガラス業者
本体編	▼ 本体のシーリング	エクステリア業者

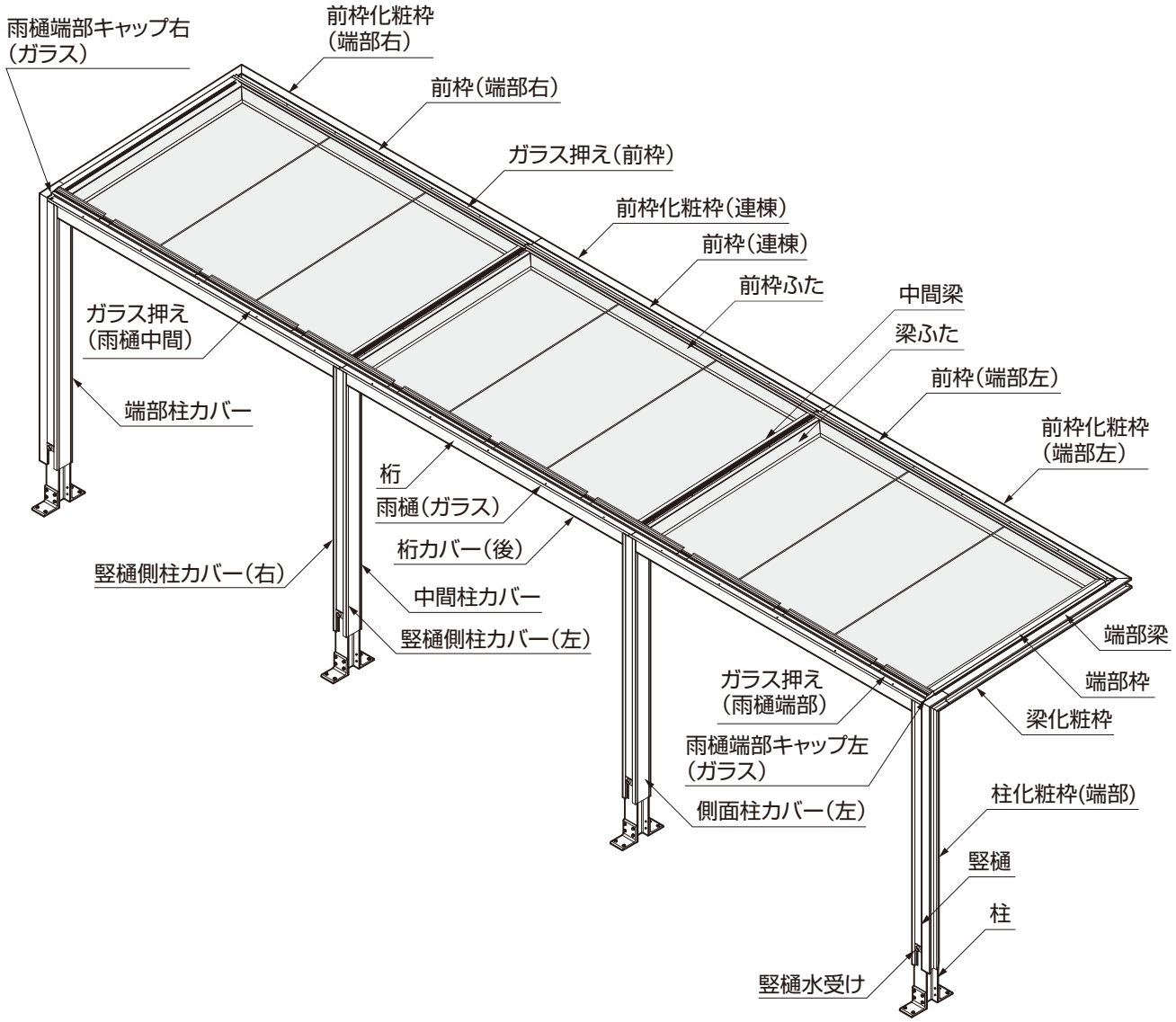
2. ソーラー

取　説	工　程	業　者
本体編	柱施工用基礎施工	エクステリア業者
	柱の建て込み	
	埋設配線・アース施工	電気工事業者
	背面パネル金具取り付け（オプション）	エクステリア業者
	桁の取付け	
	柱カバー取付	
	梁の取付け	
	前枠の取付け	
	端部柱カバー取付け	
	竪樋取付け	
	桁カバー、雨樋取付け	
	中間配線カバー取付け	
	化粧枠取付け	
	ふた取付け	
	中骨取付け	
	側面パネル金具取付け（オプション）	
	本体固定基礎コンクリート打設	
ガラス編	ソーラーパネルを乗せる	ガラス業者
	【W25】ガラス（小）を乗せる	
	配線・結線・動作確認	電気工事業者
	中間配線カバーふたの取付け	エクステリア業者
	ソーラーパネル押え取付け	
	ソーラーパネル・ガラス周りのシーリング	ガラス業者
本体編	本体のシーリング	エクステリア業者

3　基本寸法と各部名称

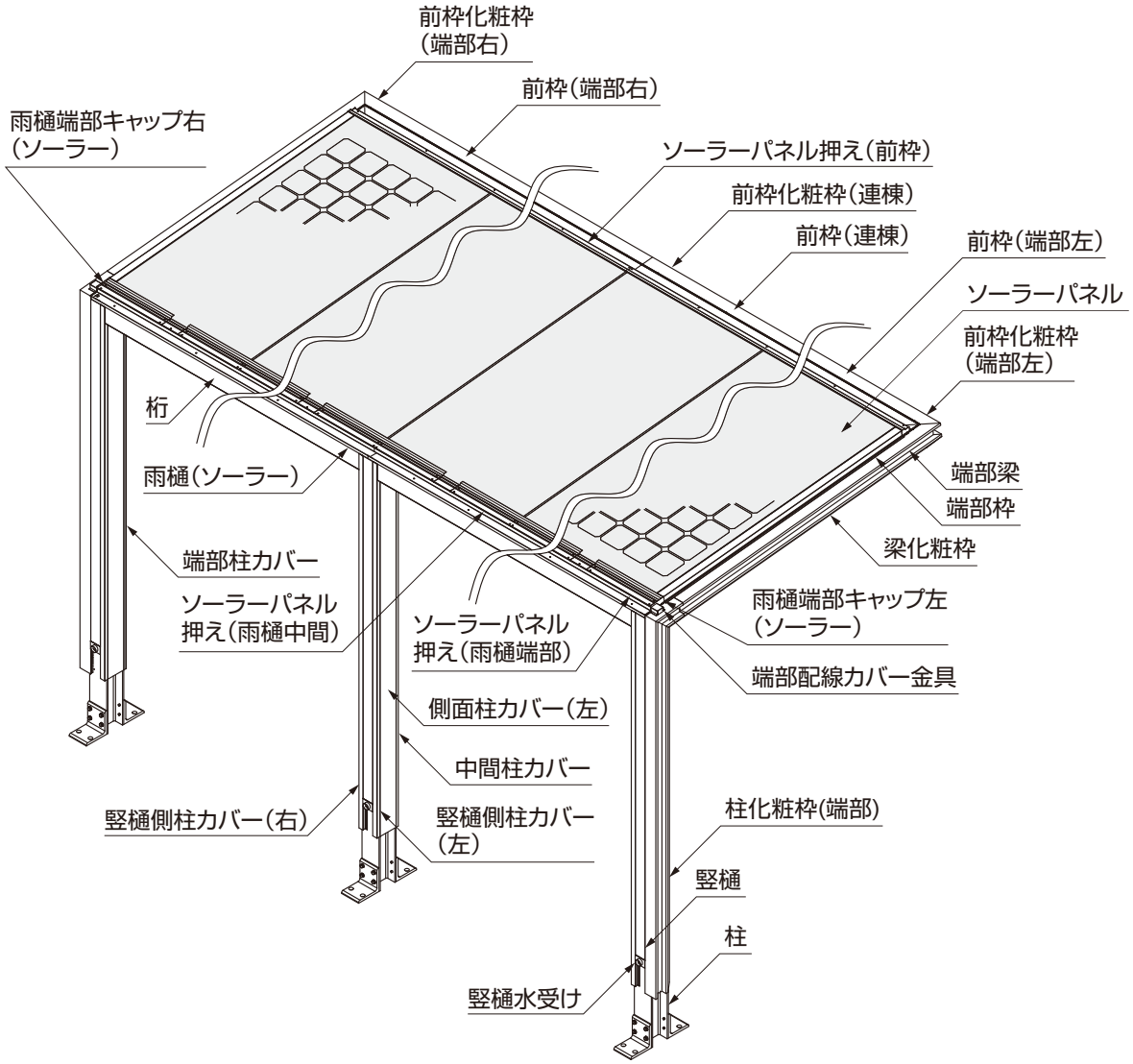
1. 各部名称

1-1　ガラス



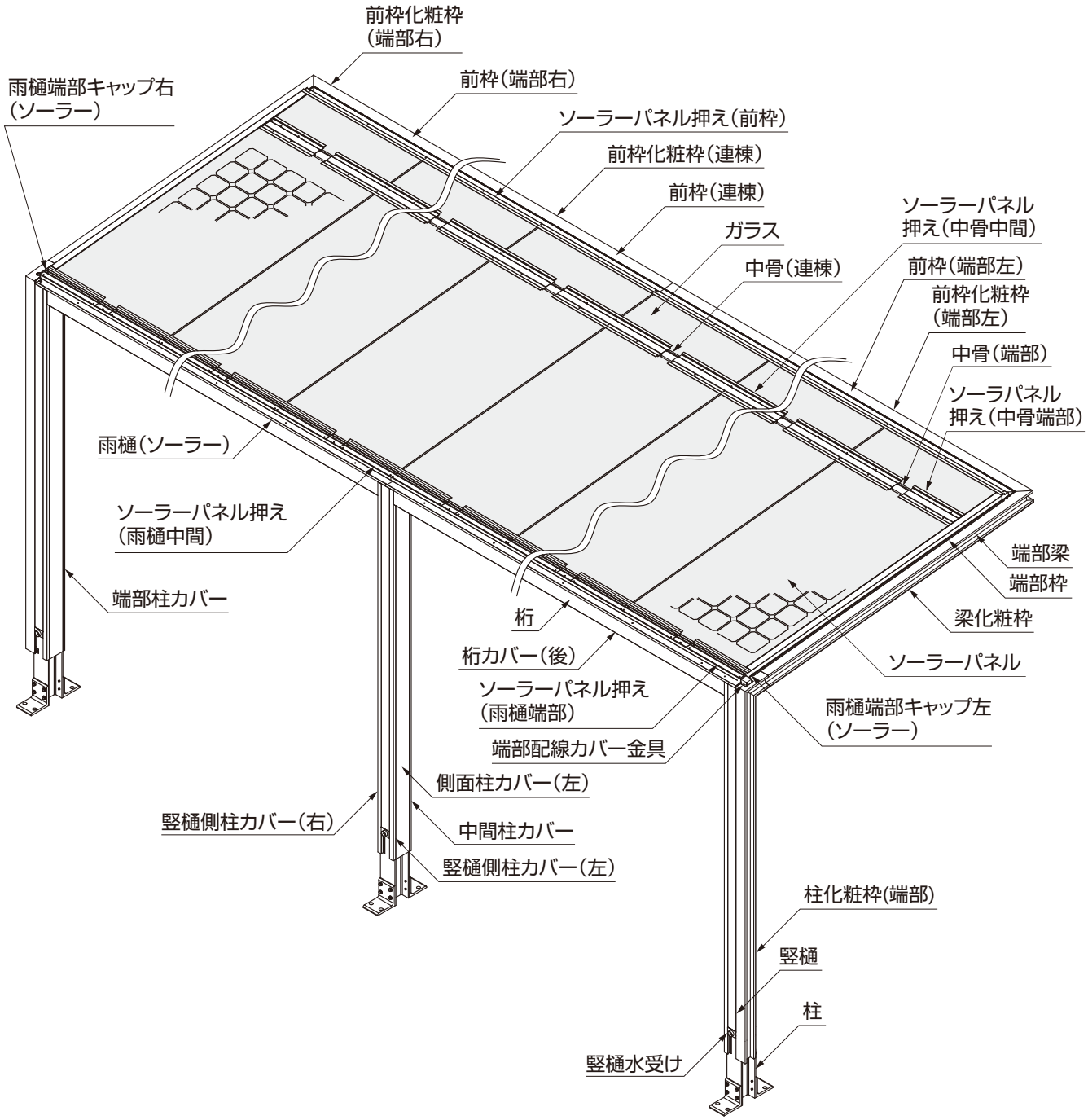
E341_201303A

1-2 ソーラー（W21）


前枠化粧枠
(端部右)
前枠(端部右)
雨樋端部キャップ右
(ソーラー)
ソーラーパネル押え(前枠)
前枠化粧枠(連棟)
前枠(連棟)
前枠(端部左)
ソーラーパネル
前枠化粧枠
(端部左)
桁
雨樋(ソーラー)
端部梁
端部枠
梁化粧枠
端部柱カバー
ソーラーパネル
押え(雨樋中間)
ソーラーパネル
押え(雨樋端部)
雨樋端部キャップ左
(ソーラー)
端部配線カバー金具
側面柱カバー(左)
中間柱カバー
竪樋側柱カバー(右)
竪樋側柱カバー
(左)
柱化粧枠(端部)
竪樋
柱
竪樋水受け

1. 各部名称(つづき)

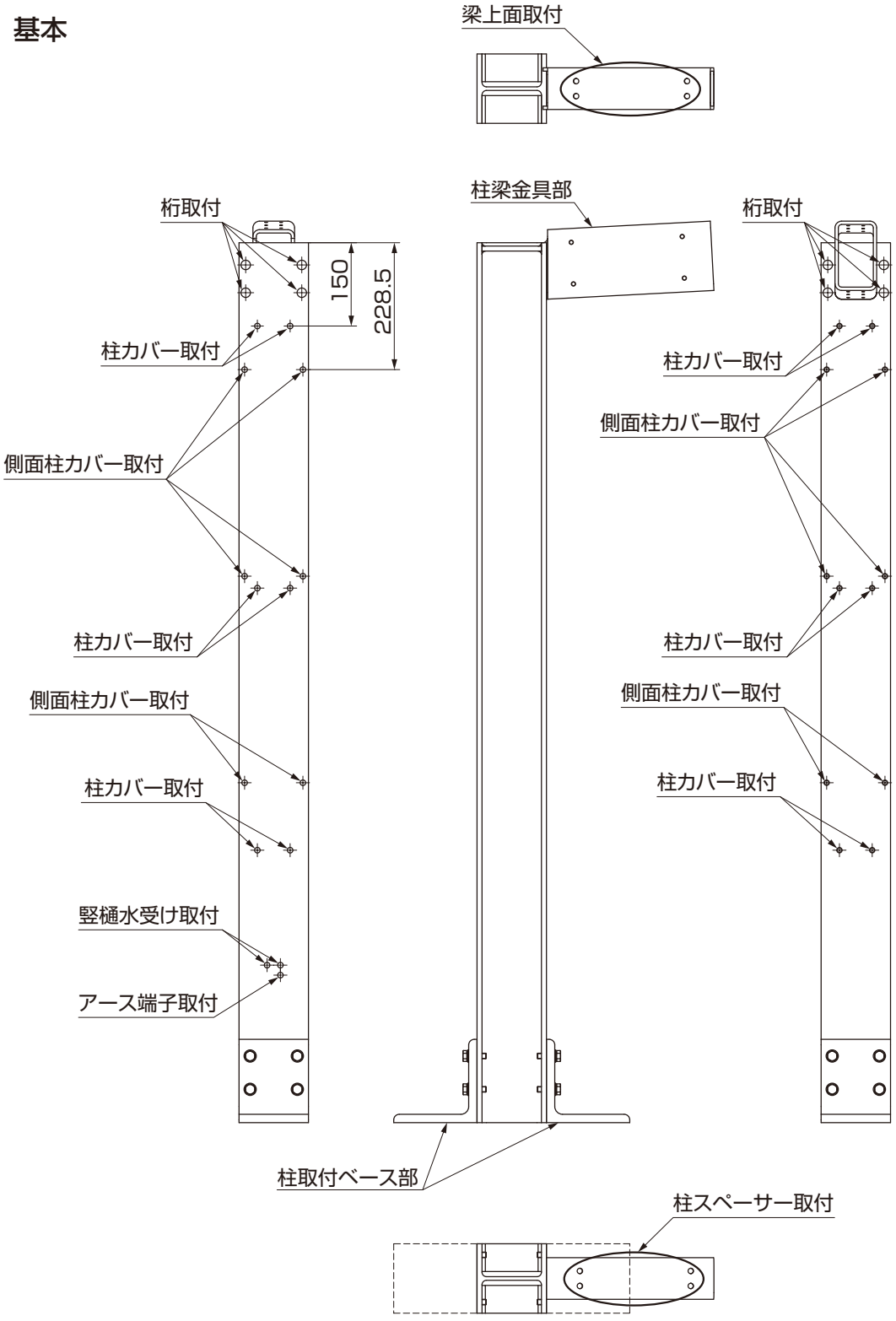
1-3 ソーラー（W25）



E341_201303A

1-4 柱概略図

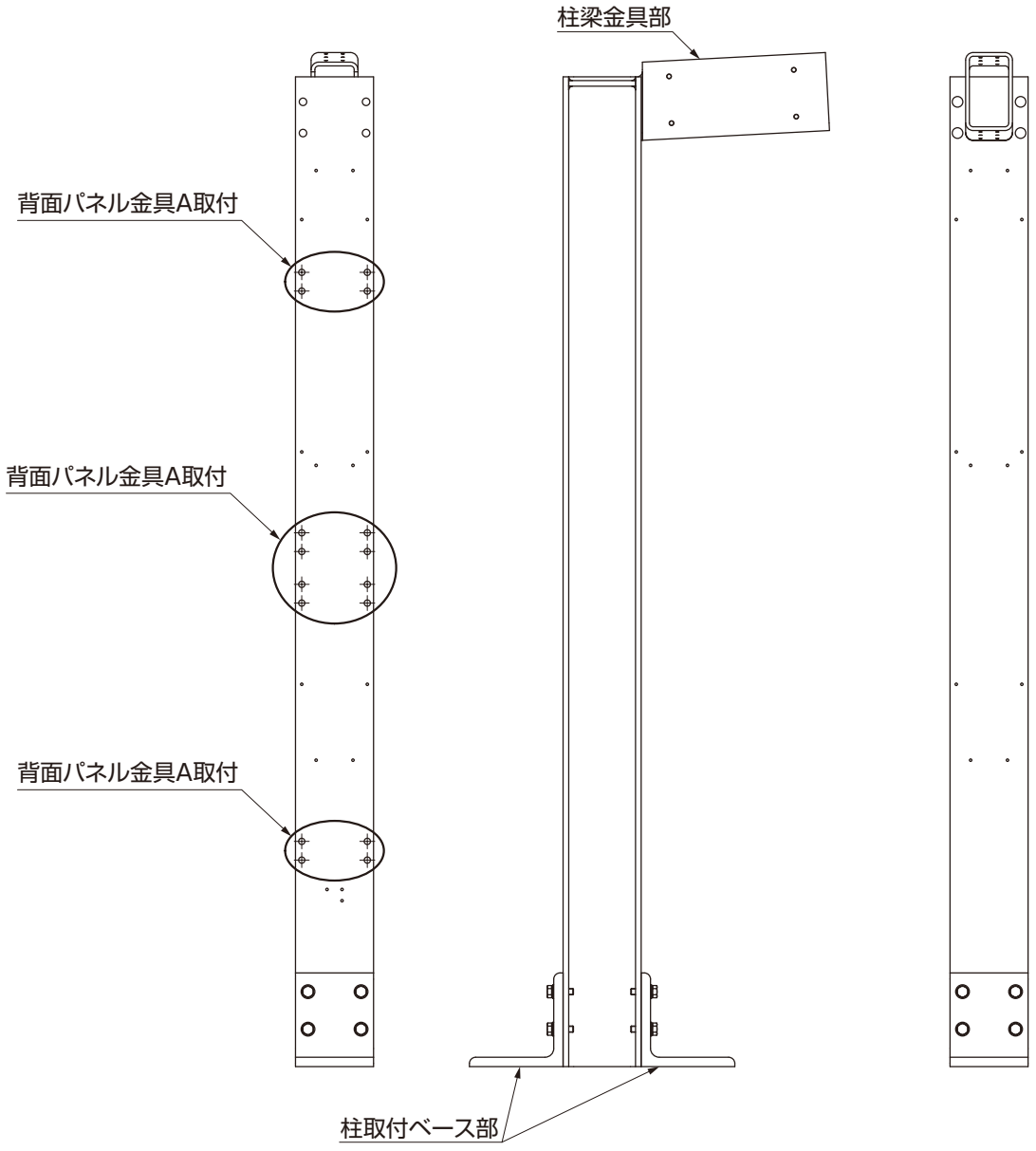
（1）基本


梁上面取付
柱梁金具部
桁取付
桁取付
150
228.5
柱カバー取付
柱カバー取付
側面柱カバー取付
側面柱カバー取付
柱カバー取付
柱カバー取付
側面柱カバー取付
側面柱カバー取付
柱カバー取付
柱カバー取付
竪樋水受け取付
アース端子取付
柱取付ベース部
柱スペーサー取付

1. 各部名称(つづき)

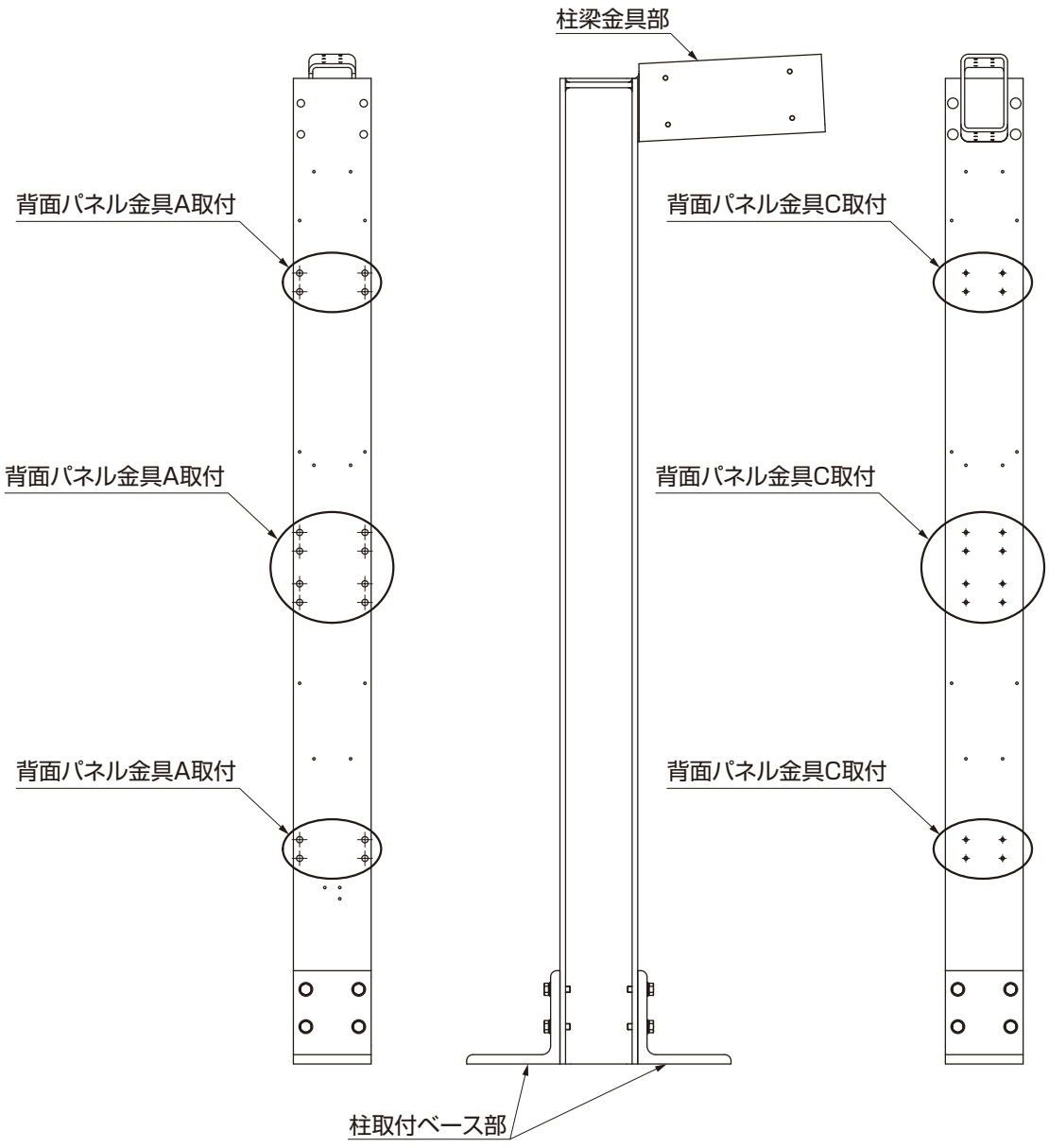
1-4 柱概略図（つづき）

（2）背面パネル用柱（P.17の基本に下記の穴があいています。）



E341_201303A

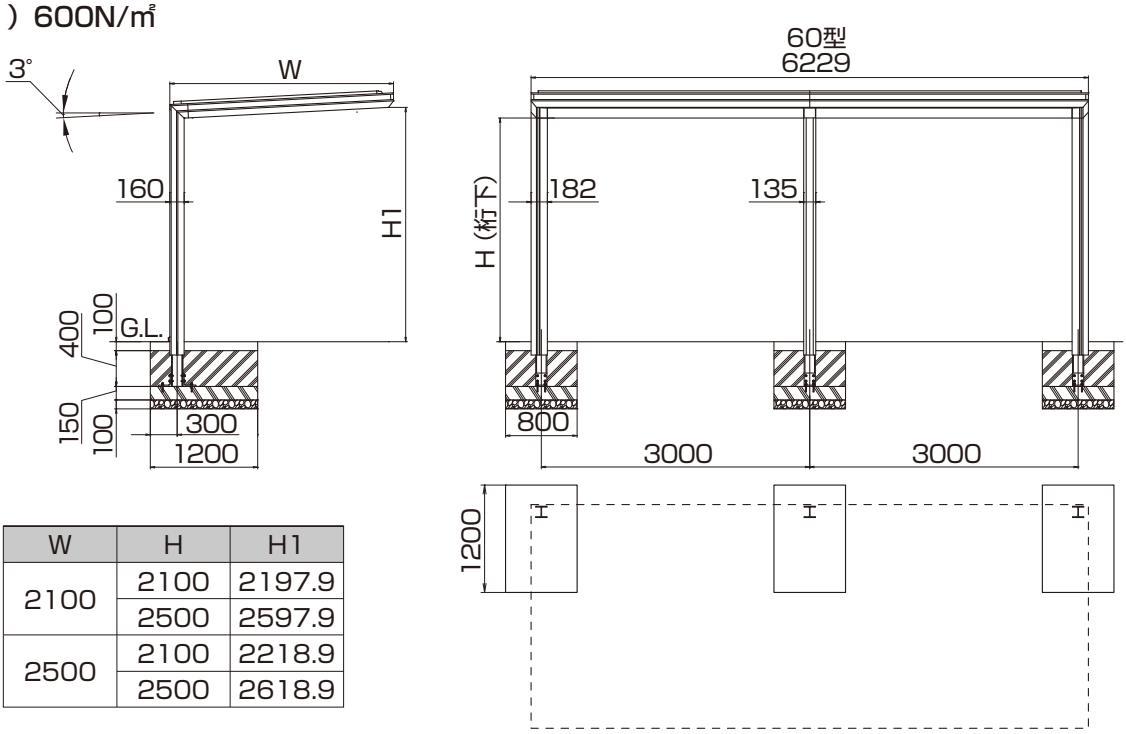
（3）背面・側面パネル用柱（P.17の基本に下記の穴があいています。）



2. 基本寸法図

2-1 ガラス

(1) 600N/㎡

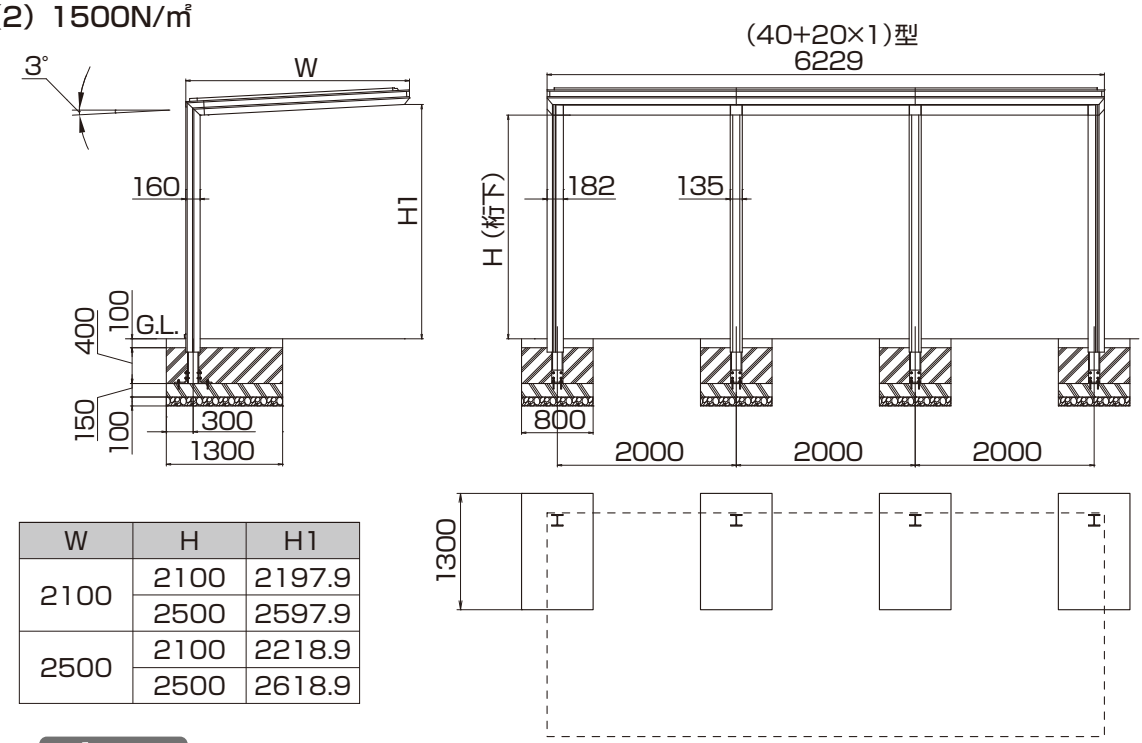


W	H	H1
2100	2100	2197.9
	2500	2597.9
2500	2100	2218.9
	2500	2618.9

補足

●基礎は基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/m² 時の参考寸法です。

(2) 1500N/㎡



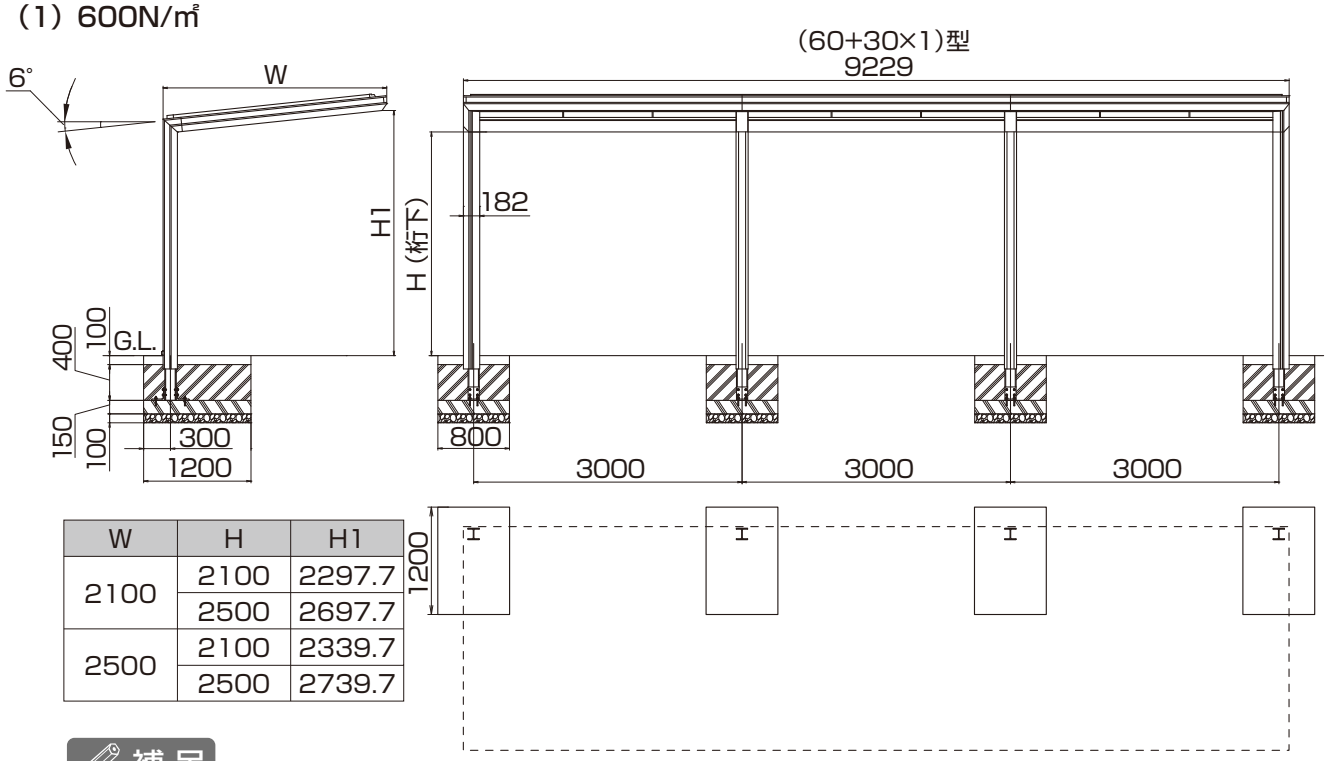
W	H	H1
2100	2100	2197.9
	2500	2597.9
2500	2100	2218.9
	2500	2618.9

補足

●基礎は基準風速 40m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/m² 時の参考寸法です。

2-2 ソーラー

(1) 600N/㎡

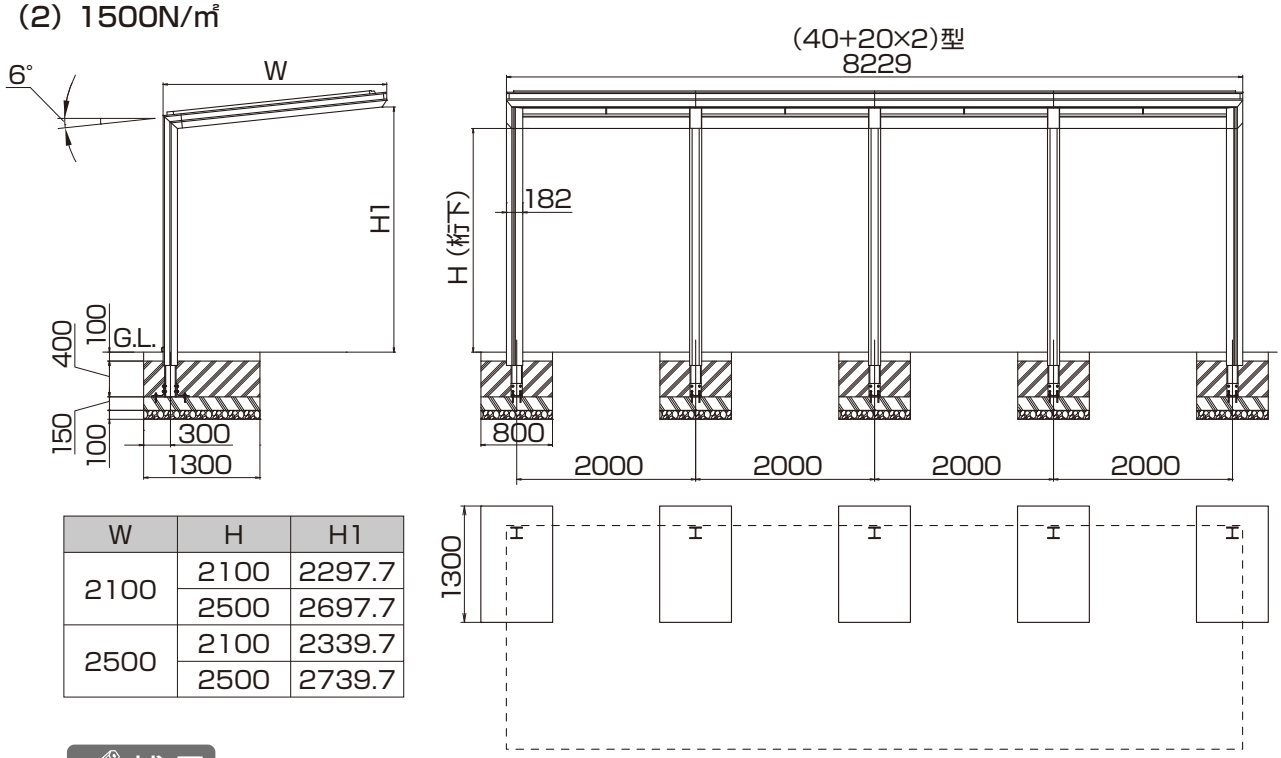


W	H	H1
2100	2100	2297.7
	2500	2697.7
2500	2100	2339.7
	2500	2739.7

補足

●基礎は基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/m² 時の参考寸法です。

(2) 1500N/㎡



W	H	H1
2100	2100	2297.7
	2500	2697.7
2500	2100	2339.7
	2500	2739.7

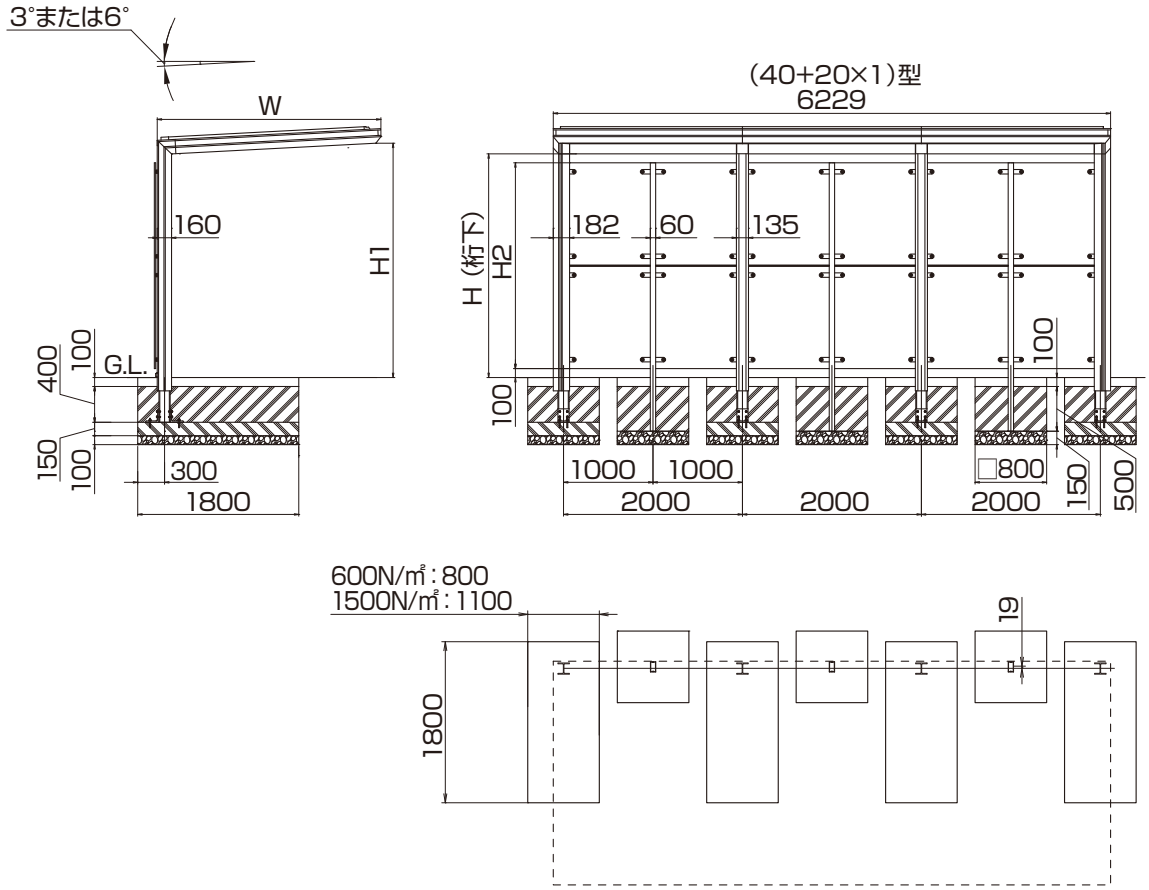
補足

●基礎は基準風速 40m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/m² 時の参考寸法です。

2. 基本寸法図(つづき)

2-3 背面パネル付(ガラス・ソーラー)

(1) 背面パネル

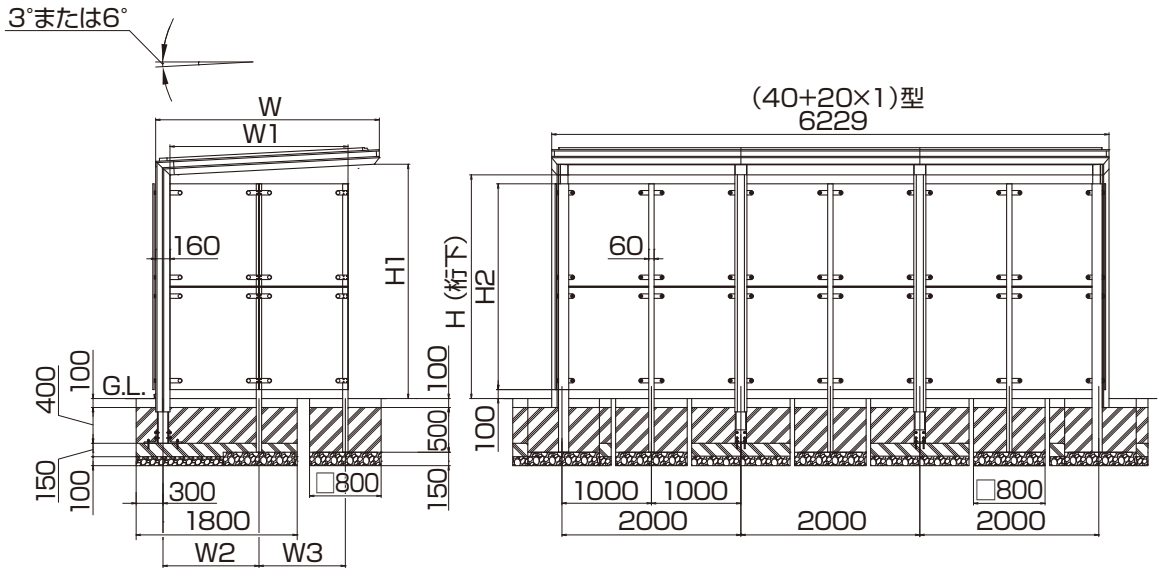


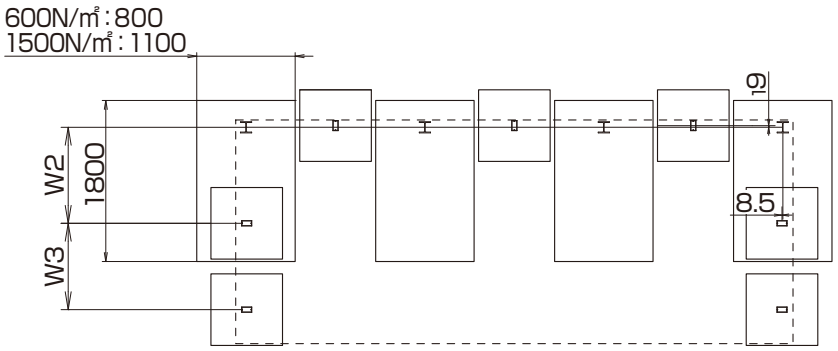
W	H	H1		H2
		ガラス	ソーラー	
2100	2100	2197.9	2297.7	1900
	2500	2597.9	2697.7	
2500	2100	2218.9	2339.7	2300
	2500	2618.9	2739.7	

補足

●基礎は600N/㎡は基準風速34m/s、1500N/㎡は基準風速40m/sで、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/㎡時の参考寸法です。

(2) 背面パネル + 側面パネル付(ガラス・ソーラー)





W	H	H1		H2	W1	W2	W3
		ガラス	ソーラー				
2100	2100	2197.9	2297.7	1900	1930	1043	935
	2500	2597.9	2697.7				
2500	2100	2218.9	2339.7	2300	1990	1073	965
	2500	2618.9	2739.7				

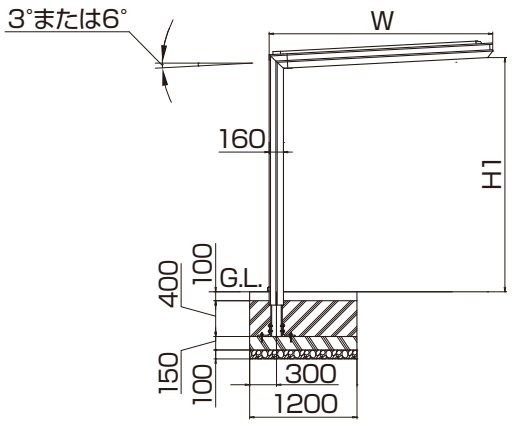
補足

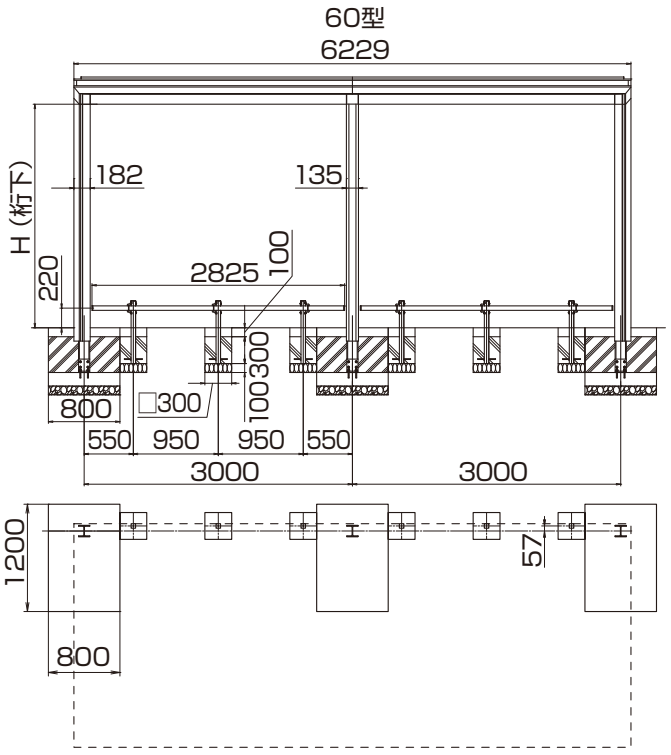
●基礎は600N/㎡は基準風速34m/s、1500N/㎡は基準風速40m/sで、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/㎡時の参考寸法です。

2. 基本寸法図（つづき）

2-4 輪止め付き（ガラス・ソーラー）

(1) 600N/㎡



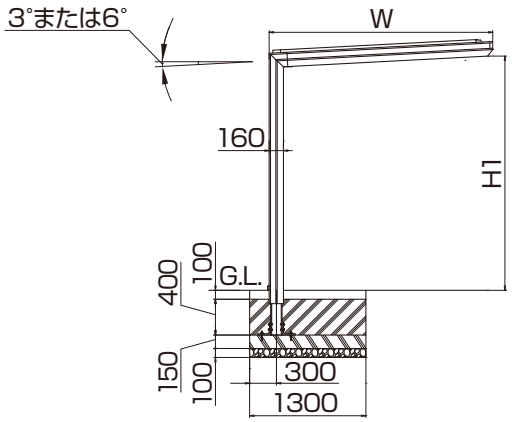


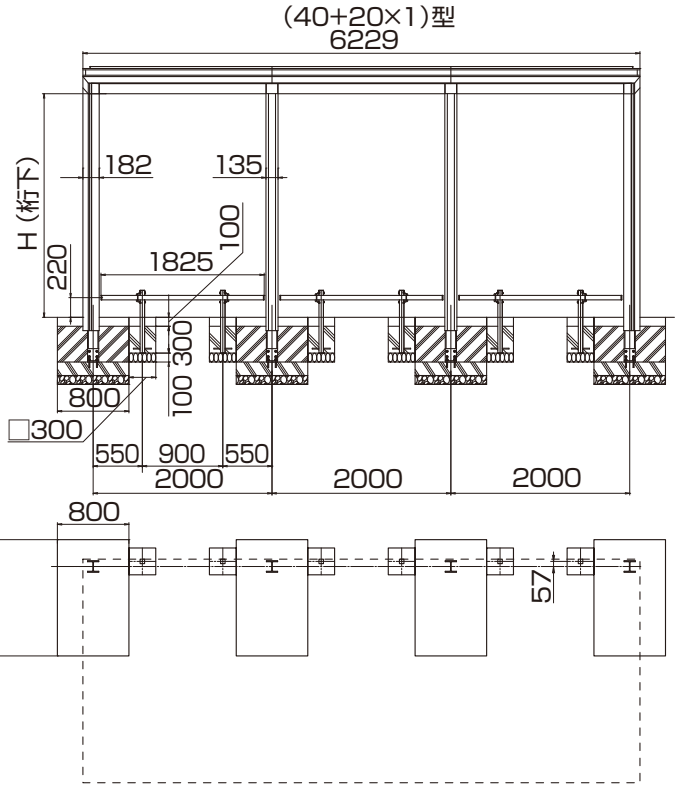
W	H	H1	
		ガラス	ソーラー
2100	2100	2197.9	2297.7
	2500	2597.9	2697.7
2500	2100	2218.9	2339.7
	2500	2618.9	2739.7

補 足

●基礎は基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/m² 時の参考寸法です。

(2) 1500N/㎡





W	H	H1	
		ガラス	ソーラー
2100	2100	2197.9	2297.7
	2500	2597.9	2697.7
2500	2100	2218.9	2339.7
	2500	2618.9	2739.7

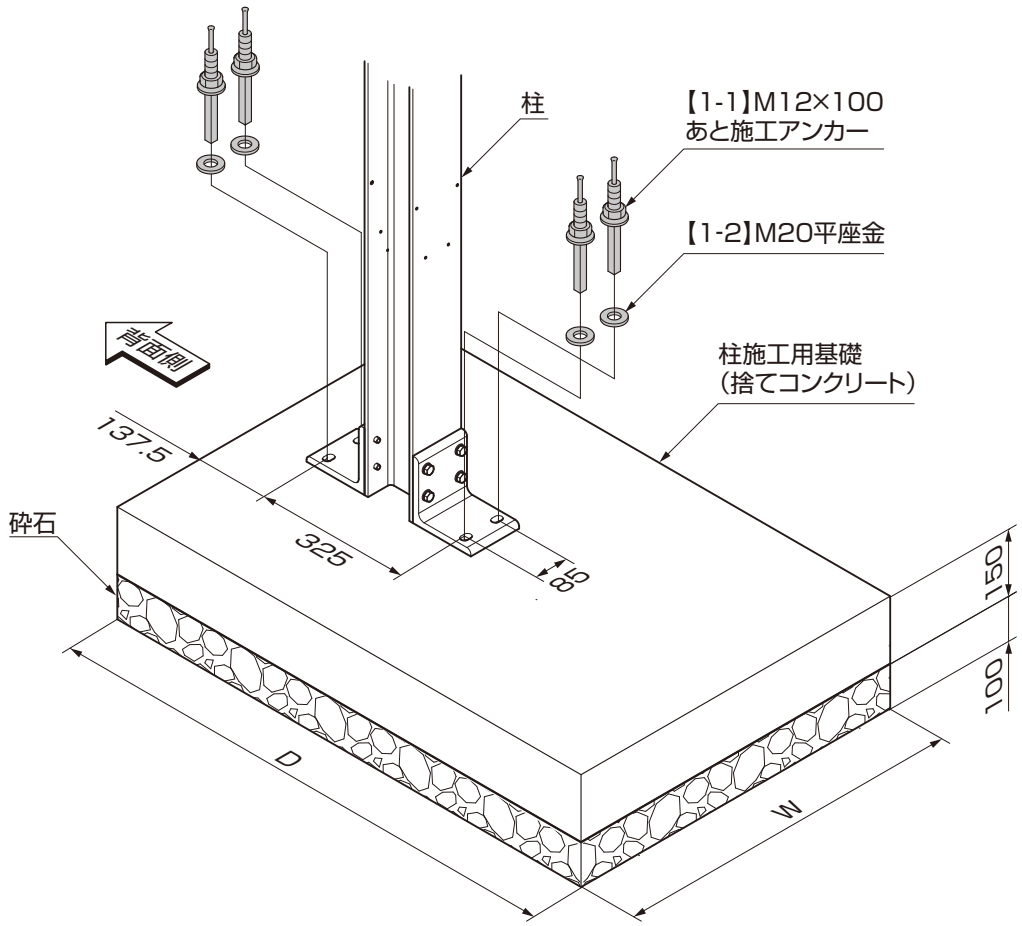
補 足

●基礎は基準風速 40m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/m² 時の参考寸法です。

4　本体の施工方法

1. 柱施工用基礎の施工と柱の取付け

1-1　ガラス



アンカー施工資料

ドリル径	穴深さ
12.7mm	60～70mm

表1-1

	600N/㎡	1500N/㎡
W	800	800
D	1200	1300

⚠注 意

●基礎は十分な養生期間をとってください。アンカーが抜け、柱が倒れるおそれがあります。

①柱を【1-1】【1-2】で取付けてください。

ポイント

●各柱の水平レベルが同一になるように調整してください。
●柱の垂直、前後位置を確認してください。
●捨てコンクリートは平らに仕上げてください。製品が組み付けられなくなるおそれがあります。
●柱の芯々でピッチを出してください。
●アンカーのナットは仮固定とし、柱・桁・梁・前枠取付け後に本締めしてください。

補 足

●柱化粧枠取付後、コンクリート施工してください。
●ガラス・ソーラーパネル施工前には基礎コンクリートの打設が必要です。
●基礎寸法はP.20～24「2.基本寸法図」を参照してください。

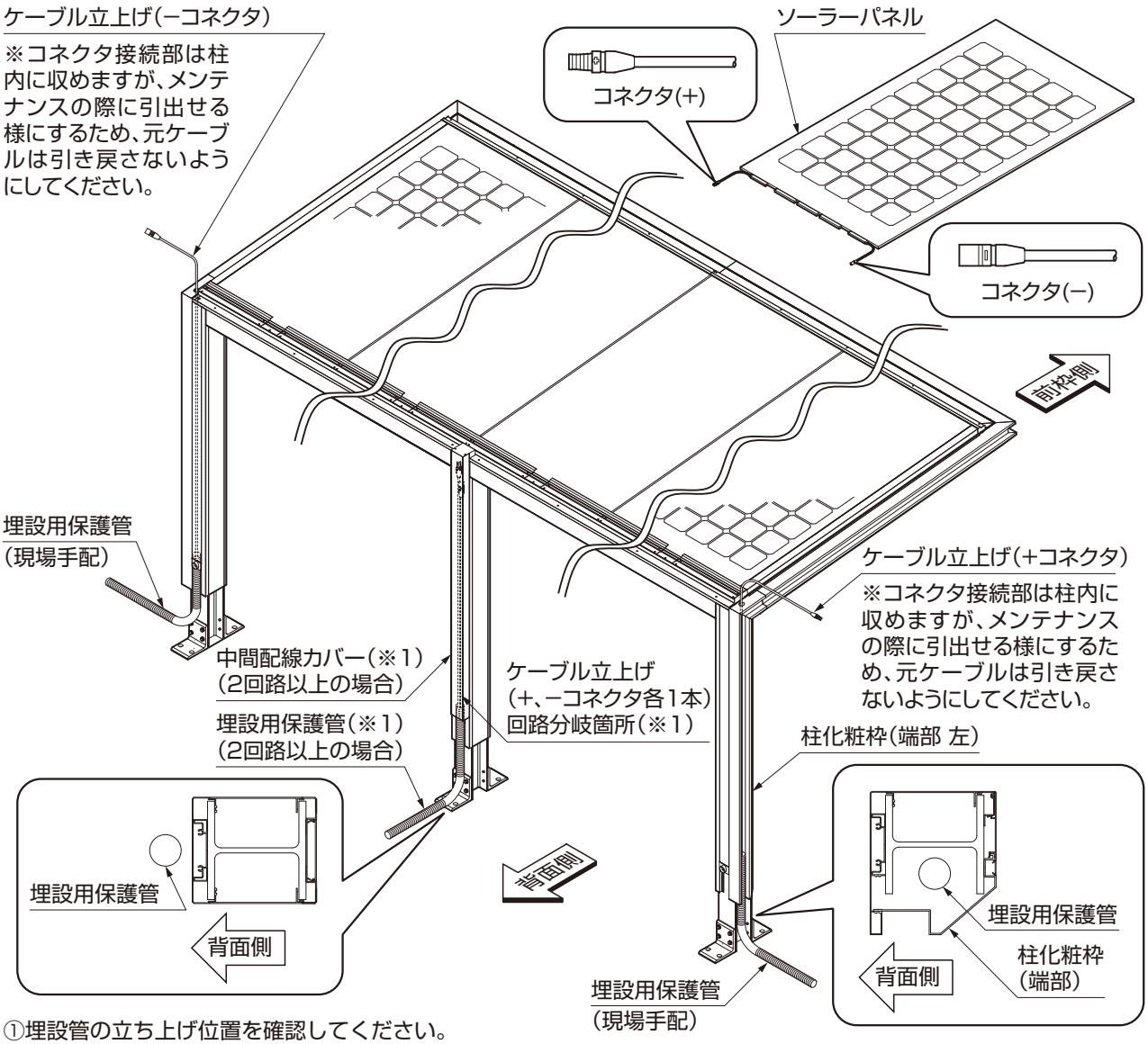
1. 柱施工用基礎の施工と柱の取付け（つづき）

1-2 ソーラー

（1）配線位置の確認

注 意

- ●電気配線工事に関しては、電気工事有資格者による施工をお願いします。
- ●電気配線工事は「電気工事業法」、「電気工事士法」、「労働安全衛生規則」および「電気設備技術基準」にしたがってください。



①埋設管の立ち上げ位置を確認してください。

ポイント

- ●ソーラーパネルのコネクタに接続できる長さを敷設してください。
- ●柱化粧枠を取りつける前にケーブルを敷設してください。
- ●基礎コンクリート打設前に中間配線カバーを取付けてケーブル敷設してください。
- ●2回路以上になる場合、回路を切り分ける中間柱にも埋設管を敷設してください。（※1）

補 足

- ●埋設用保護管は現場手配してください。

(2) 柱の取付け

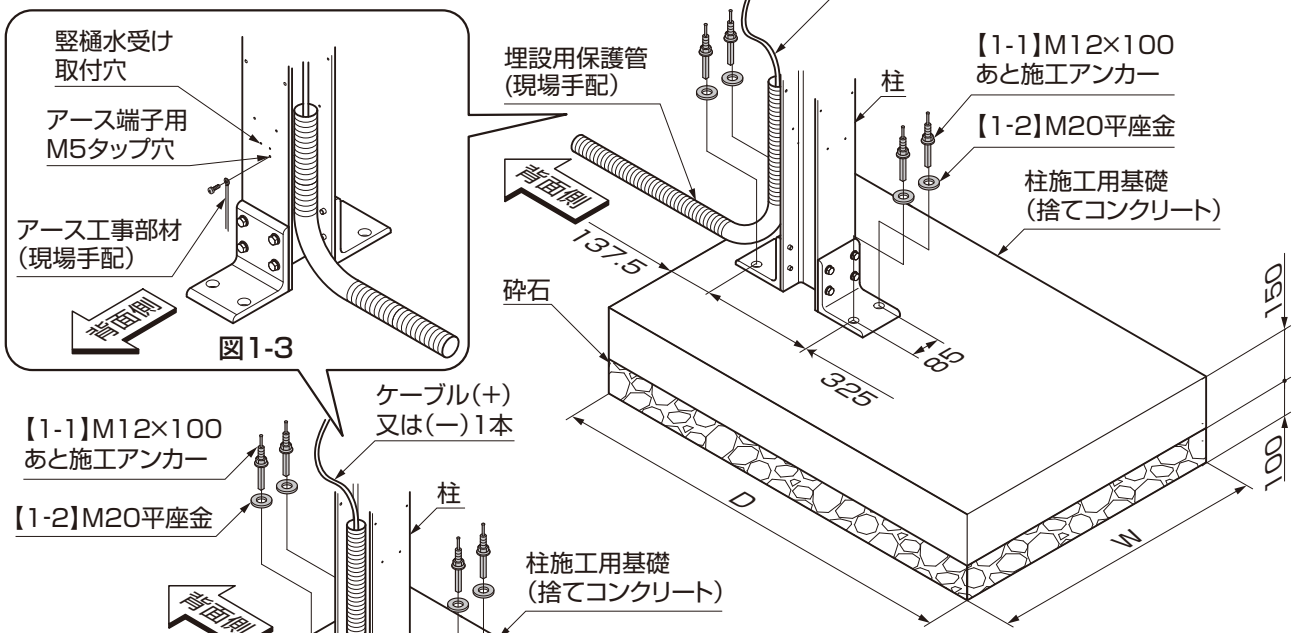


図1-2　中間部に配線が必要な場合

図1-3

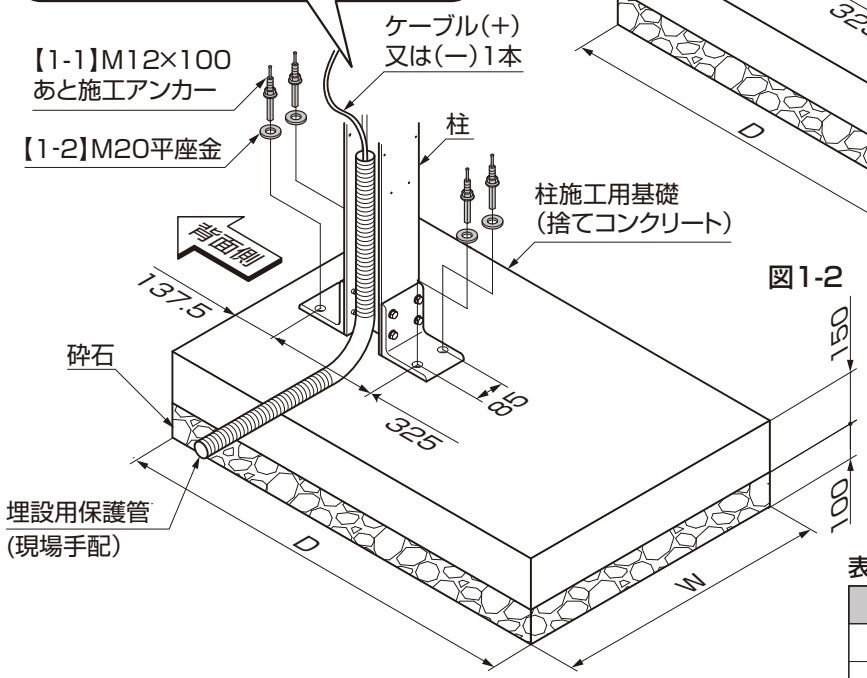


図1-1　端部の場合

アンカー施工資料

ドリル径	穴深さ
12.7mm	60~70mm

表1-2

	600N/㎡	1500N/㎡
W	800	800
D	1200	1300

⚠ 注 意

●基礎は十分な養生期間をとってください。アンカーが抜け、柱が倒れるおそれがあります。
●太陽電池モジュールを取付ける場合、D 種接地工事の必要があります。

①柱を【1-1】【1-2】で取付けてください。
②柱にアース工事部材(現場手配)を取付けてください。(D種接地工事)(図1-3参照)

ポイント

●各柱の水平レベルが同一になるように調整してください。
●柱の垂直、前後位置を確認してください。
●捨てコンクリートは平らに仕上げてください。製品が組み付けられなくなるおそれがあります。
●柱の芯々でピッチを出してください。
●アンカーのナットは仮固定とし、柱・桁・梁・前枠取付け後に本締めしてください。
●中間部に配線が必要な場合は、パワーコンディショナからケーブルを敷設してください。(図1-2参照)

補 足

●柱化粧枠取付後、コンクリート施工してください。
●ガラス・ソーラーパネル施工前には基礎コンクリートの打設が必要です。
●基礎寸法はP.20~24「2.基本寸法図」を参照してください。
●柱のアース端子取付穴は、P.17「 1-4 柱概略図」を参照してください。

1. 柱施工用基礎の施工と柱の取付け（つづき）

1-3 背面パネル・側面パネル

（1）背面パネル金具の取付け

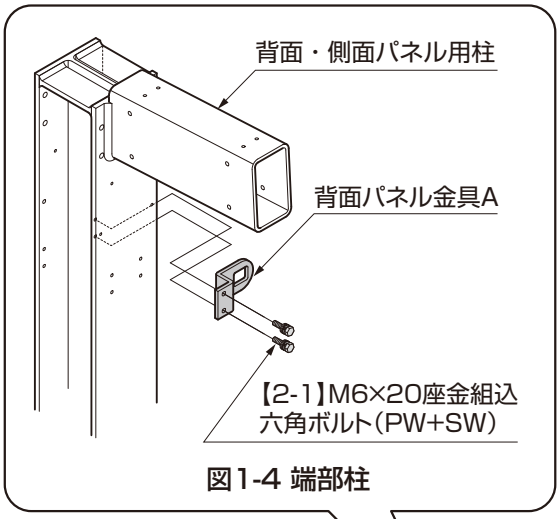


図1-4 端部柱

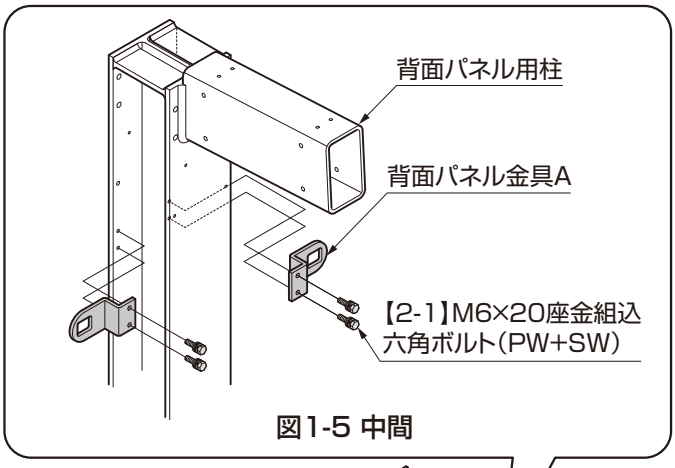


図1-5 中間

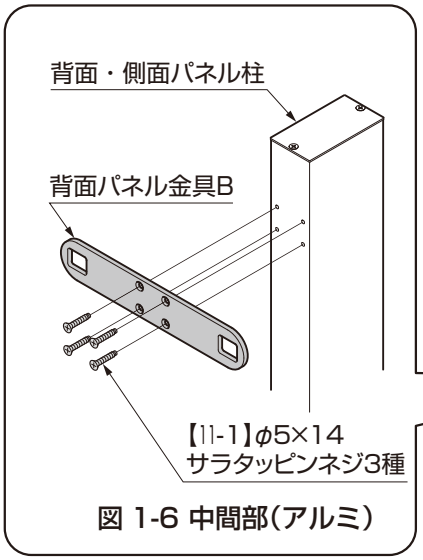
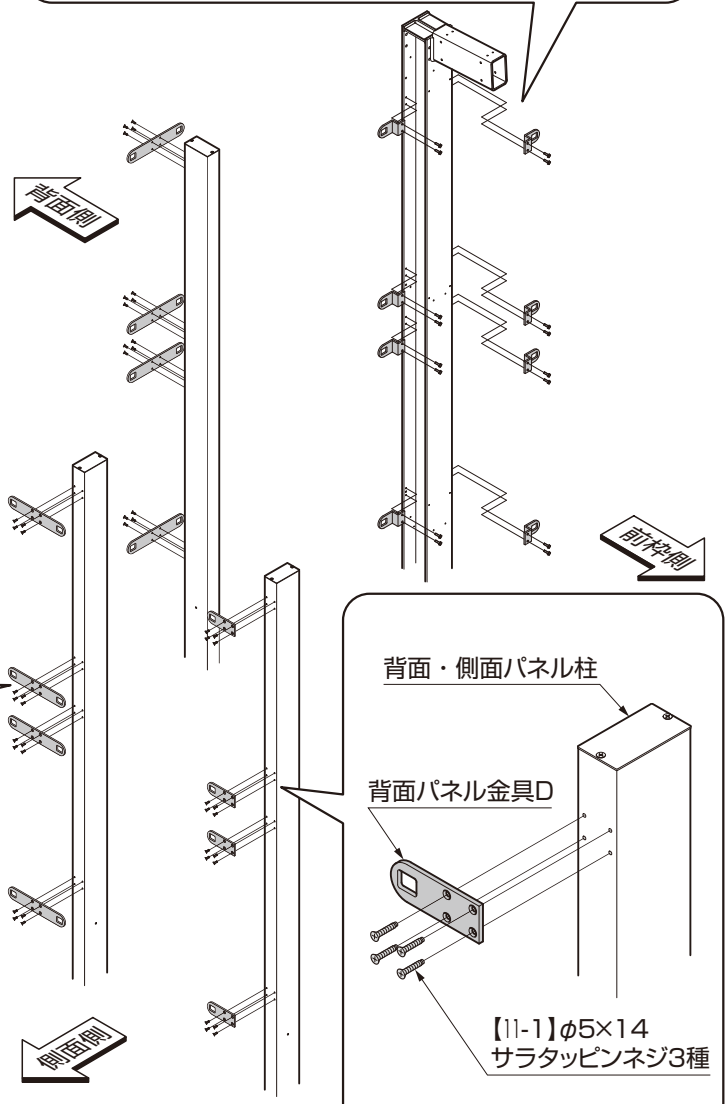


図 1-6 中間部（アルミ）



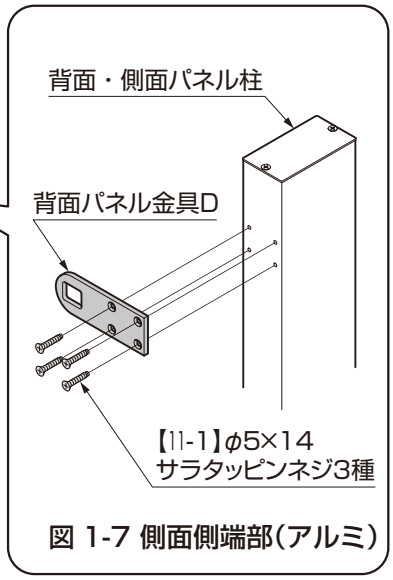


図 1-7 側面側端部（アルミ）

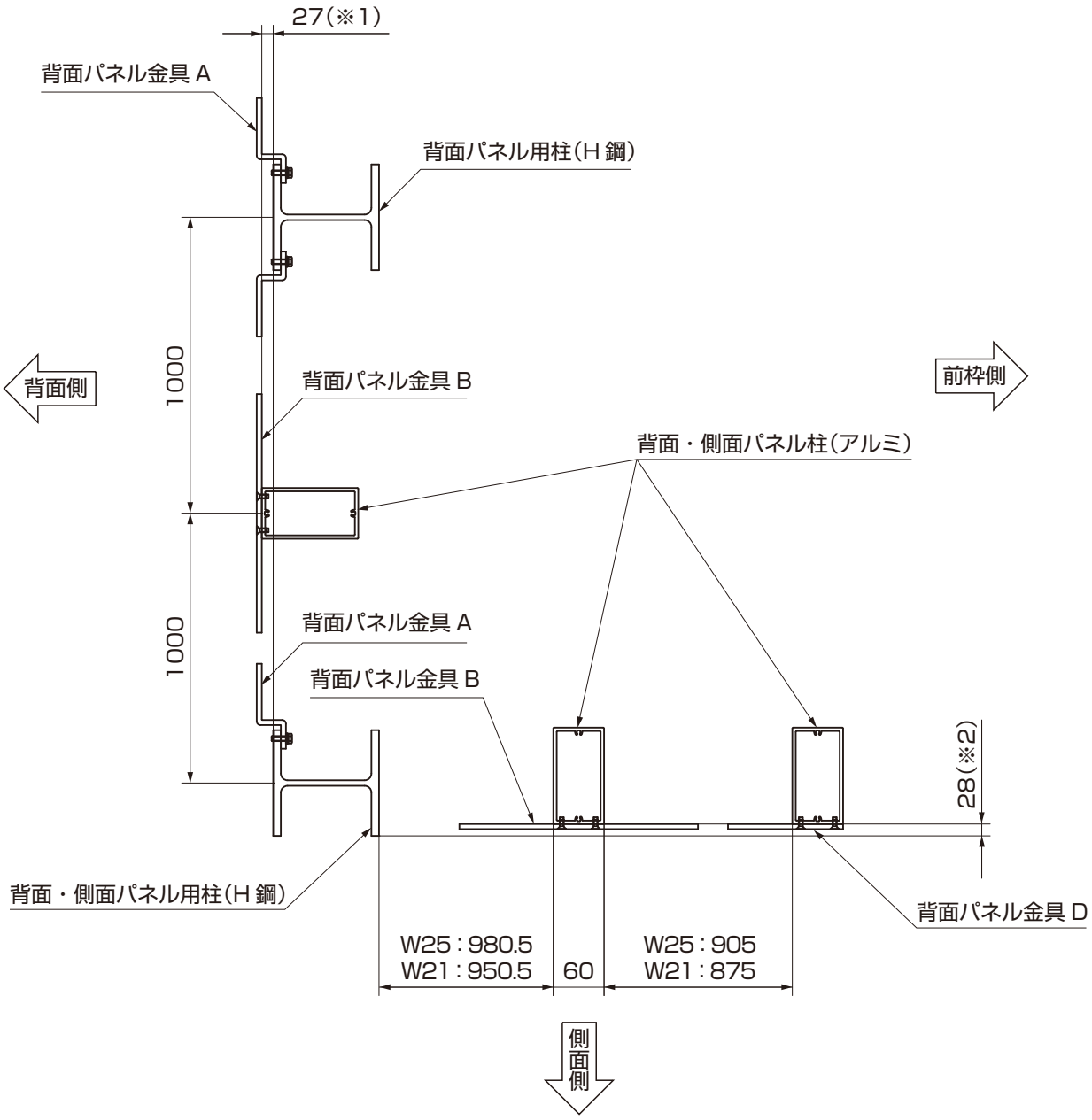
①背面パネル金具Aを柱に【2-1】で取付けてください。（図1-4、図1-5参照）
②背面パネル金具Bを背面・側面パネル柱（中間）に【11-1】で取付けてください。（図1-6参照）
③背面パネル金具Dを背面・側面パネル柱に【11-1】で取付けてください。（図1-7参照）

補 足

●柱の背面パネル金具取付穴は、P.18「（2）背面パネル用柱」、P.19「（3）背面・側面パネル用柱」を参照してください。

E341_201307B

(2) 柱の取付け



①柱を建てる位置を確認してください。

補 足

●背面パネル金具がそろうように柱を取付けてください。
●※1、※2 は H 鋼の柱とアルミの柱の位置を示しています。

1. 柱施工用基礎の施工と柱の取付け（つづき）

（2）柱の取付け（つづき）

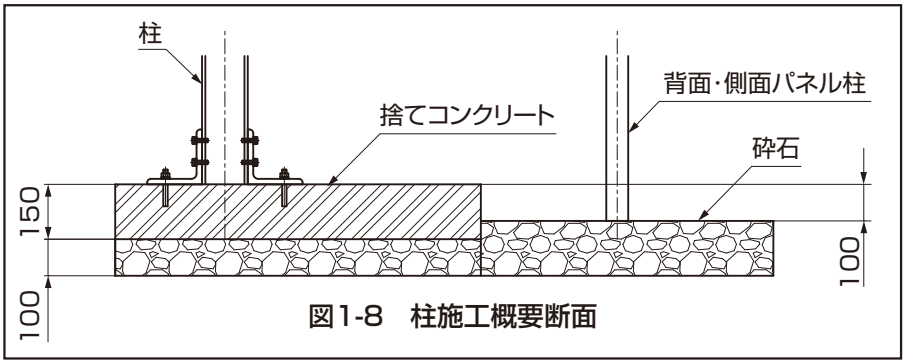
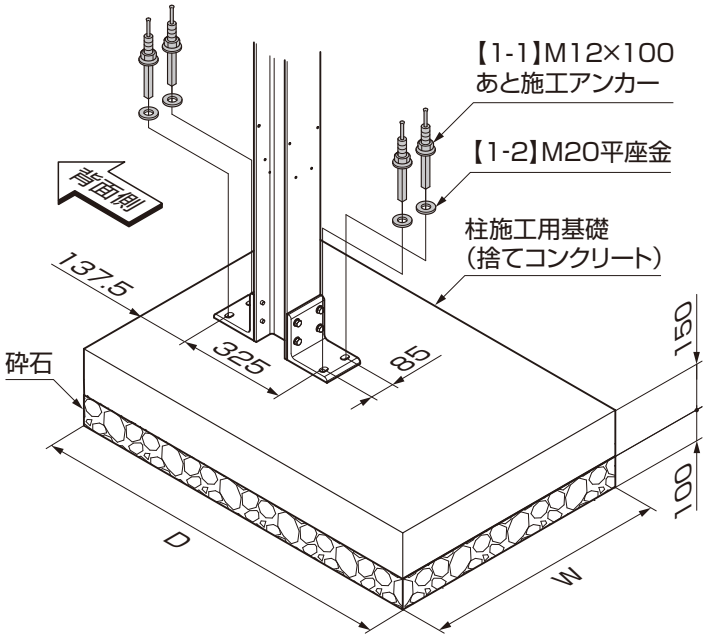


図1-8　柱施工概要断面



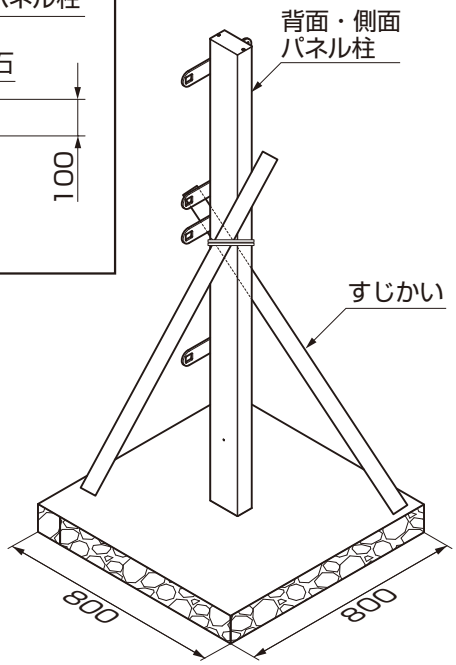


図1-9

アンカー施工資料

ドリル径	穴深さ
12.7mm	60～70mm

表1-3

	600N/㎡	1500N/㎡
W	800	1100
D	1800	1800

②柱を【1-1】【1-2】で取付けてください。
③背面・側面パネル柱を、すじかいなどをして立ててください。(図1-9参照)

⚠ 注 意

●基礎は十分な養生期間をとってください。アンカーが抜け、柱が倒れるおそれがあります。

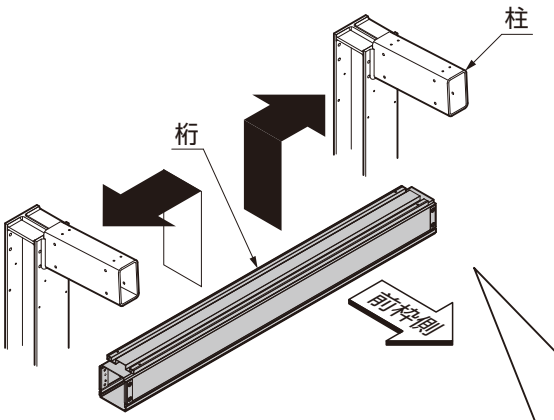
ポイント

●各柱の水平レベルが同一になるように調整してください。
●柱の垂直、前後位置を確認してください。
●捨てコンクリートは平らに仕上げてください。製品が組み付けられなくなるおそれがあります。
●アンカーのナットは仮固定とし、柱・桁・梁・前枠取付け後に本締めしてください。

補 足

●柱化粧枠取付後、コンクリート施工してください。
●ガラス・ソーラーパネル施工前には基礎コンクリートの打設が必要です。
●基礎寸法はP.20～24「2.基本寸法図」を参照してください。

2. 桁の取付け



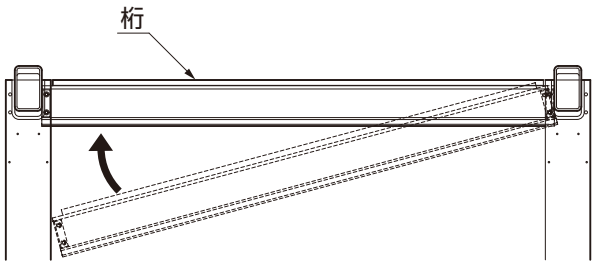


図2-1

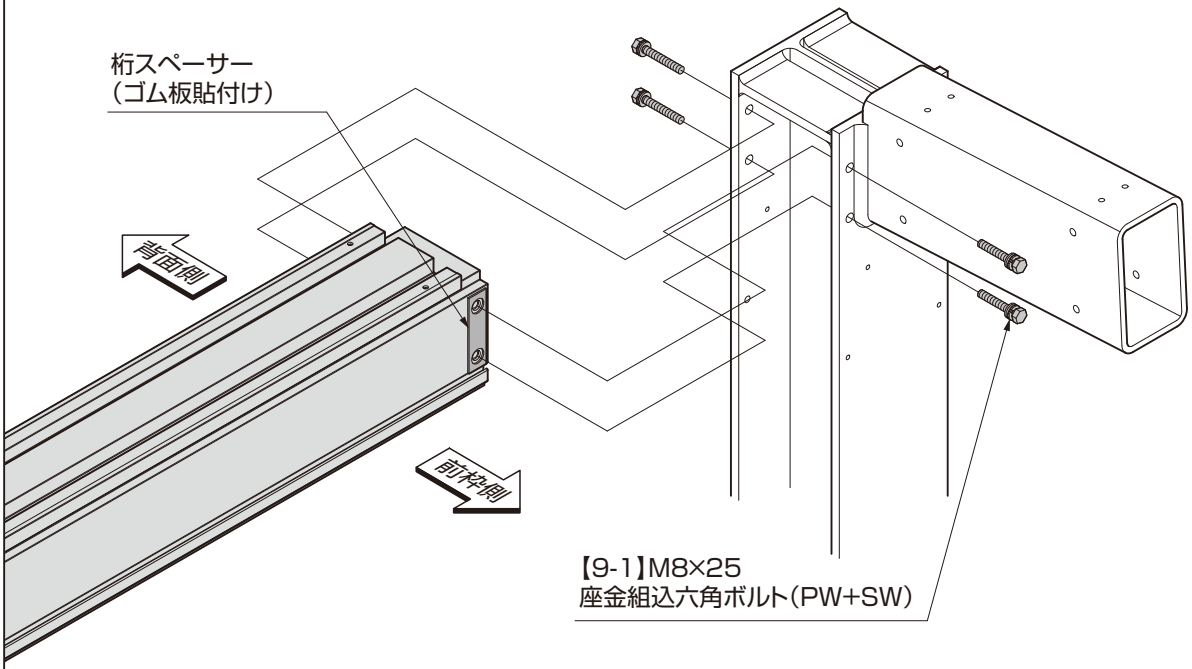


図2-2

①桁を柱に【9-1】で仮止めしてください。

ポイント

●桁スペーサーを前枠側に向けて取付けてください。（図2-2参照）

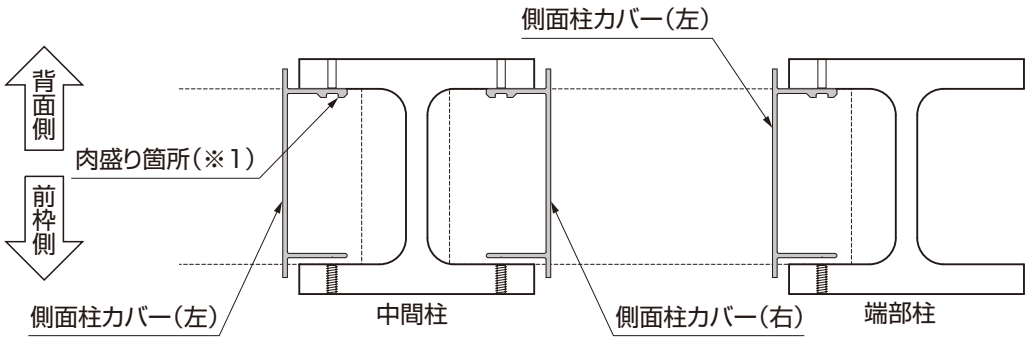
補 足

●桁を斜めにすると柱に取付けやすくなります。（図2-1参照）
●桁が柱に挿入しづらいときは桁スペーサーを取り外してから取付けてください。

②柱の垂直、桁の水平を確認して【9-1】を本締めしてください。

3. 柱カバーの取付け

3-1 側面柱カバーの取付け



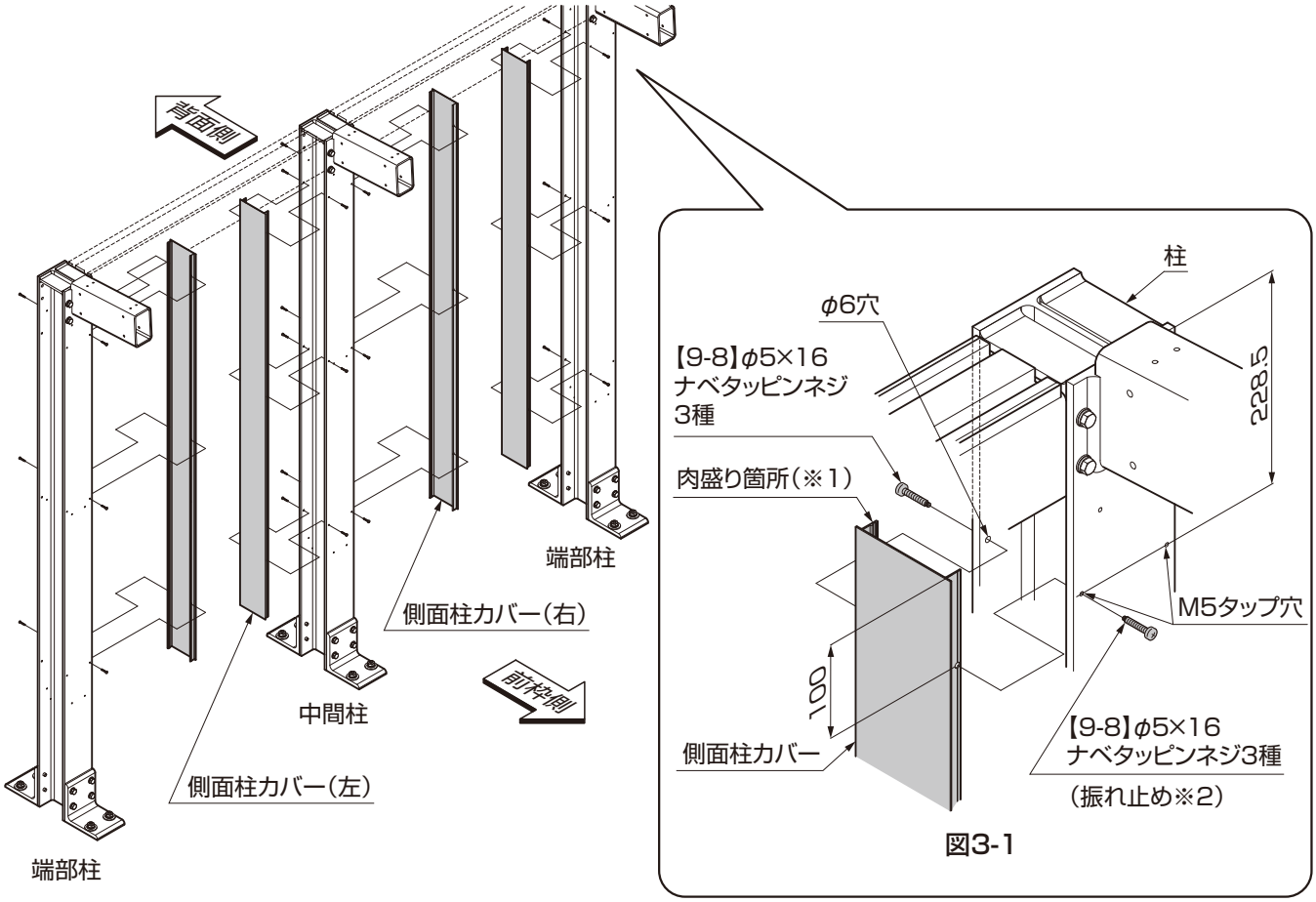


図3-1

①側面柱カバーを柱に【9-8】で取付けてください。

ポイント

- ●側面柱カバーには上下左右がありますので、向きを確認して取付けてください。(図3-1参照)
- ●肉盛り(※1)が背面側になるように取付けてください。
- ●前枠側のネジは、側面柱カバーの振れ止めです。(※2)側面柱カバーの穴にネジが通っていることを確認してください。

補足

- ●取付け穴の詳細は、「3.基本寸法と各部名称 1.各部名称 1-4 柱概略図」を参照してください。

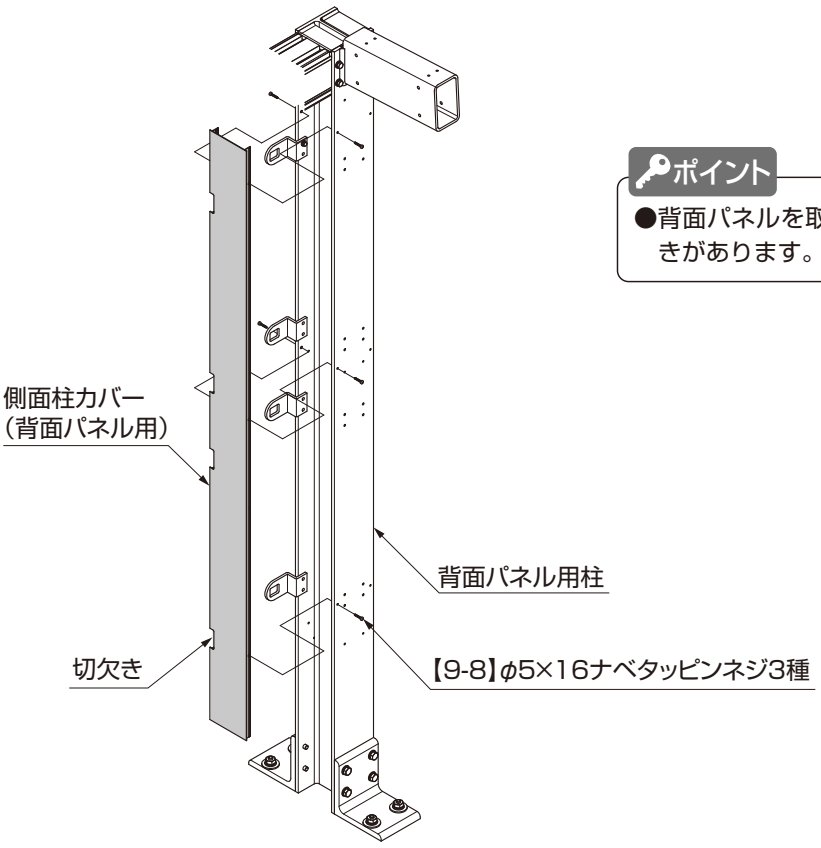


図3-2　端部柱（背面パネル用）

ポイント

●背面パネルを取付ける場合、側面柱カバーに切欠きがあります。（図3-2参照）

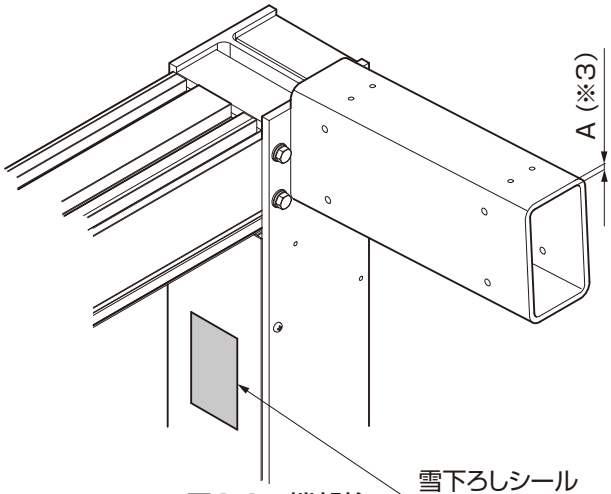
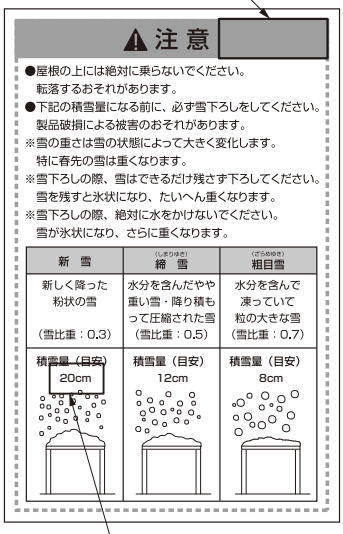


図3-3　端部柱

表3-1　積雪荷重別柱分類

	A(※3)(鋼材の厚み)
600N/㎡	6
1500N/㎡	9

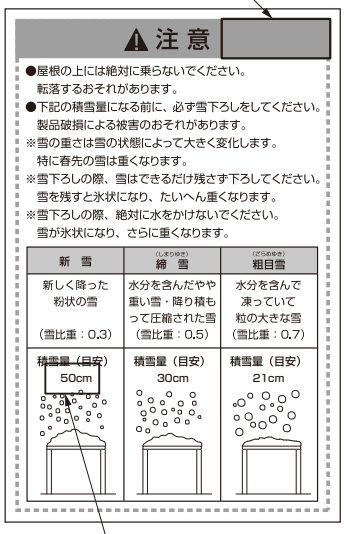
SSS932003



20cm

600N/㎡用

SSS932004



50cm

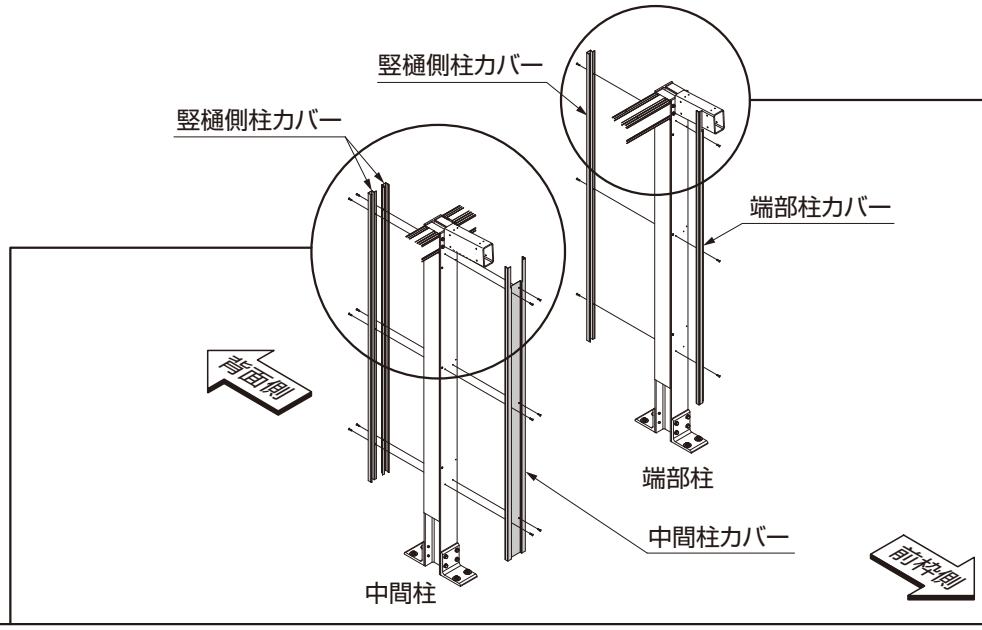
1500N/㎡用

②端部柱の側面柱カバーに、対応する「雪下ろしシール」を貼り付けてください。

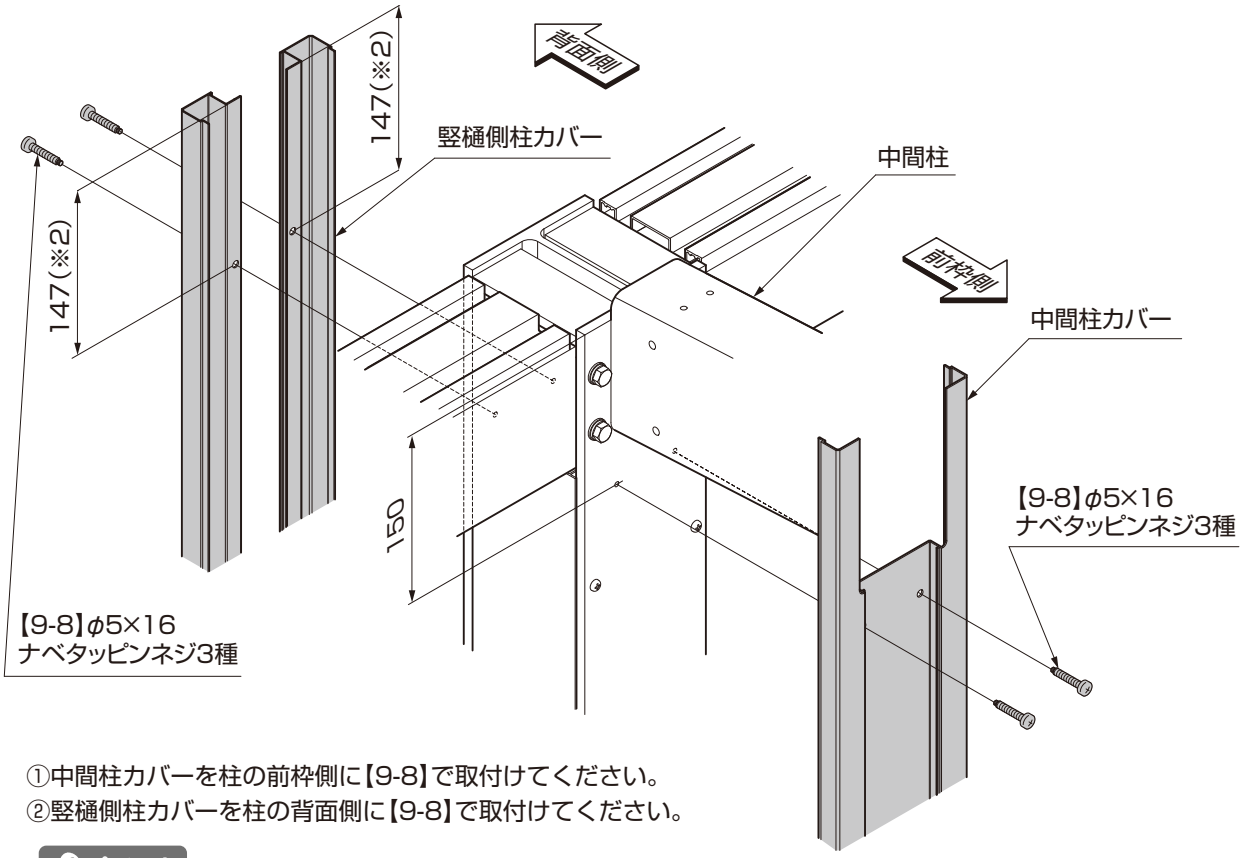
ポイント

●雪下ろしシールは2種類あります。貼り間違いに注意してください。
●600N/㎡の場合、鋼材の厚みが6mmです。1500N/㎡の場合、鋼材の厚みは9mmです。（表3-1、図3-3（※3）参照）

3. 柱カバーの取付け（つづき）



3-2 中間柱カバーの取付け



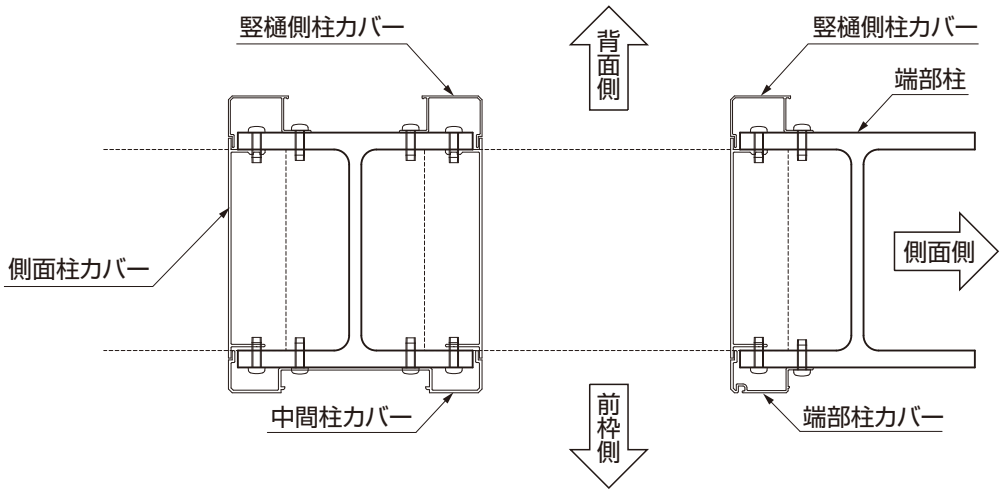
①中間柱カバーを柱の前枠側に【9-8】で取付けてください。
②竪樋側柱カバーを柱の背面側に【9-8】で取付けてください。

ポイント

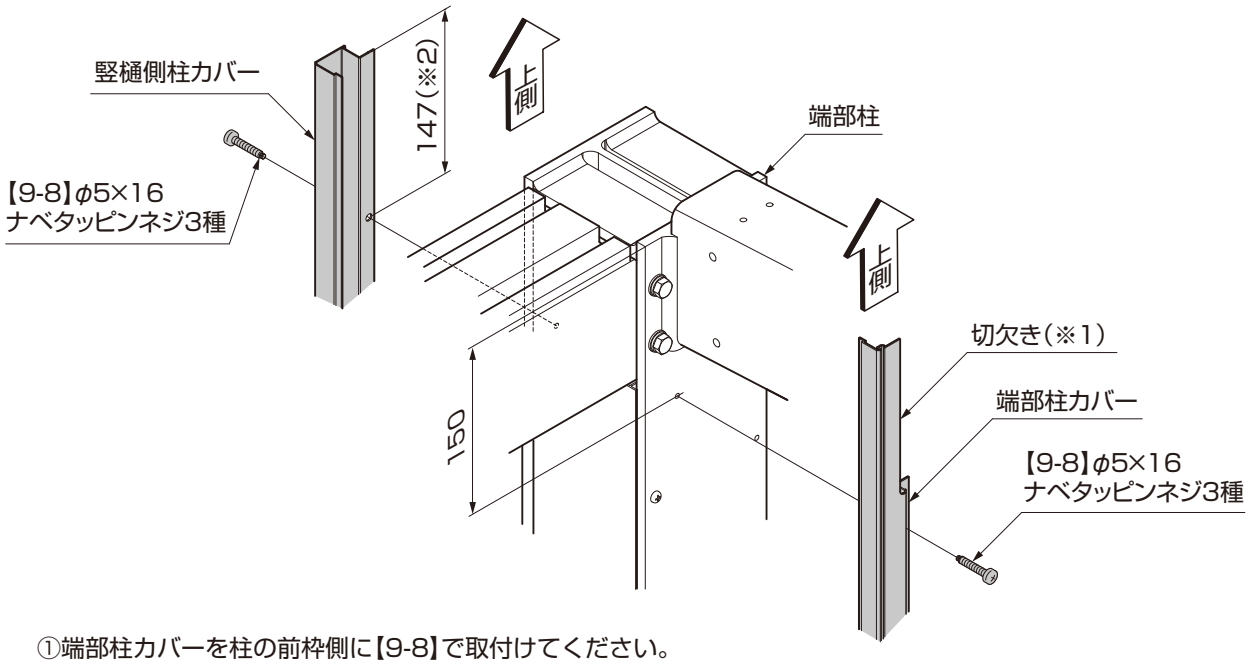
●竪樋側柱カバーには上下があります。端部から147(※2)の穴を上側にして取付けてください。

補 足

●取付け穴の詳細は、「3. 基本寸法と各部名称 1. 各部名称 1-4 柱概略図」を参照してください。



3-3 端部柱カバーの取付け



①端部柱カバーを柱の前枠側に【9-8】で取付けてください。
②竪樋側柱カバーを柱の背面側に【9-8】で取付けてください。

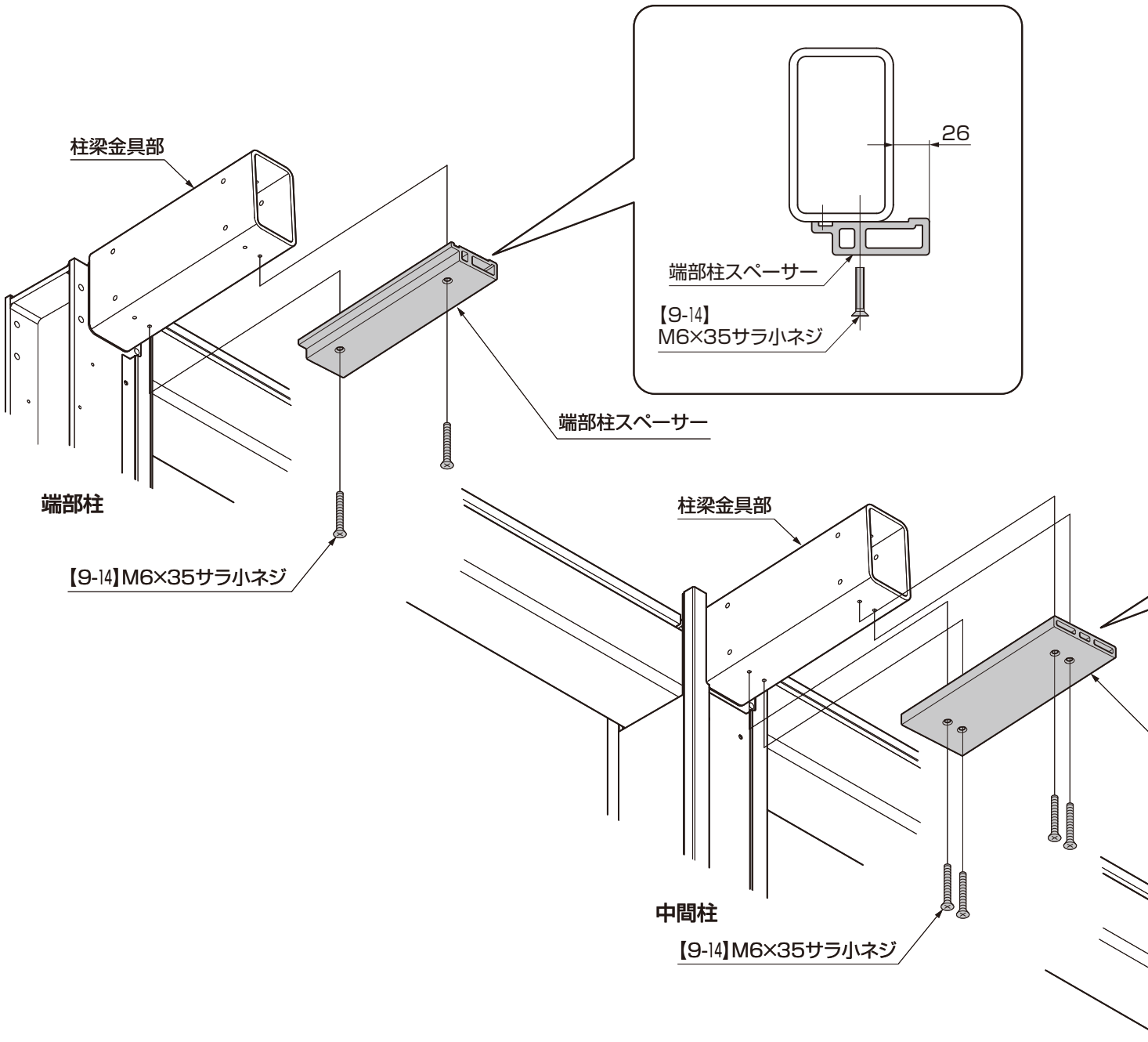
ポイント

●端部柱カバーは上下左右があります。切欠き(※1)が上になるように取付けてください。
●竪樋側柱カバーには上下があります。端部から147(※2)の穴を上側にして取付けてください。

補 足

●取付け穴の詳細は、「3. 基本寸法と各部名称 1. 各部名称 1-4 柱概略図」を参照してください。

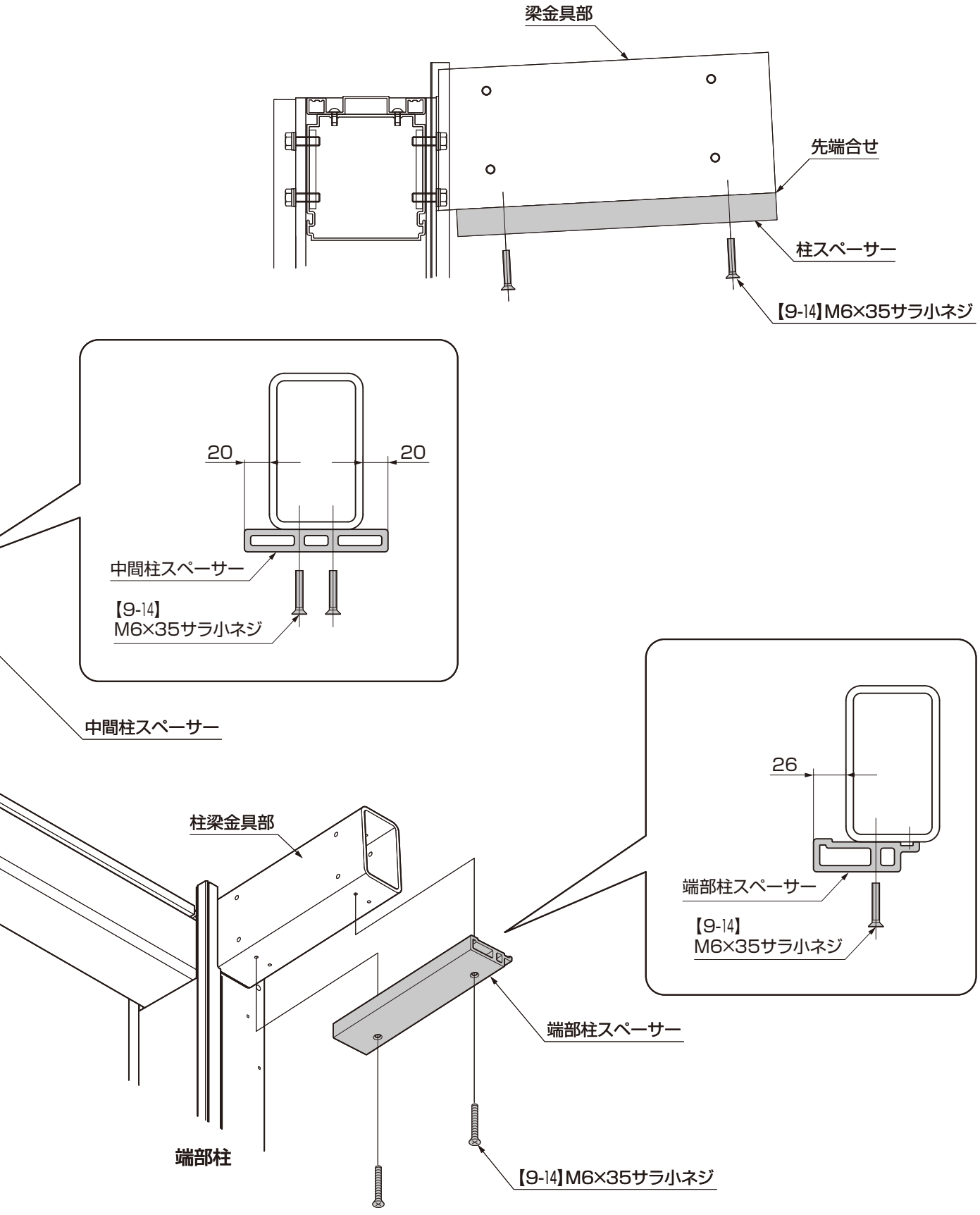
4. 柱スペーサーの取付け



①柱の梁金具部の下面に柱スペーサーを【9-14】で取付けてください。

ポイント

●端部柱スペーサー、中間柱スペーサーを図を参照して取付けてください。


梁金具部
先端合せ
柱スペーサー
【9-14】M6×35サラ小ネジ
20
20
中間柱スペーサー
【9-14】
M6×35サラ小ネジ
中間柱スペーサー
26
端部柱スペーサー
【9-14】
M6×35サラ小ネジ
柱梁金具部
端部柱スペーサー
端部柱
【9-14】M6×35サラ小ネジ

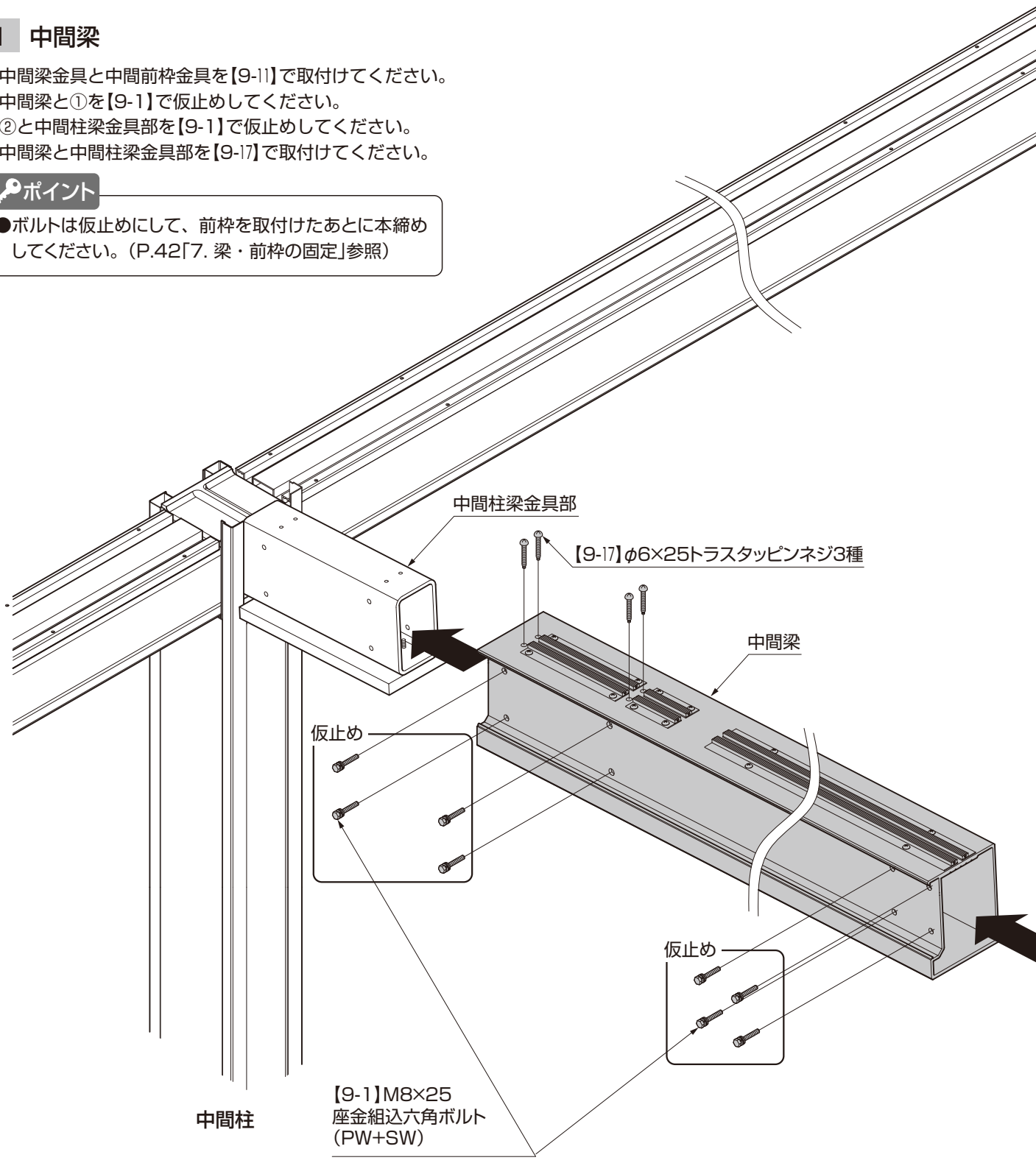
5. 梁の取付け

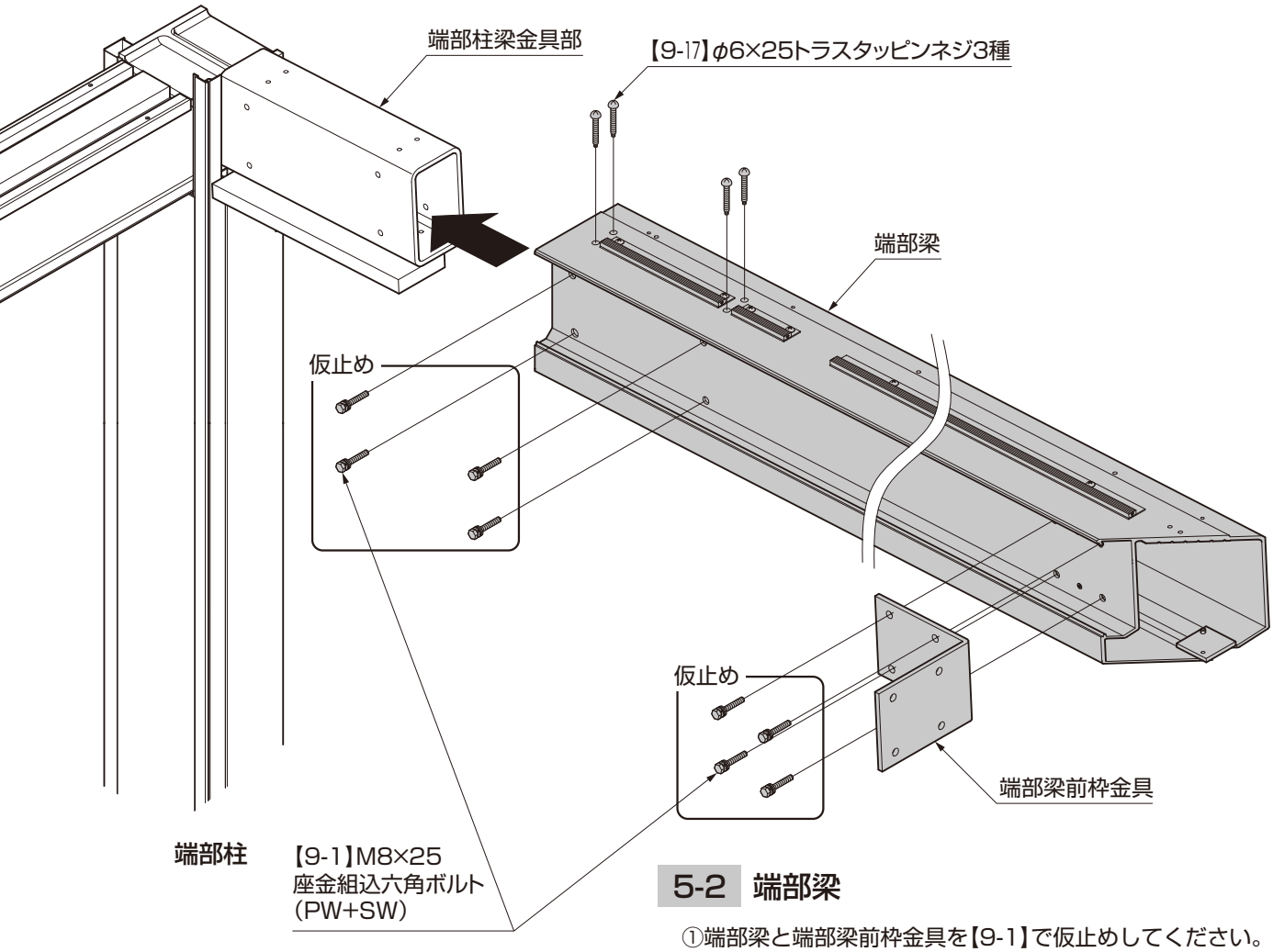
5-1 中間梁

①中間梁金具と中間前枠金具を【9-11】で取付けてください。
②中間梁と①を【9-1】で仮止めしてください。
③②と中間柱梁金具部を【9-1】で仮止めしてください。
④中間梁と中間柱梁金具部を【9-17】で取付けてください。

ポイント

●ボルトは仮止めにして、前枠を取付けたあとに本締めしてください。（P.42「7. 梁・前枠の固定」参照）



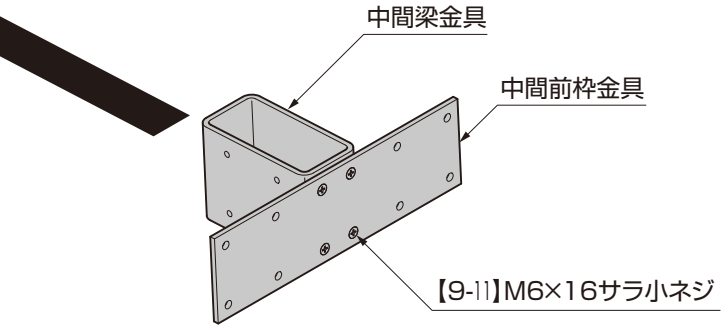


5-2 端部梁

①端部梁と端部梁前枠金具を【9-1】で仮止めしてください。
②①と端部柱梁金具部を【9-1】で仮止めしてください。
③端部柱梁金具部と端部梁を【9-17】で取付けてください。

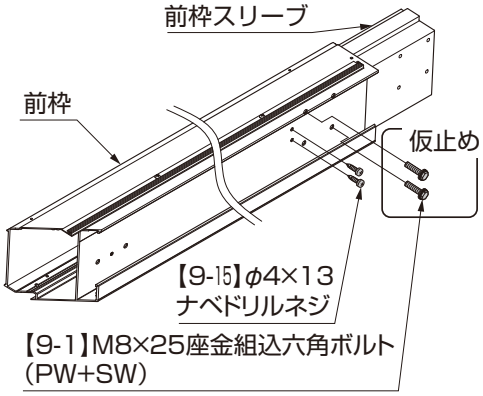
ポイント

●ボルトは仮止めにして、前枠を取付けたあとに本締めしてください。(P.42「7. 梁・前枠の固定」参照)

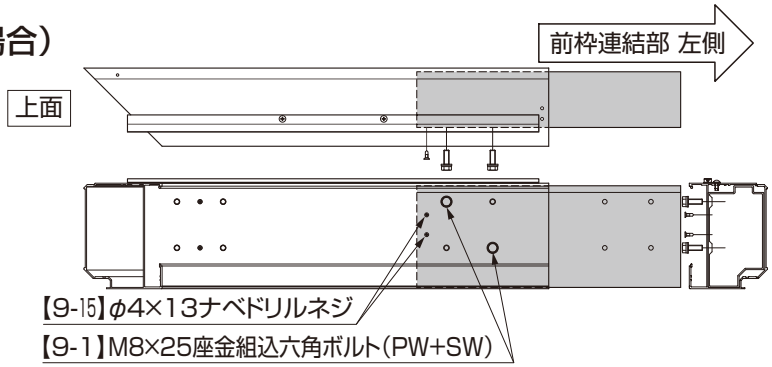


6. 前枠の取付け

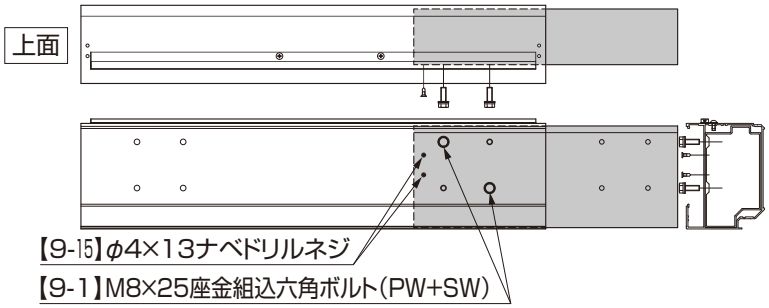
6-1 前枠スリーブの取付け（連棟の場合）



①前枠（端部右及び中間）の左側の連結部に前枠スリーブを挿入して【9-1】2本で前枠スリーブの穴位置を確認しながら前枠スリーブを仮止めしてください。
②前枠（端部右及び中間）と前枠スリーブを【9-15】で取付けてください。
③①で取付けた【9-1】を取外してください。



前枠 端部 右



前枠 中間

6-2 前枠の取付け

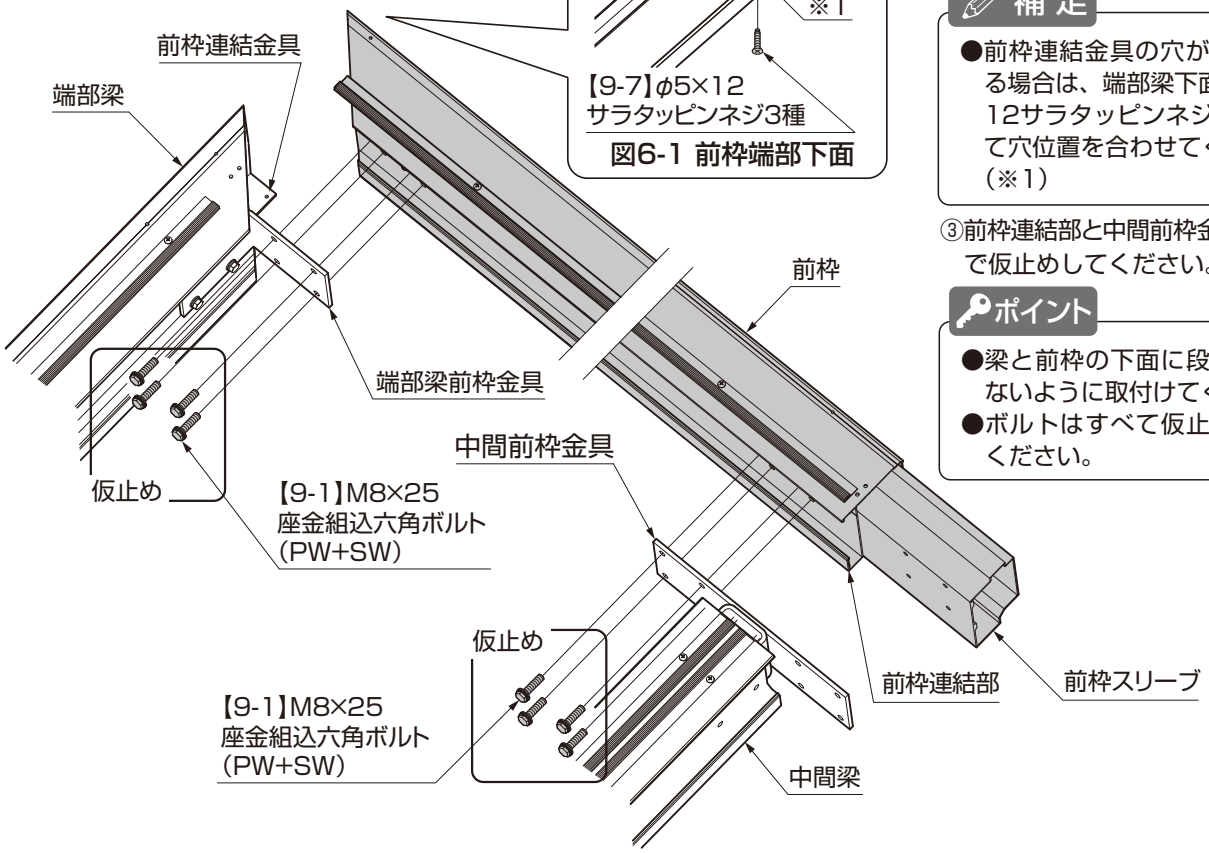


図6-1 前枠端部下面

①端部梁前枠金具と前枠を【9-1】で仮止めしてください。
②端部梁に取付いている前枠連結金具と前枠を【9-7】で取付けてください。(図6-1参照)

補足

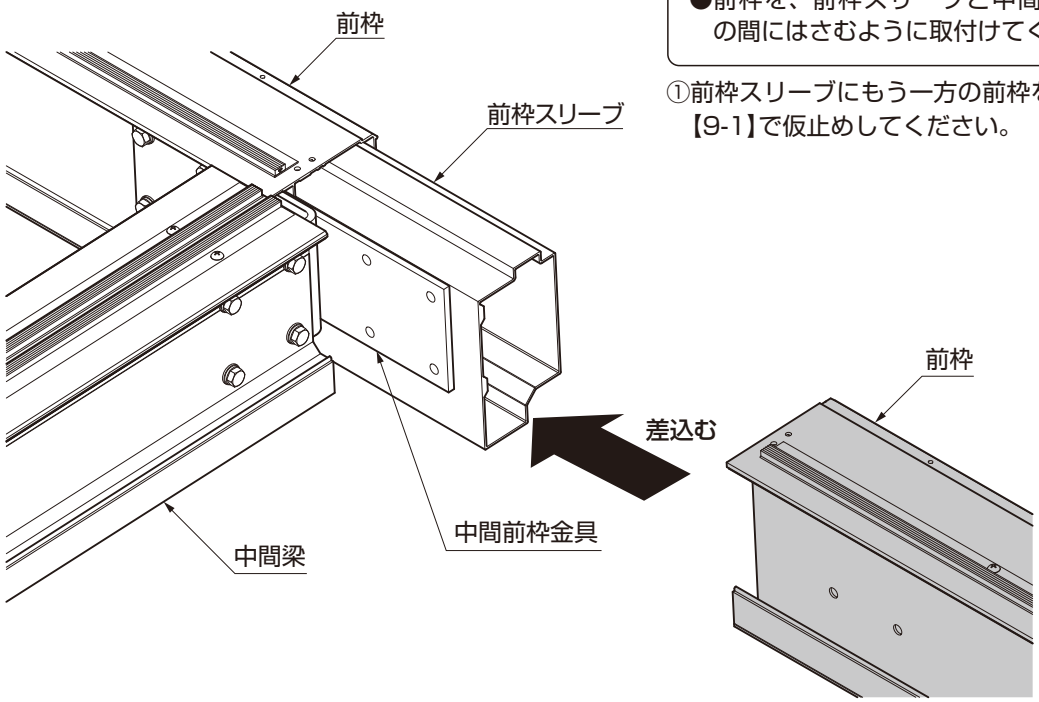
●前枠連結金具の穴がずれている場合は、端部梁下面のφ5×12サラタッピンネジをゆるめて穴位置を合わせてください。(※1)

③前枠連結部と中間前枠金具を【9-1】で仮止めしてください。

ポイント

●梁と前枠の下面に段差が生じないように取付けてください。
●ボルトはすべて仮止めにしてください。

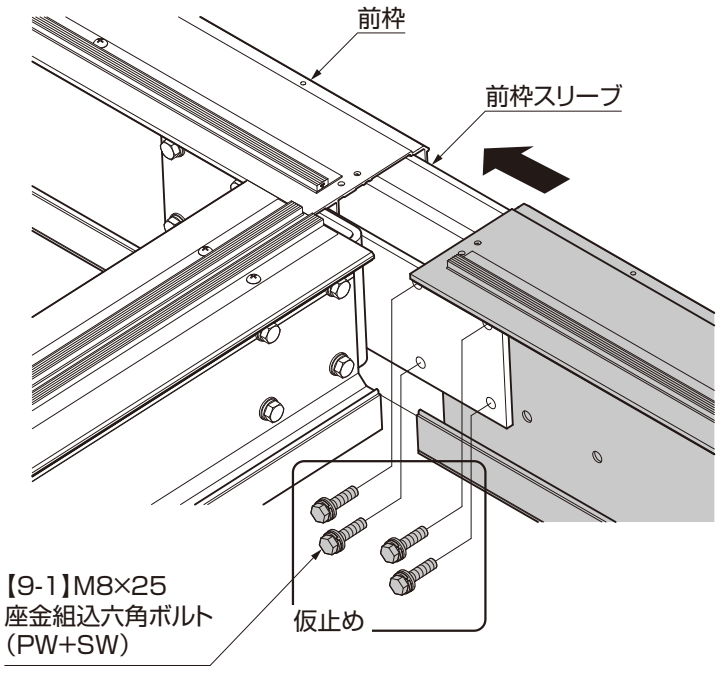
6-3 連結部(中間)



補 足

●前枠を、前枠スリーブと中間前枠金具の間にはさむように取付けてください。

①前枠スリーブにもう一方の前枠を挿入して、【9-1】で仮止めしてください。



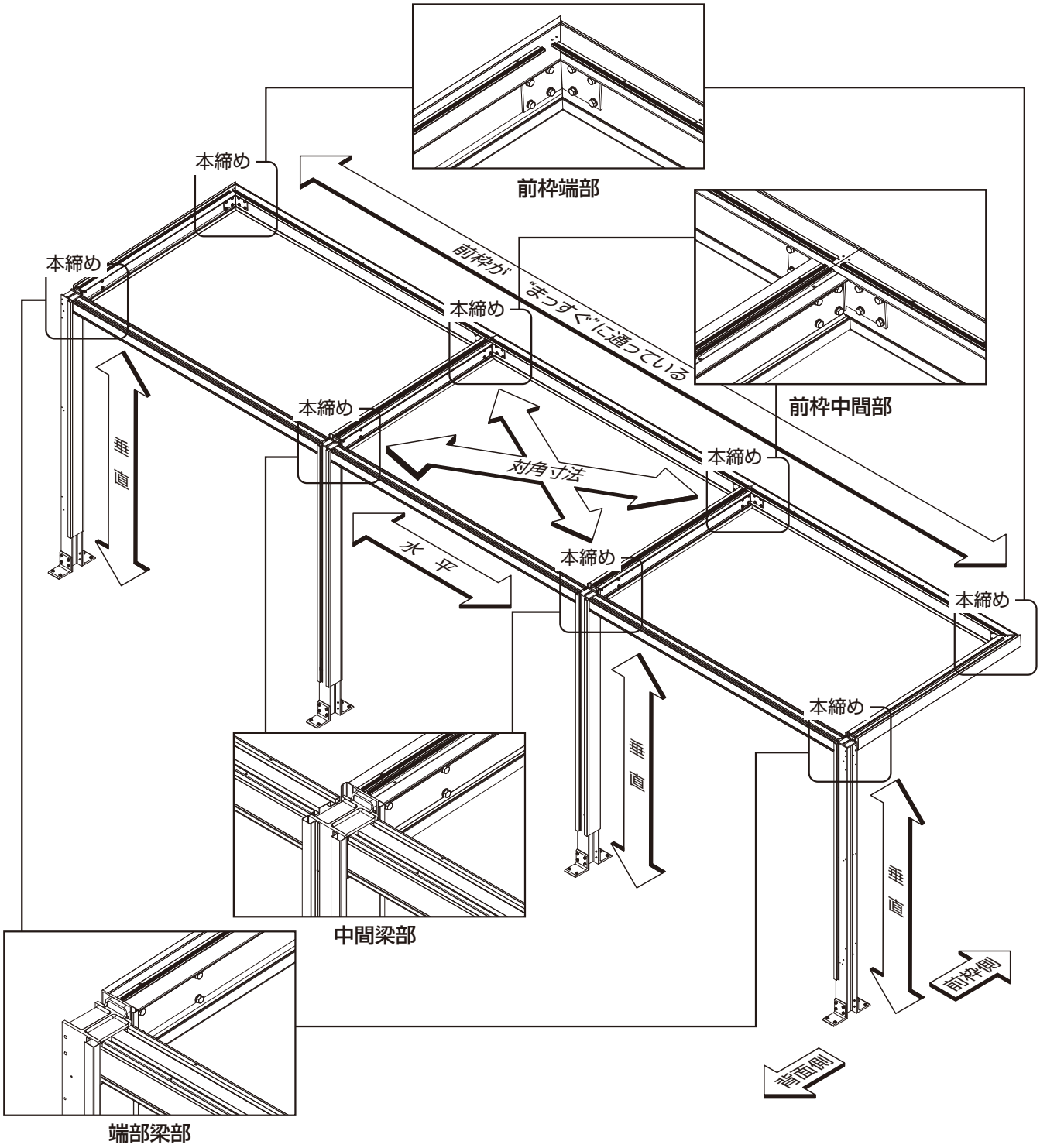
ポイント

●ボルトはすべて仮止めにしてください。

補 足

●差込んだ前枠と中間前枠金具と前枠スリーブの穴がずれている場合は、前枠スリーブを取付けた【9-15】をゆるめて穴位置を合わせてください。

7. 梁・前枠の固定



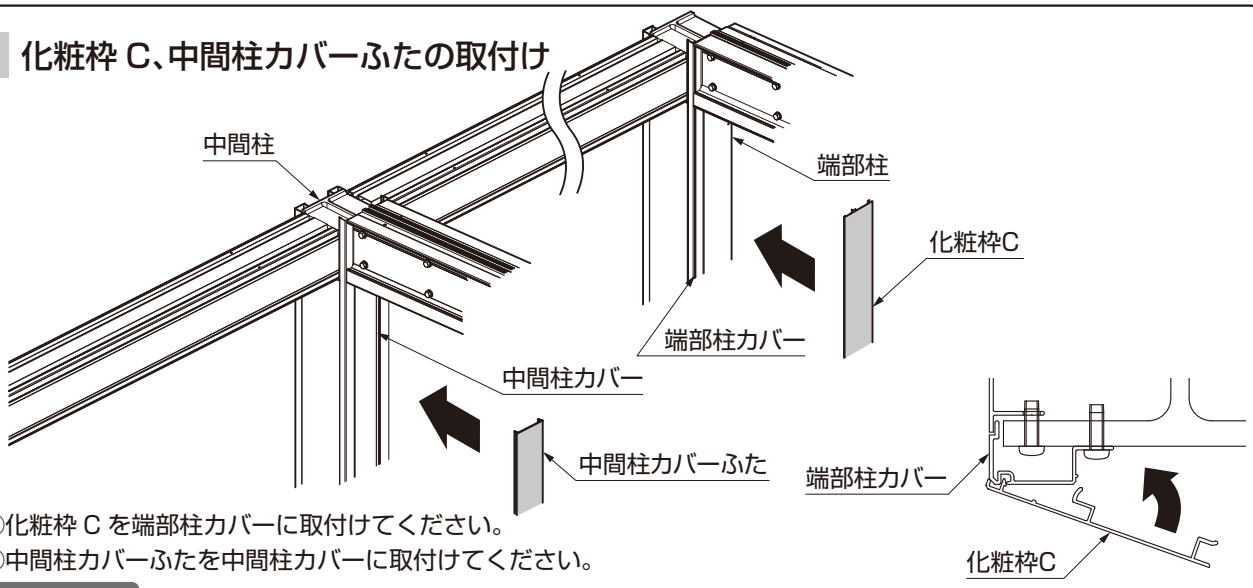
ポイント

- ●柱の垂直・前後位置を再確認してください。
- ●前枠がまっすぐ通っているか確認してください。
- ●柱のベース・梁・前枠の金具を調整してください。
- ●対角寸法を確認して、桁・梁・前枠が直角になるように位置を調整してください。
- ●直角が出ていないとガラスが納まらないおそれがあります。

①前枠を仮止めしているすべてのボルトを本締めして固定してください。
②梁のボルトとネジを本締めして固定してください。

8. 柱化粧枠の取付け

8-1 化粧枠 C、中間柱カバーふたの取付け

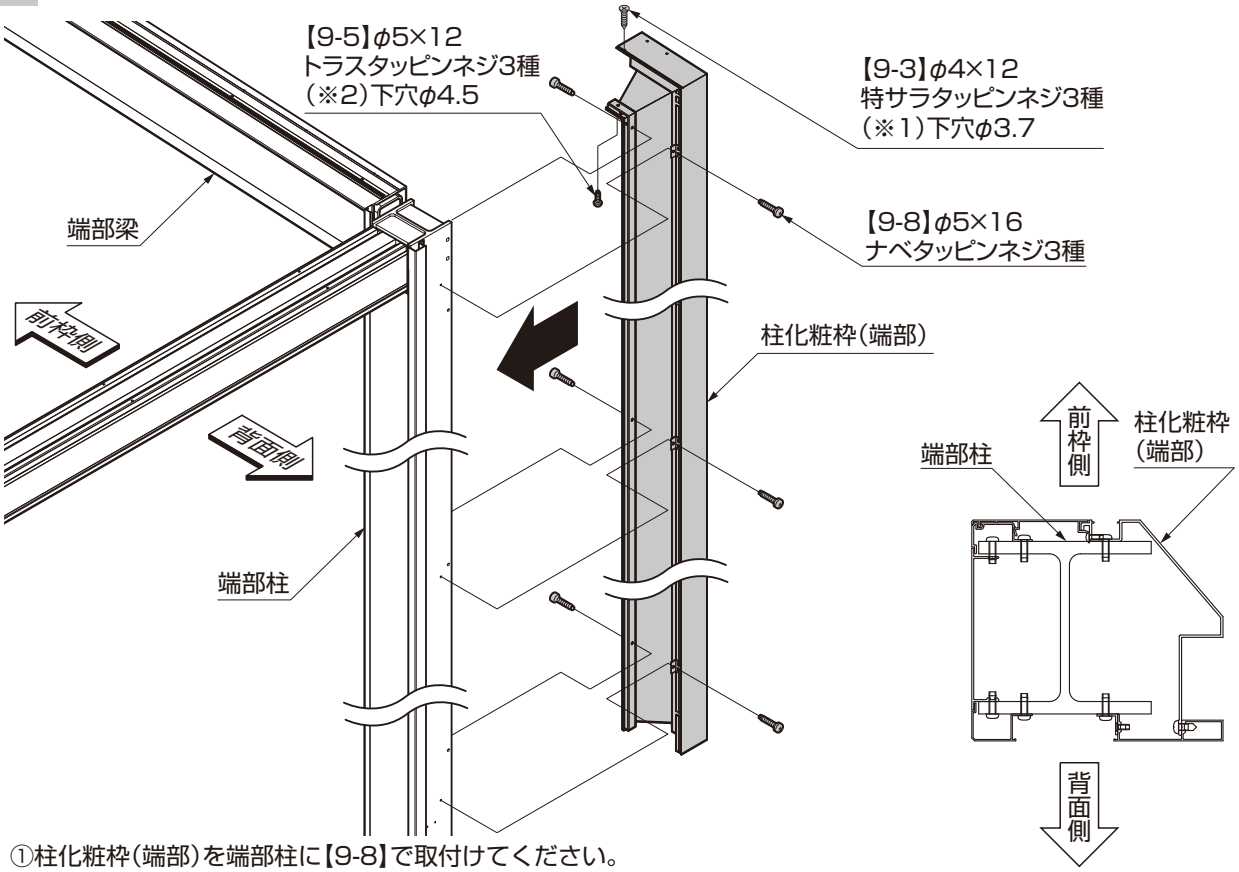


①化粧枠 C を端部柱カバーに取付けてください。
②中間柱カバーふたを中間柱カバーに取付けてください。

ポイント

●化粧枠 C、中間柱カバーふたが下に落ちないように、養生テープ等で固定してください。

8-2 柱化粧枠(端部)の取付け



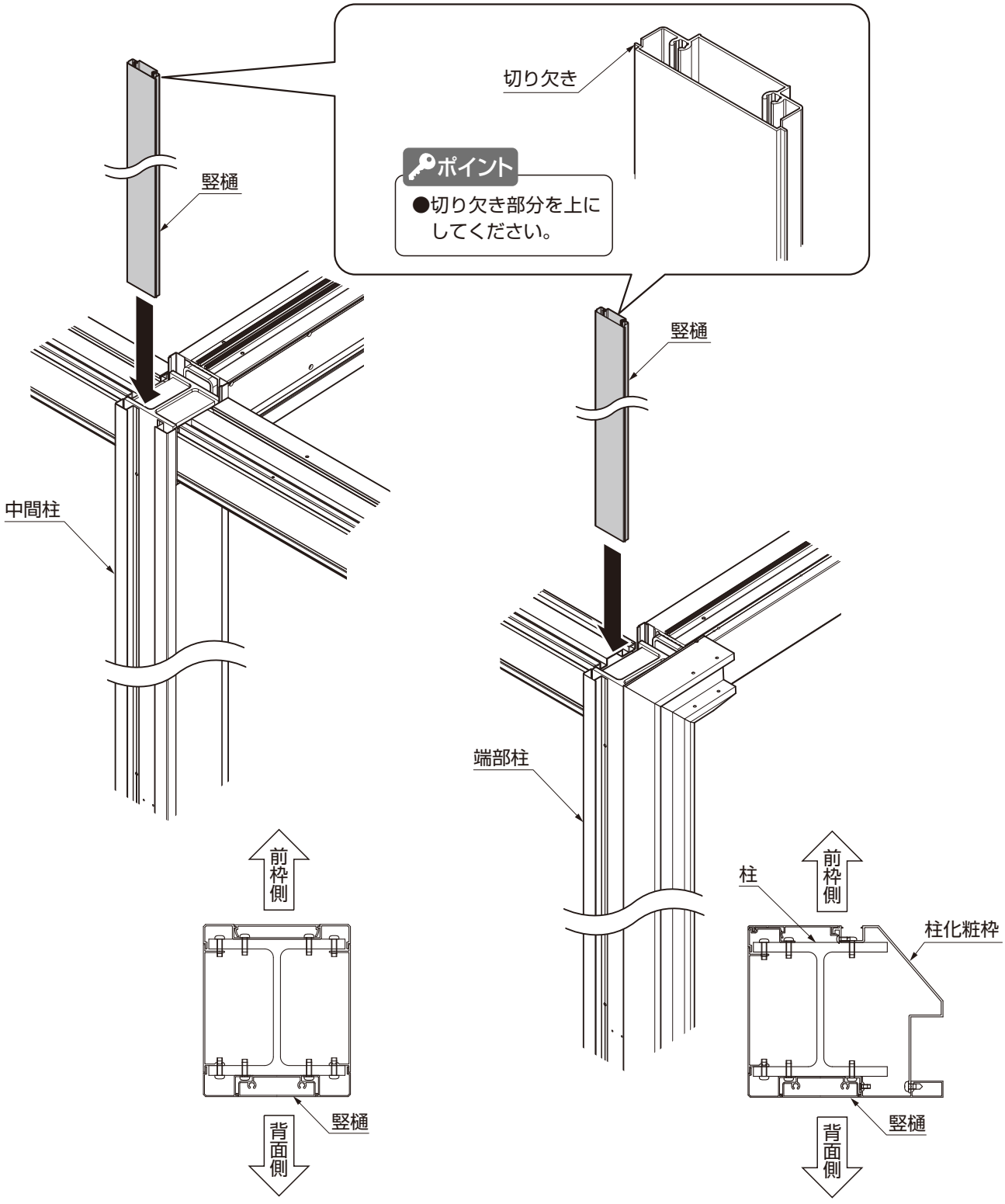
①柱化粧枠(端部)を端部柱に【9-8】で取付けてください。
②端部梁に写し穴で下穴加工をしてください。(※1)(※2)
③柱化粧枠(端部)を端部梁に【9-3】【9-5】で固定してください。

ポイント

●端部梁にネジが取付けにくい場合は、タップ加工をしてください。
●ソーラー仕様の場合はパワーコンディショナ側ケーブルが立ち上がっていることを確認してください。

8. 化粧枠の取付け（つづき）

8-3 竪樋の取付け



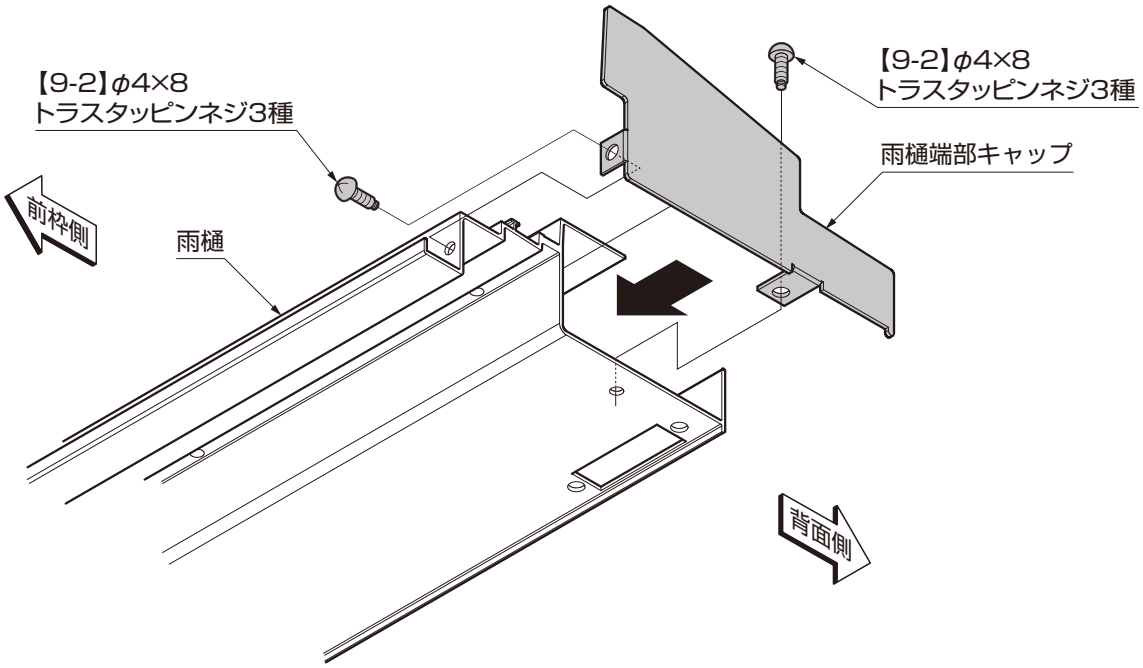
①竪樋を上からスライドして挿入してください。

ポイント

●竪樋が入りにくい場合は潤滑剤などを使用して、あて木などをしてゴムハンマーで叩いてください。

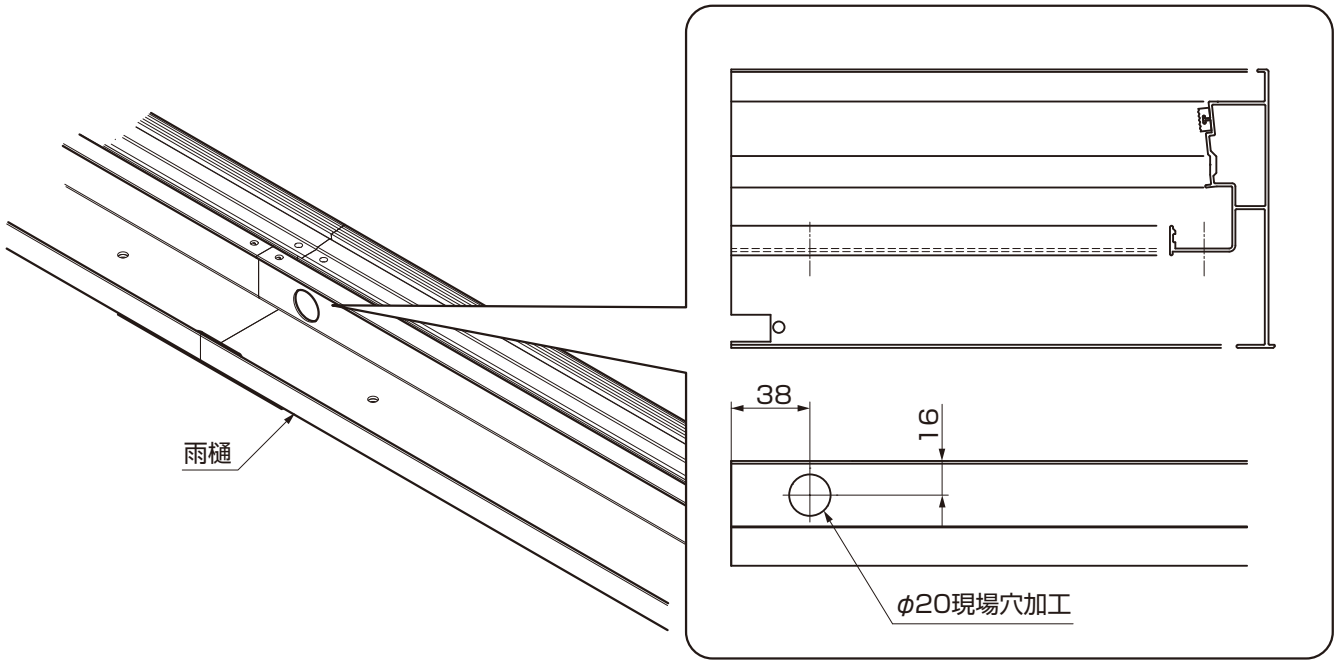
9. 雨樋の取付け

9-1 雨樋キャップの取付け



①雨樋端部キャップを雨樋に【9-2】で取付けてください。

9-2 ソーラー用雨樋連結部 ※中間柱にケーブルを通す場合の作業です。



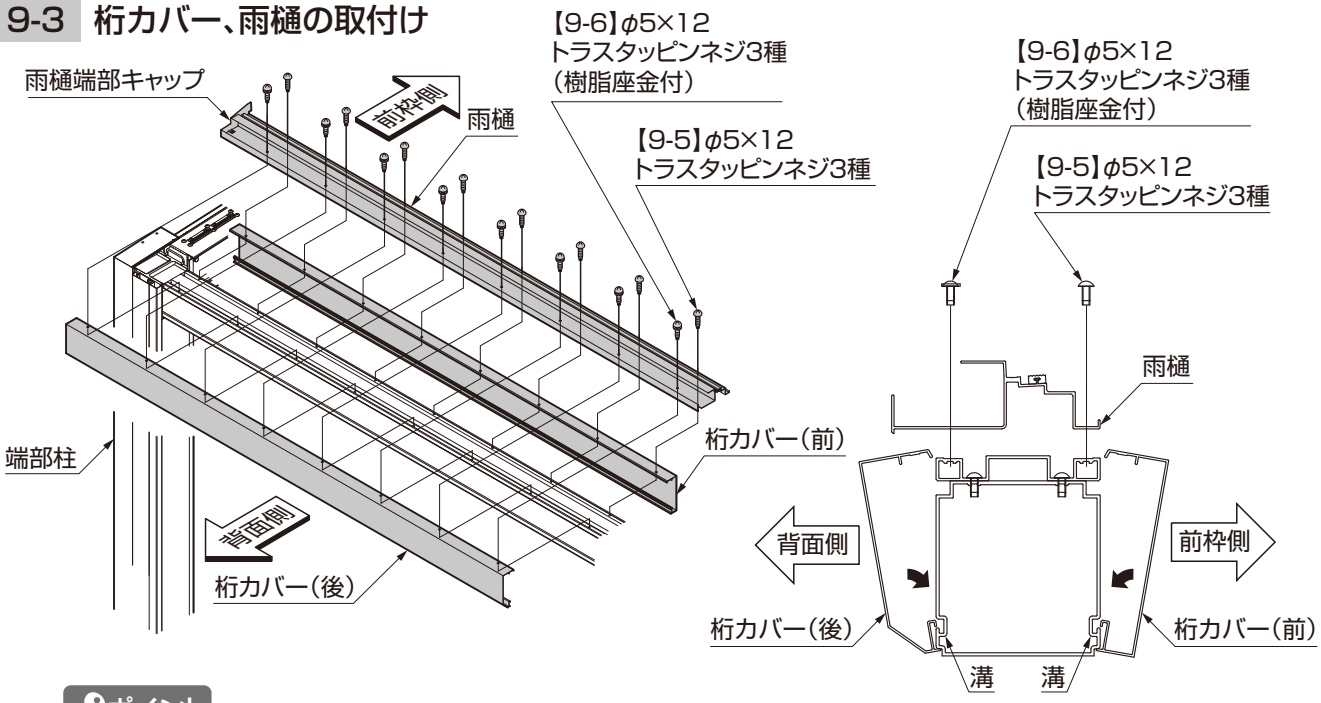
①ソーラー用雨樋にφ20 のケーブル通し穴をあけてください。

補 足

●加工穴には自在ブッシングなどの配線保護材(現場手配)を取付けてください。

9. 雨樋の取付け（つづき）

9-3 桁カバー、雨樋の取付け



ポイント

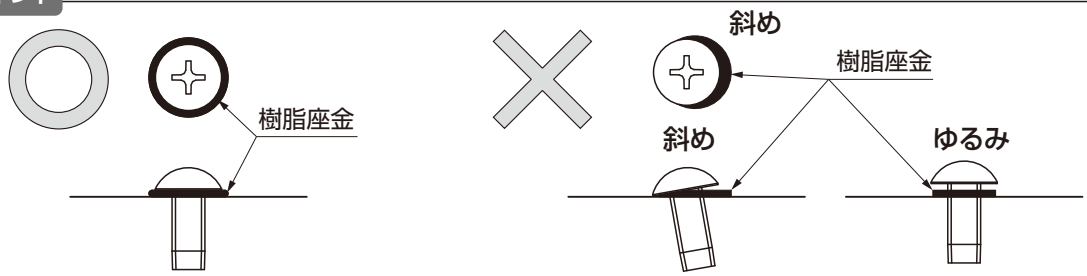


図9-1　　図9-2

●樹脂座金付きのネジの場合は、樹脂座金が均等につぶれるように締め付けてください。（図 9-1 参照）
●ネジが斜めになった場合や、ゆるみがある場合は、必ずシーリングをしてください。（図 9-2 参照）

①桁に桁カバー（前）、（後）と雨樋を、前枠側は【9-5】、背面側は【9-6】で取付けてください。

ポイント

●桁の溝に、桁カバーのツメを引っ掛けてください。

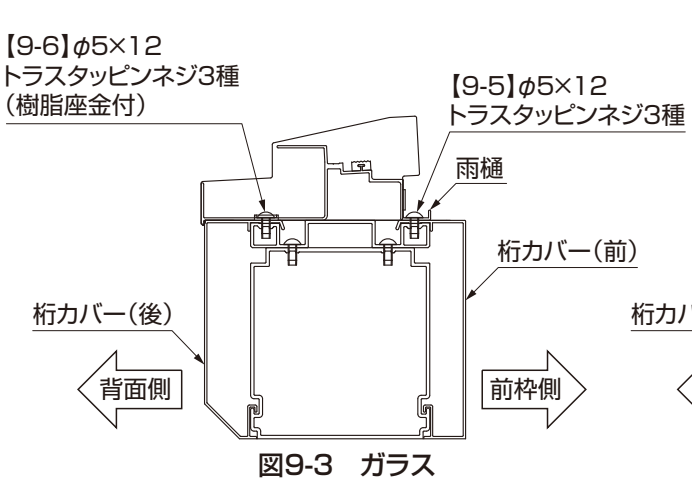


図9-3　ガラス

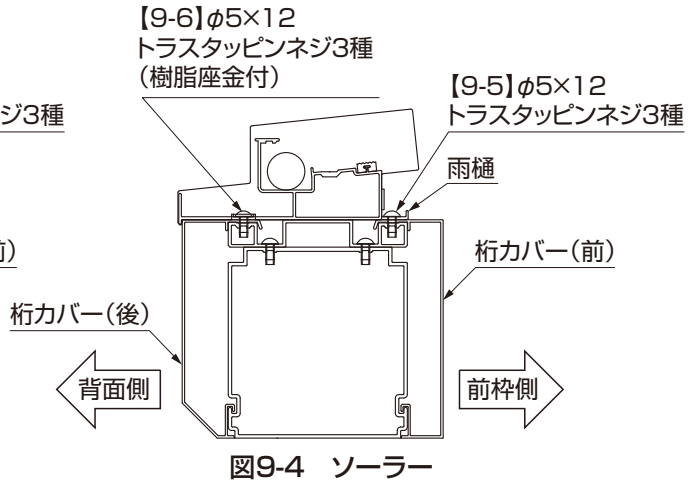
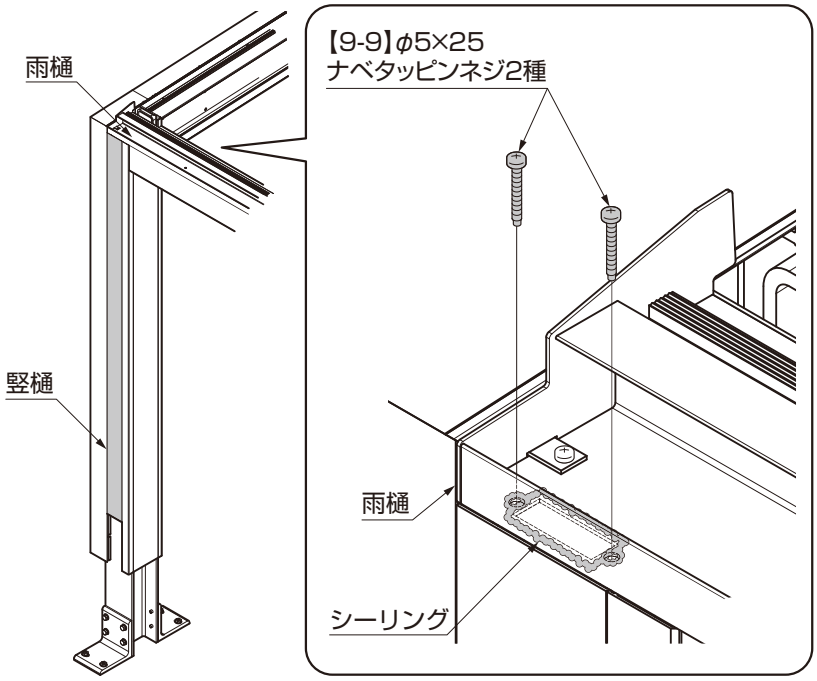
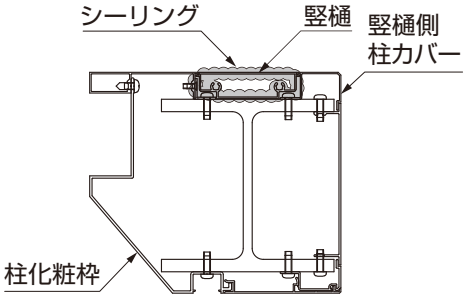
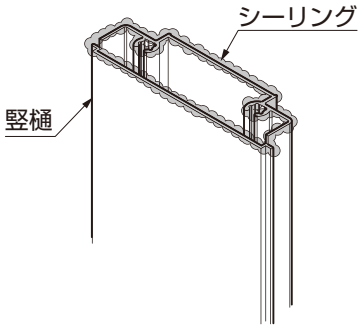


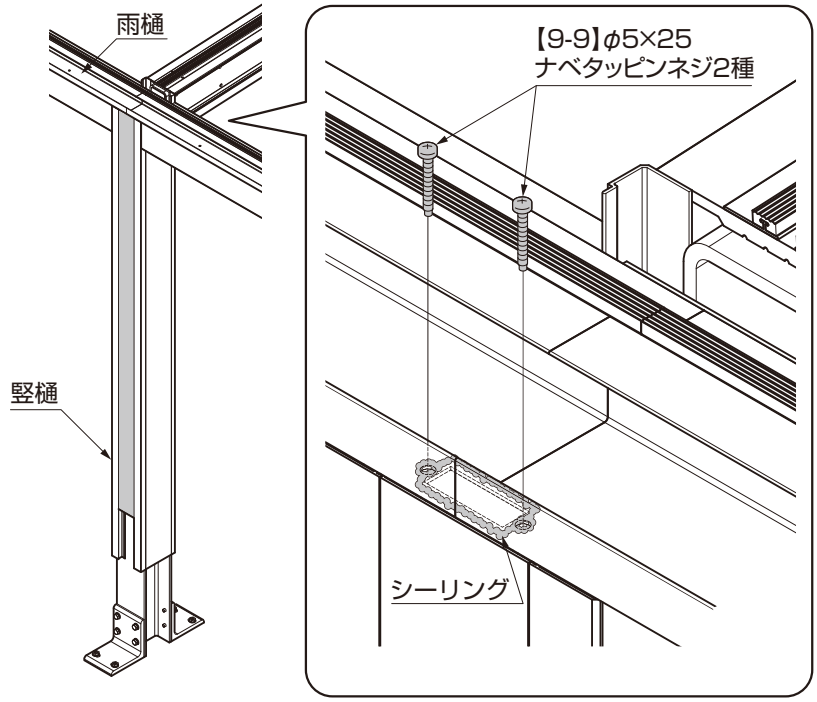
図9-4　ソーラー

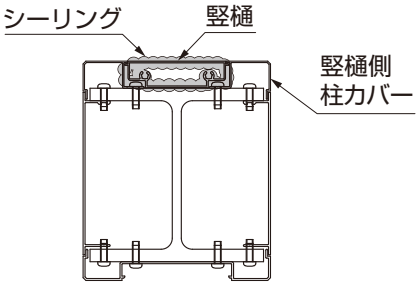
9-4 竪樋のシーリング











補 足

●シーリングが不要な箇所に付かないようにマスキングしてください。

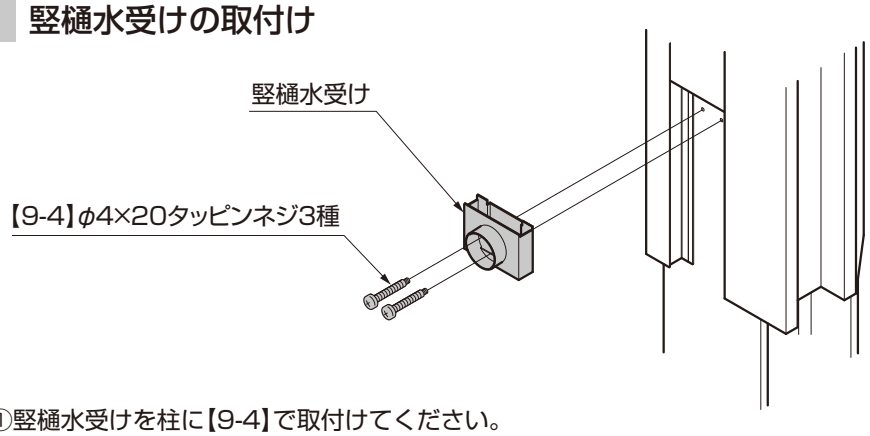
①竪樋上端にシーリングをして、雨樋に突き当ててください。
②竪樋を雨樋に【9-9】で取付けてください。

ポイント

●十分にシーリングしていないと雨漏れの原因となります。

9. 雨樋の取付け（つづき）

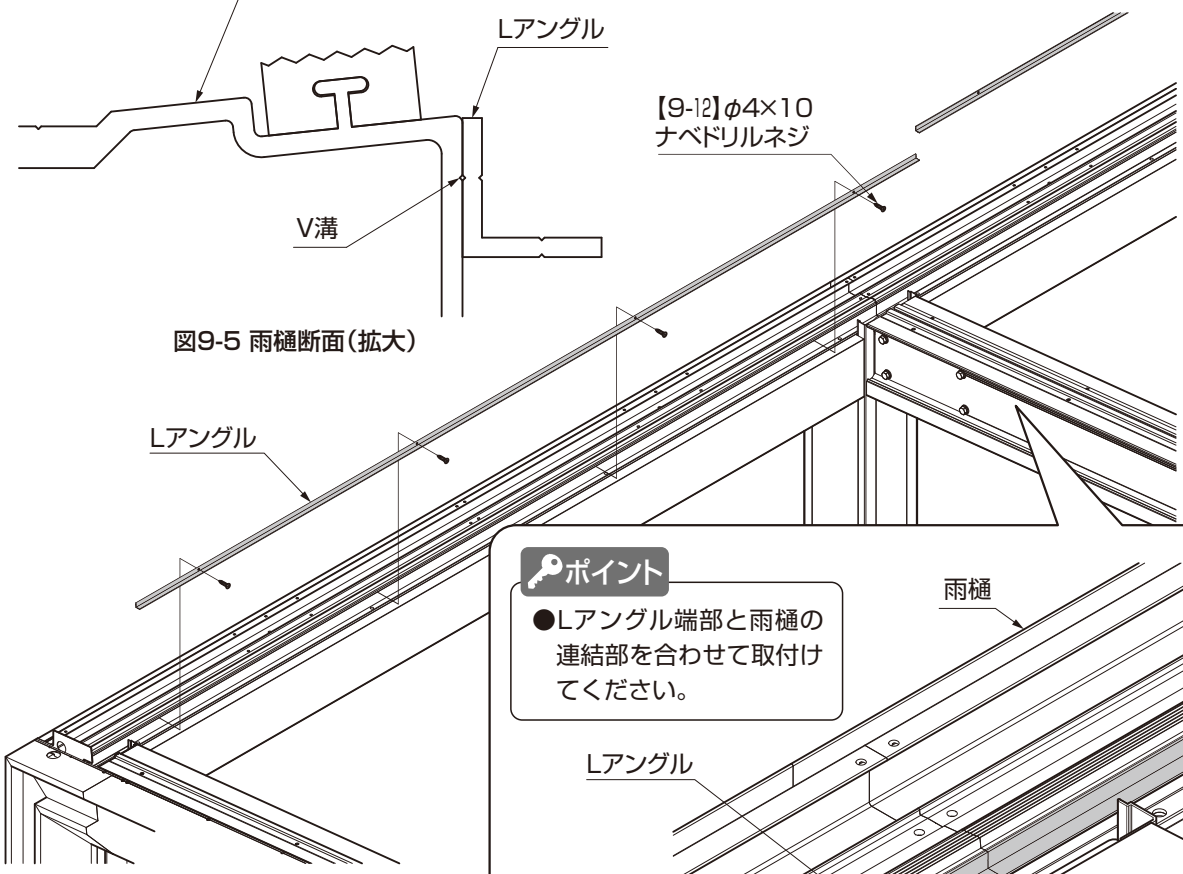
9-5 竪樋水受けの取付け



①竪樋水受けを柱に【9-4】で取付けてください。

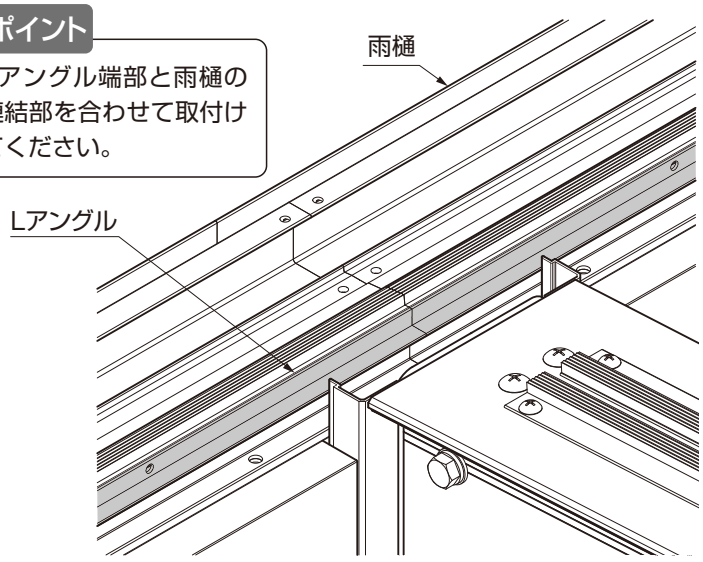
9-6 Lアングルの取付け（ソーラーのみの作業です。）

図9-5 雨樋断面（拡大）



ポイント

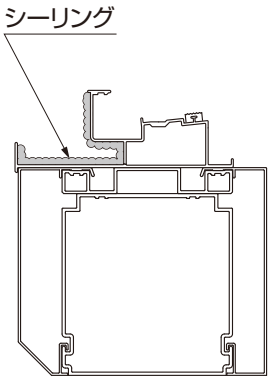
●Lアングル端部と雨樋の連結部を合わせて取付けてください。

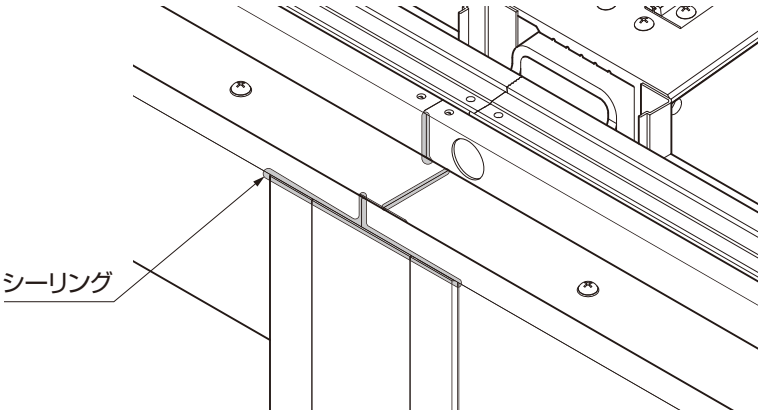


①雨樋のV溝にLアングルのV溝を合わせて【9-12】で取付けてください。

9-7 中間配線カバーの取付け ※中間柱にケーブルを通す場合の作業です。

(1)雨樋連結部のシーリング





①中間柱の雨樋連結部の内側にシーリングをしてください。

(2)中間配線カバーの取付け

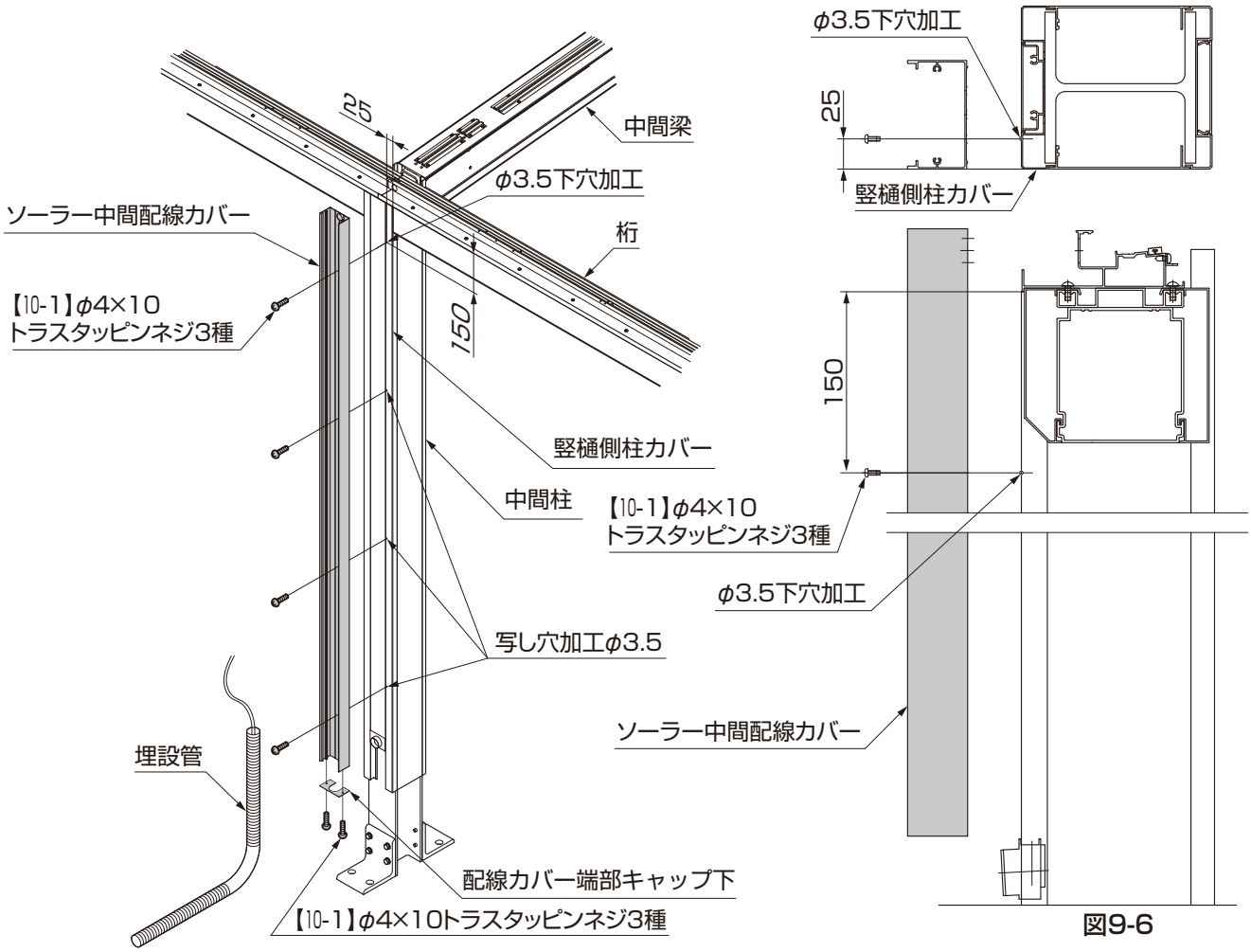
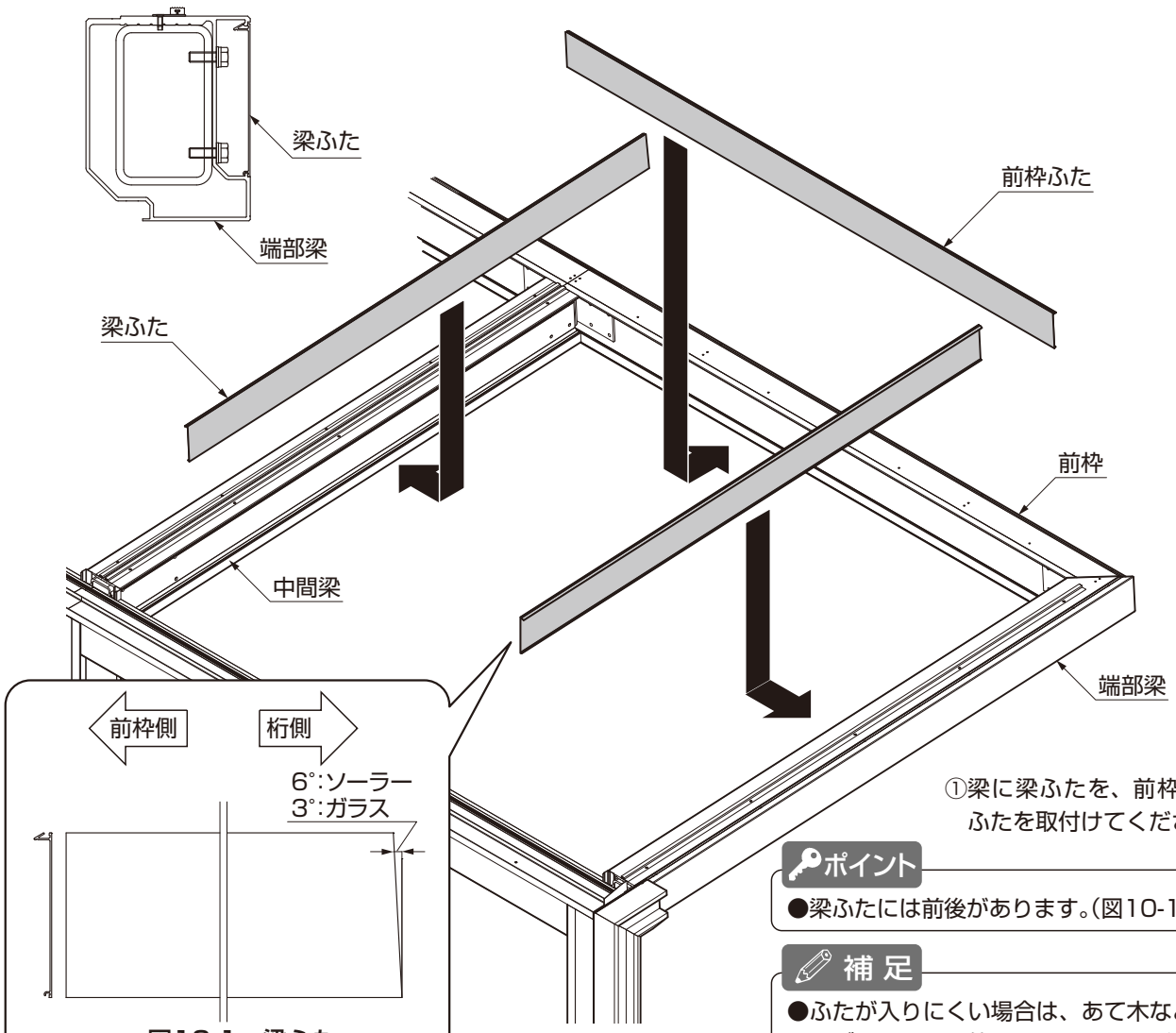


図9-6

①ソーラー中間配線カバーを取付ける中間柱の竪樋側柱カバーに、φ3.5 の下穴をあけてください。(図9-6参照)
②①の穴を基準にソーラー中間配線カバーの1番上の穴をあわせて、写し穴で竪樋側柱カバーにφ3.5 の下穴をあけてください。
③ソーラー中間配線カバーを【10-1】で取付けてください。
④立ち上げた埋設管をソーラー中間配線カバーの中に収め、配線カバー端部キャップ下を【10-1】で取付けてください。

10. 梁ふた、前枠ふたの取付け



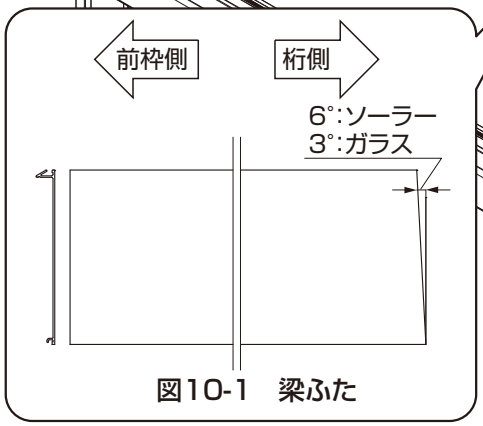


図10-1　梁ふた

①梁に梁ふたを、前枠に前枠ふたを取付けてください。

ポイント

●梁ふたには前後があります。(図10-1参照)

補 足

●ふたが入りにくい場合は、あて木などをしてゴムハンマー等で叩き込んでください。

11. 中骨の取付け　※ソーラータイプW25の場合の作業です。

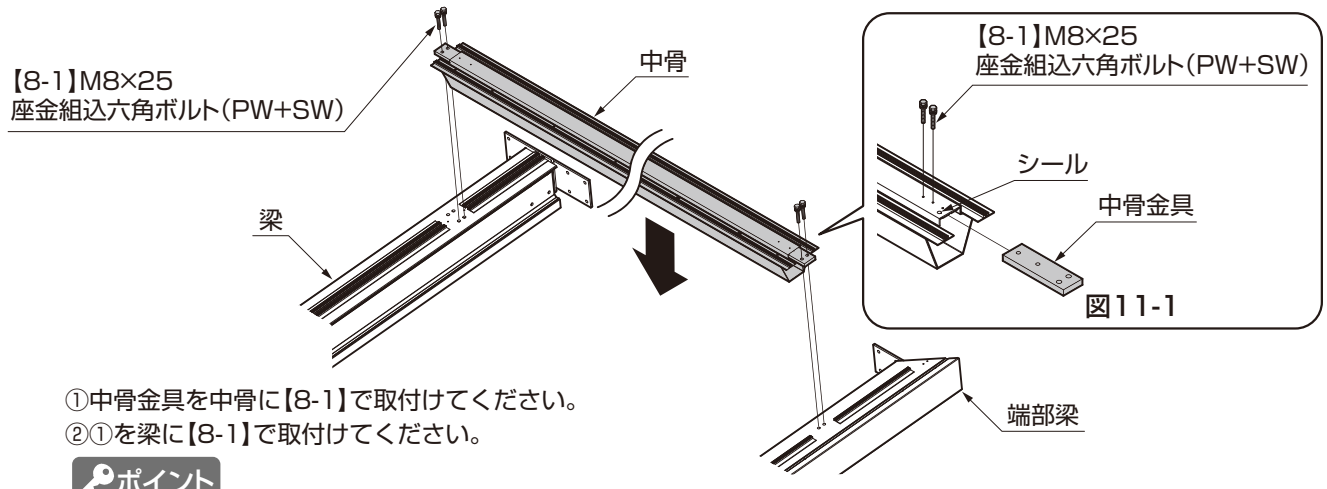


図11-1

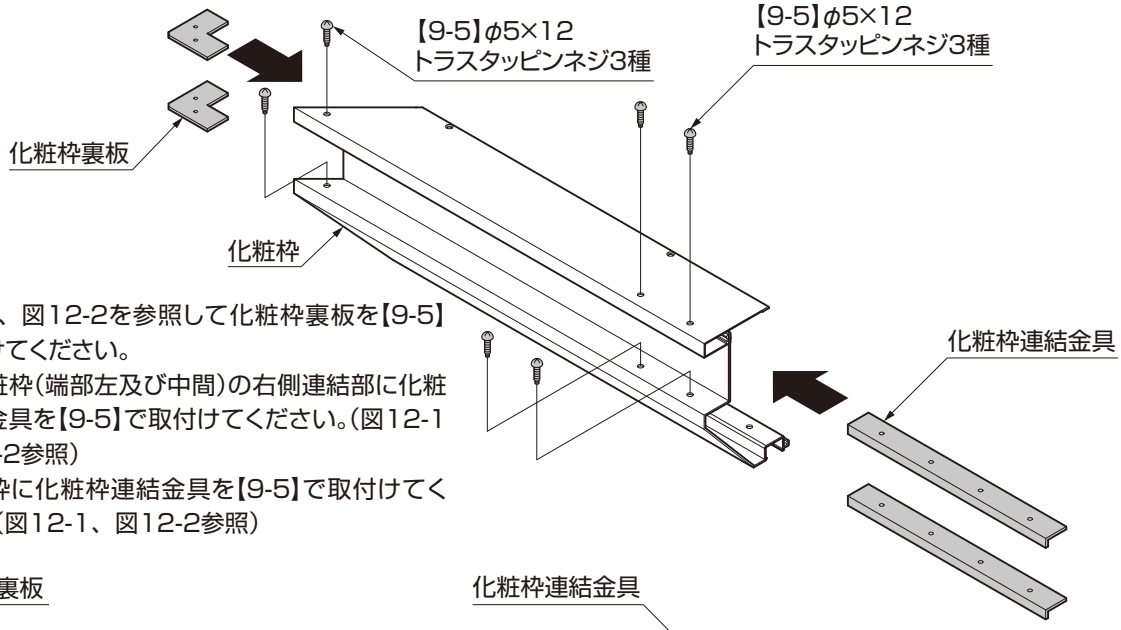
①中骨金具を中骨に【8-1】で取付けてください。
②①を梁に【8-1】で取付けてください。

ポイント

●端部中骨はシールが貼ってある方を端部梁に取付けてください。(図11-1参照)

12. 化粧枠の取付け

12-1 化粧枠裏板、化粧枠連結金具の取付け



①図12-1、図12-2を参照して化粧枠裏板を【9-5】で取付けてください。
②前枠化粧枠(端部左及び中間)の右側連結部に化粧枠連結金具を【9-5】で取付けてください。(図12-1、図12-2参照)
③梁化粧枠に化粧枠連結金具を【9-5】で取付けてください。(図12-1、図12-2参照)

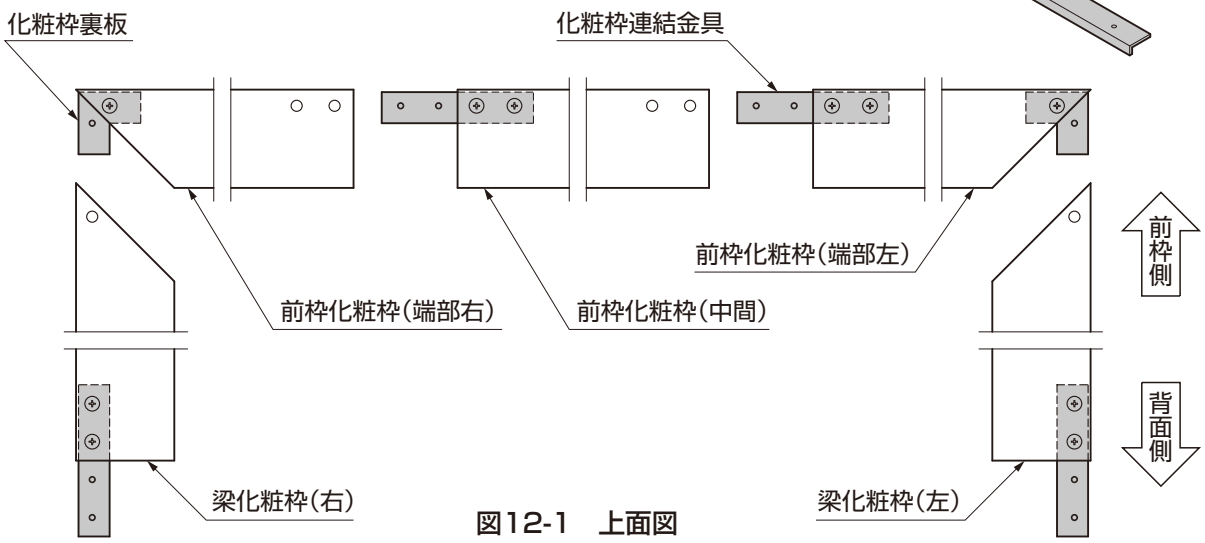


図12-1　上面図

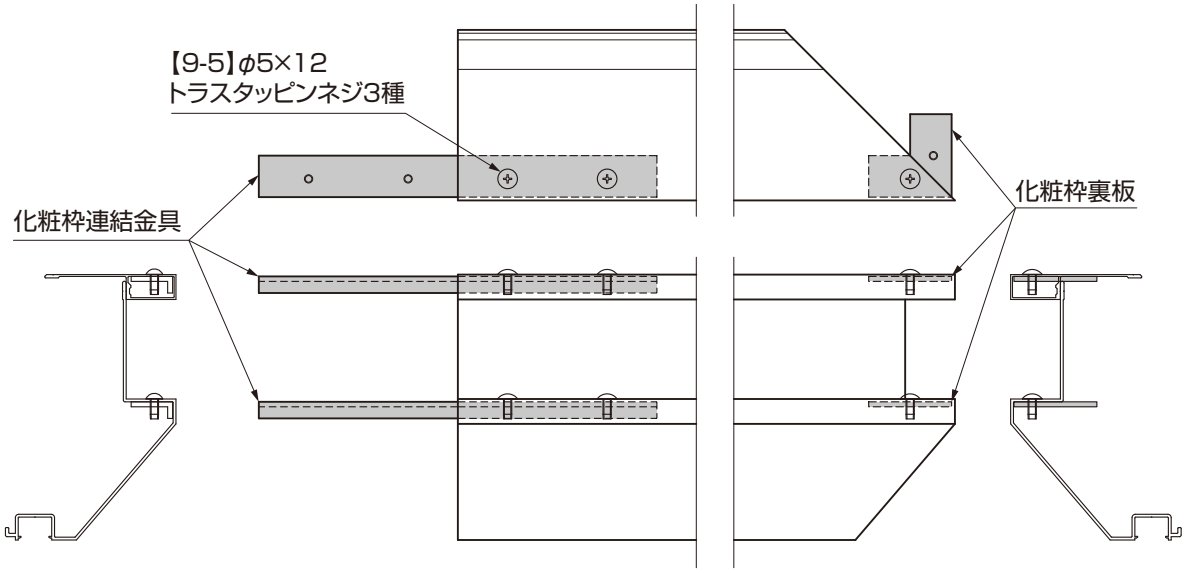
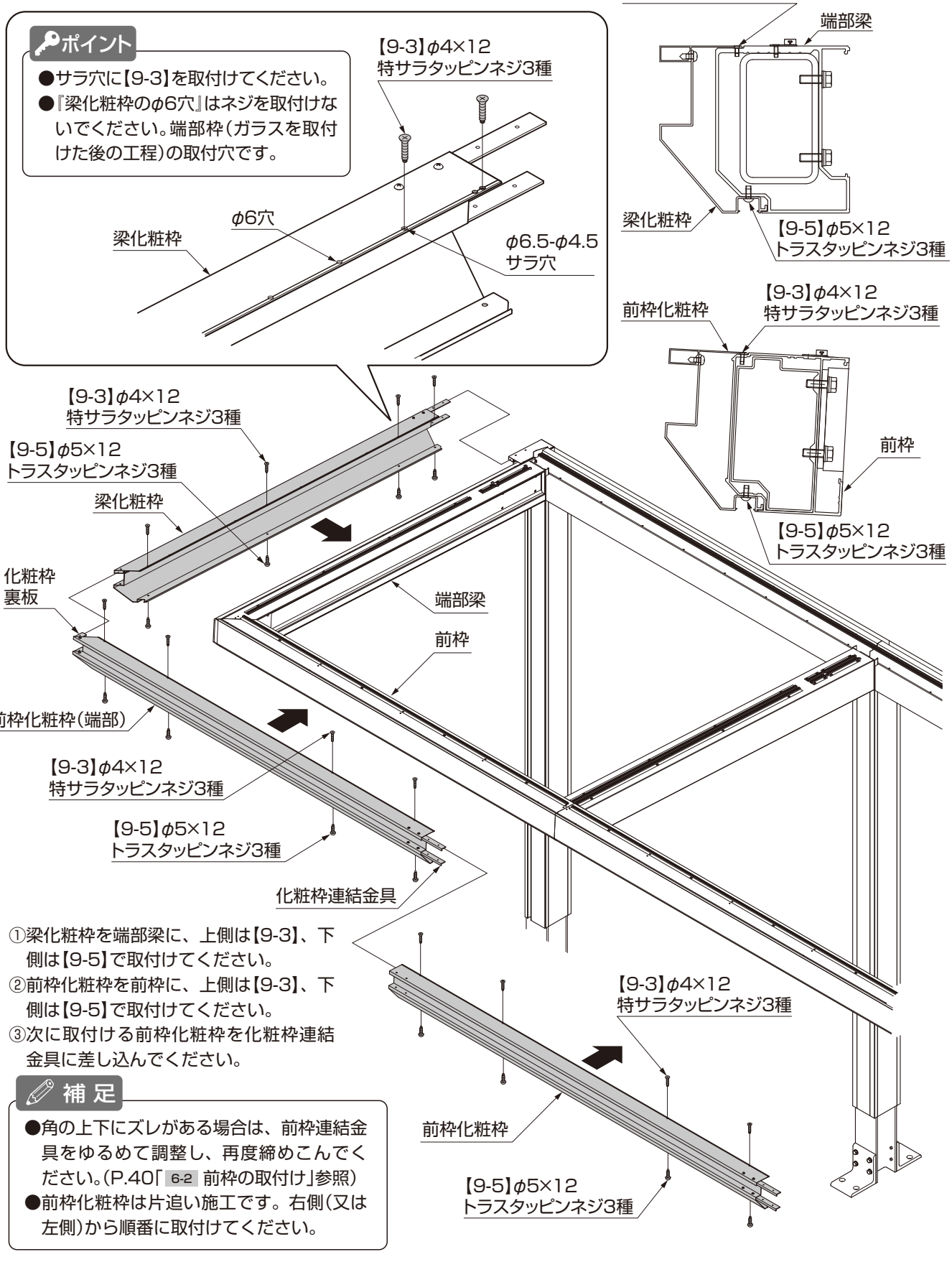


図12-2　化粧枠裏板および化粧枠連結金具取付概要

12. 化粧枠の取付け（つづき）

12-2 化粧枠の取付け



①梁化粧枠を端部梁に、上側は【9-3】、下側は【9-5】で取付けてください。
②前枠化粧枠を前枠に、上側は【9-3】、下側は【9-5】で取付けてください。
③次に取付ける前枠化粧枠を化粧枠連結金具に差し込んでください。

補足

●角の上下にズレがある場合は、前枠連結金具をゆるめて調整し、再度締めこんでください。（P.40「6-2 前枠の取付け」参照）
●前枠化粧枠は片追い施工です。右側（又は左側）から順番に取付けてください。

E341_201307B

12-3 化粧枠連結部・前枠連結部の固定

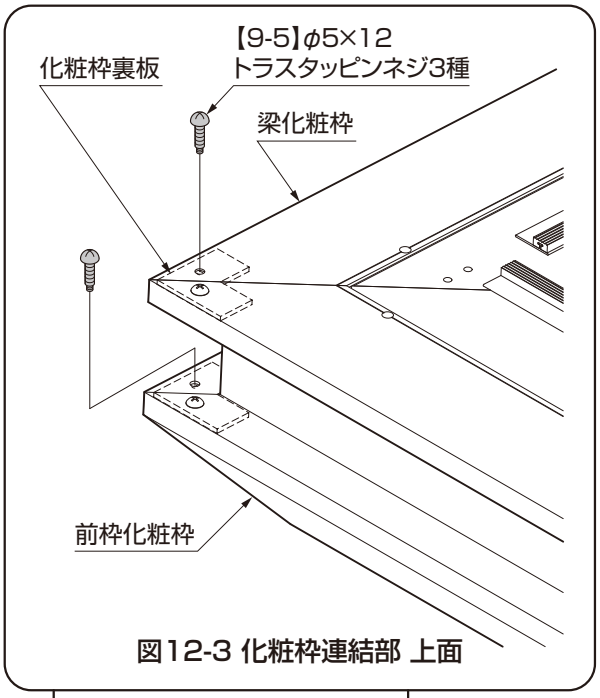


図12-3 化粧枠連結部 上面

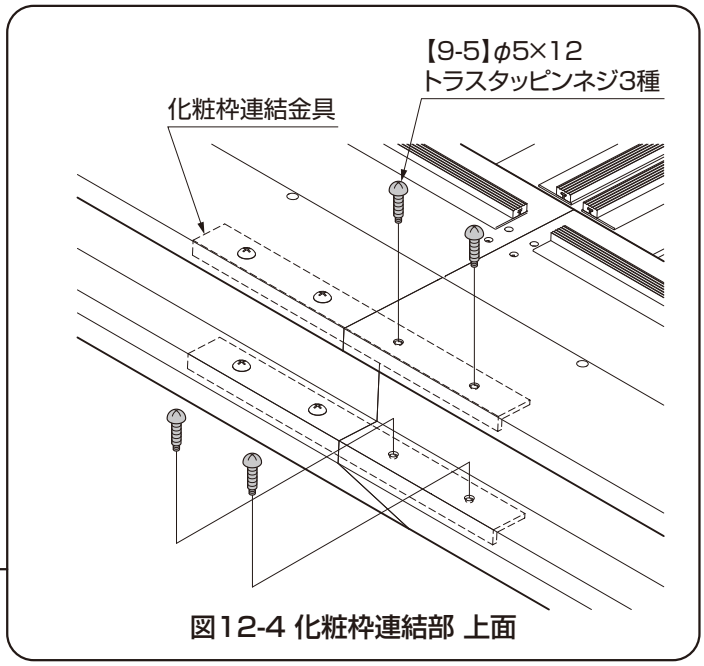
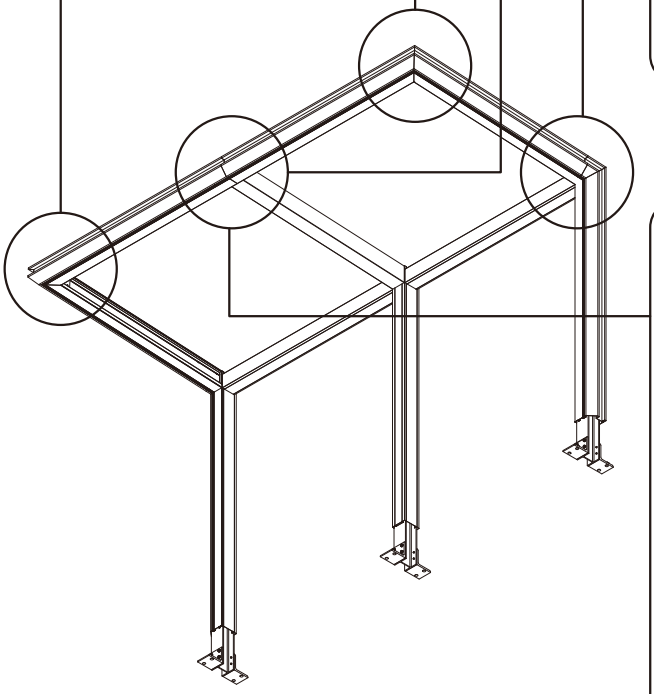


図12-4 化粧枠連結部 上面



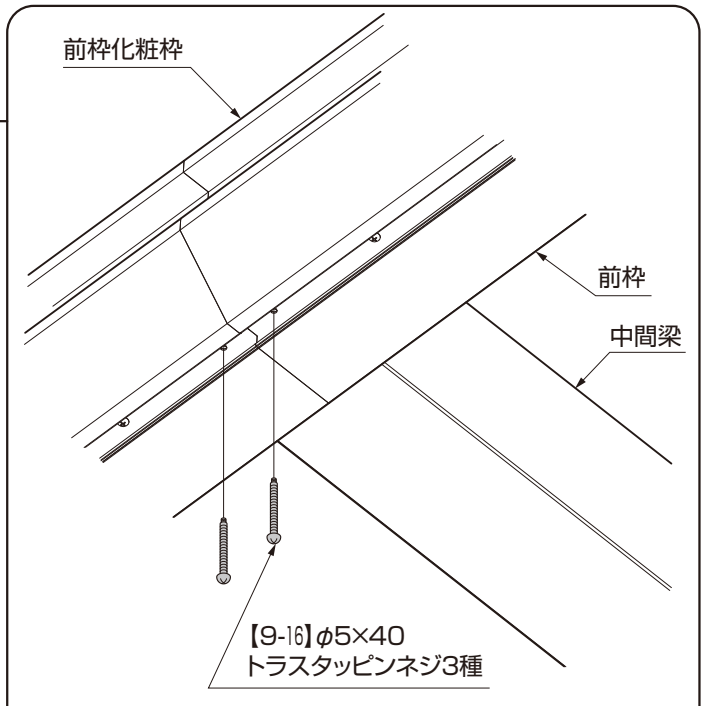


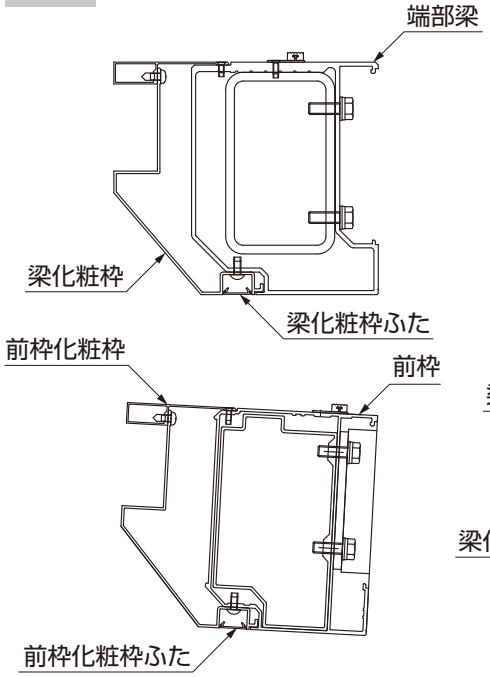
図12-5 前枠連結部 下面

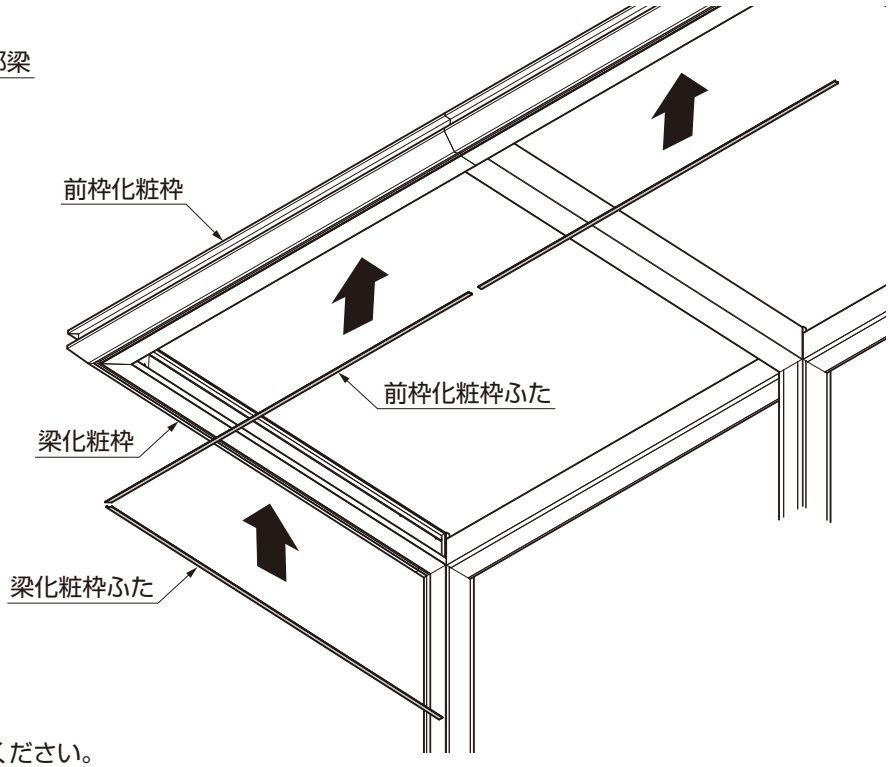
①化粧枠裏板と化粧枠連結金具に【9-5】を取付けて化粧枠を連結してください。（図12-3、12-4参照）

②【9-16】を前枠連結部の下面に取付けてください。（図12-5参照）

12. 化粧枠の取付け（つづき）

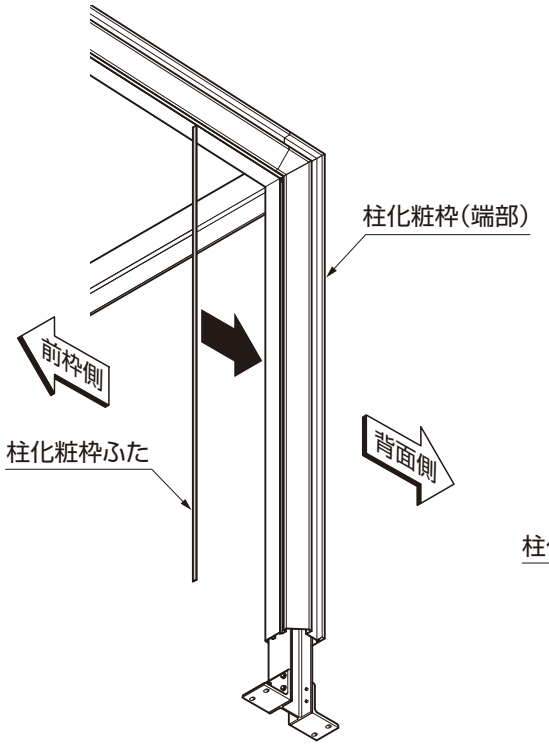
12-4 化粧枠ふたの取付け

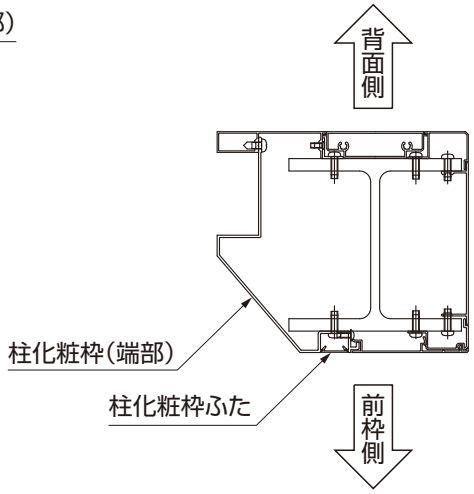




①化粧枠ふたを化粧枠に取付けてください。

12-5 柱化粧枠ふたの取付け



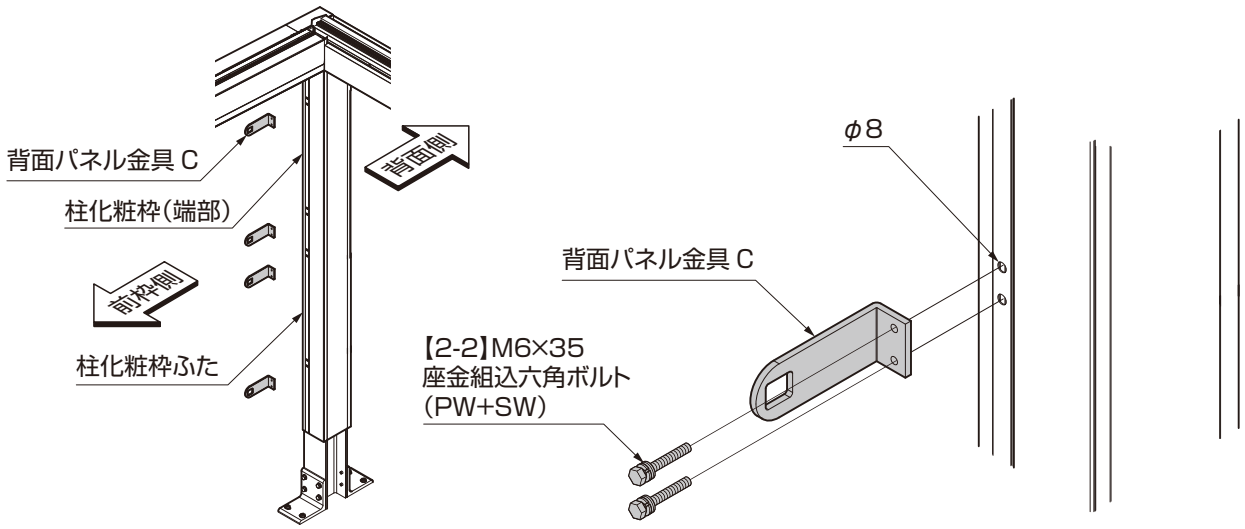


①柱化粧枠ふたを柱化粧枠に取付けてください。

ポイント

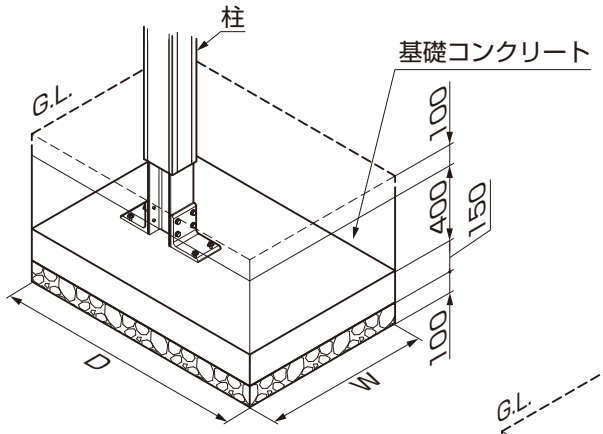
●柱化粧枠ふた(側面パネル用)には上下があります。端部柱カバーの穴と柱の穴が合うことを確認して取付けてください。
●柱化粧枠ふたは下に落ちないように養生テープ等で固定してください。

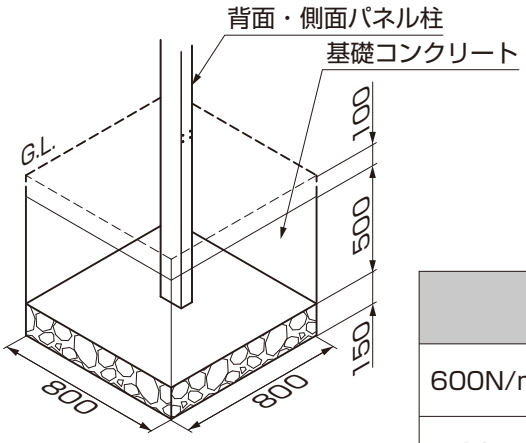
13. 背面パネル金具の取付け ※側面パネルを取付ける場合の作業です。



①背面パネル金具 C を【2-2】で取付けてください。

14. 基礎の施工





	背面パネル	W	D
600N/㎡	無	800	1200
	有	800	1800
1500N/㎡	無	800	1300
	有	1100	1800

ポイント

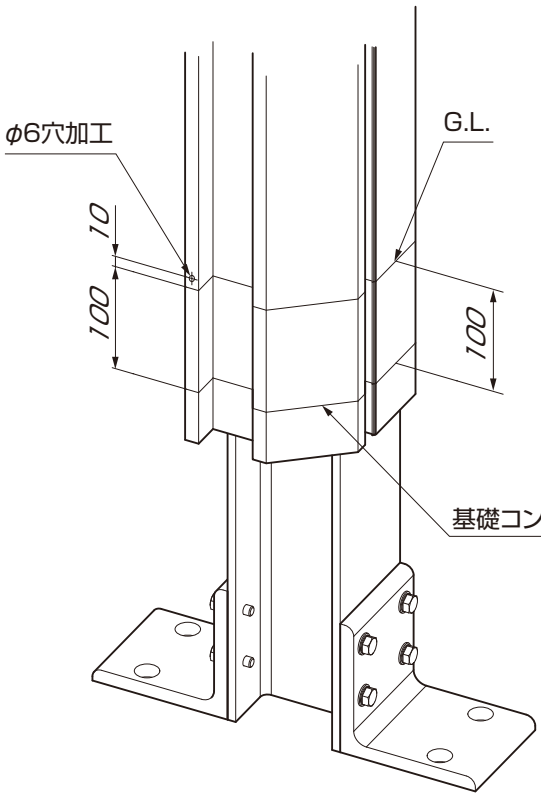
●ガラス・ソーラーパネル施工前に基礎コンクリート打設が必要です。

①基礎コンクリートを打設してください。(P.20～24「2. 基本寸法図」参照)

補 足

●基礎は 600N/ ㎡は基準風速 34m/s、1500N/ ㎡は基準風速 40m/s で、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50kN/ ㎡時の参考寸法です。

15. 水抜き穴の加工　※端部柱のみの作業です。



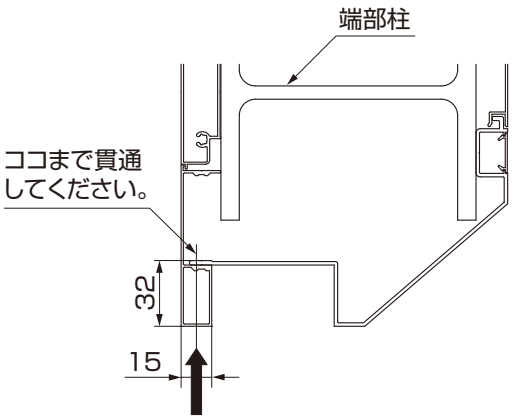


図15-1 端部柱断面

①G.L.から10mm上にφ6mmの穴をあけてください。

ポイント

●穴は32mm以上貫通してください。（図15-1参照）
●中間柱には穴あけの必要はありません。

16. 屋根材・背面パネル・側面パネルの取付け

●ガラス施工を参照してください。（E342 ガラス施工編 参照）

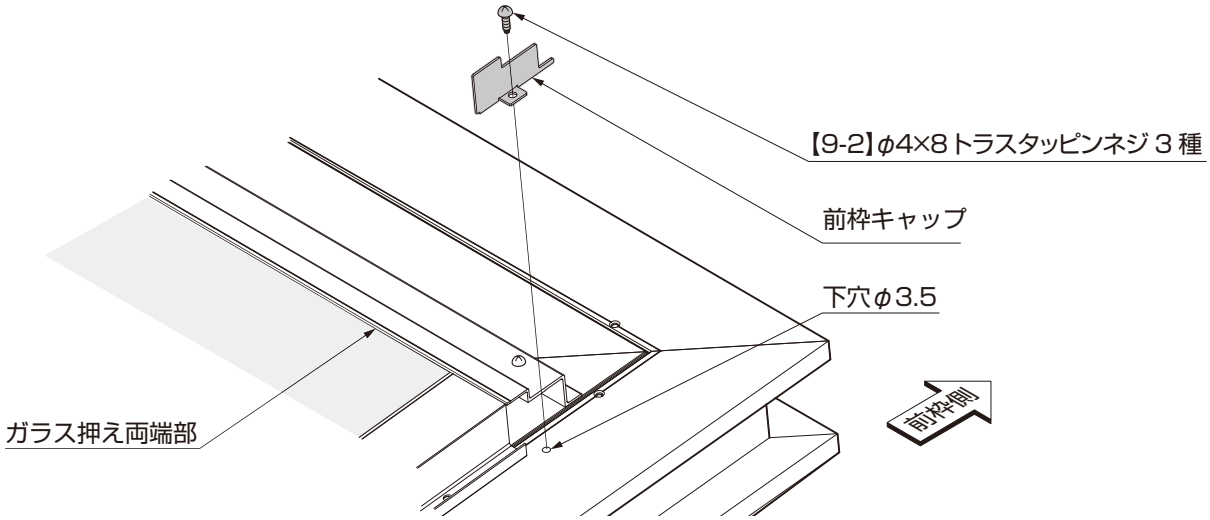
ポイント

●ガラス施工に使用するネジはなくさないようにしてください。

補 足

●ガラス・ソーラーパネルのシーリング養生期間は、周囲温度によってことなります。ガラス施工業者様は施主様とご相談のうえ、養生期間を設けてください。

17. 前枠端部キャップの取付け

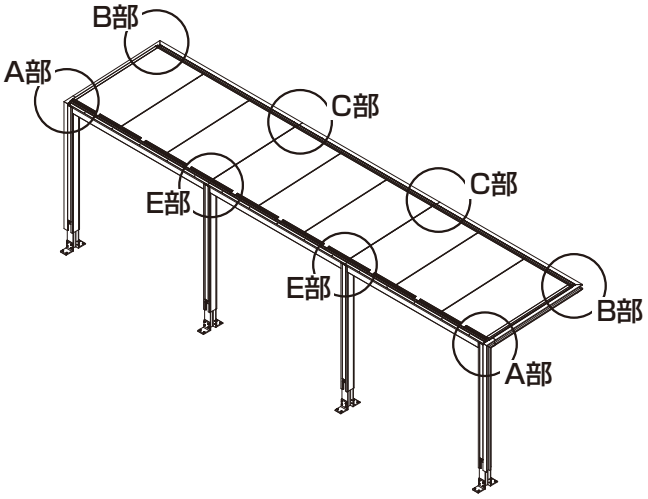


①ガラス押え（前枠）の端部に前枠キャップをあてがい、梁上面に写し穴でφ3.5の下穴をあけてください。
②①の下穴に【9-2】で前枠キャップを取付けてください。

補足

●ソーラー仕様の場合も同様の作業です。

18. シーリング



①指定の箇所にシーリングをしてください。

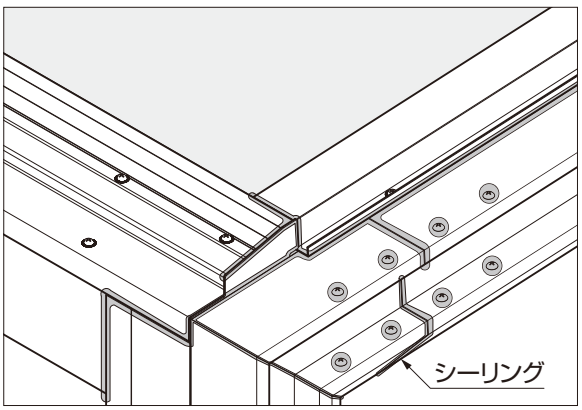


図18-1　A部

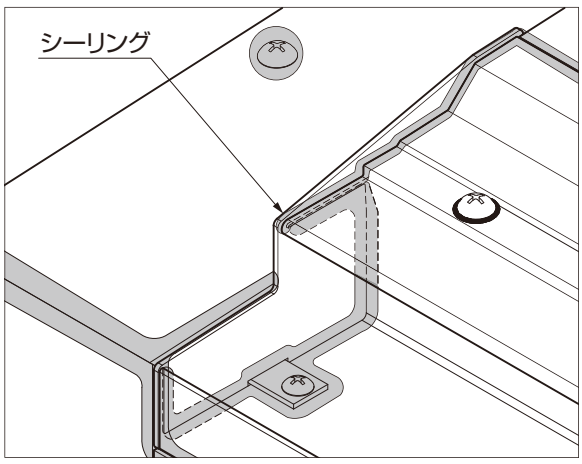


図18-2　A部

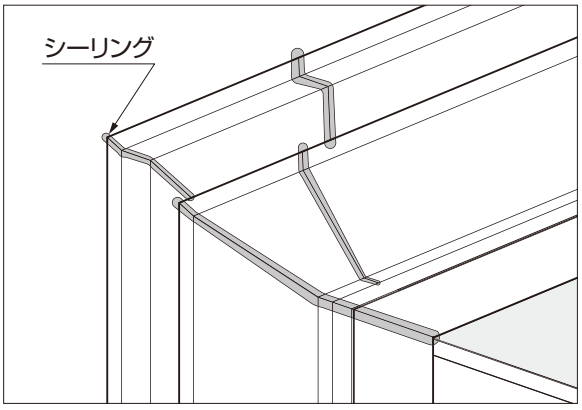


図18-3　A部

18. シーリング（つづき）

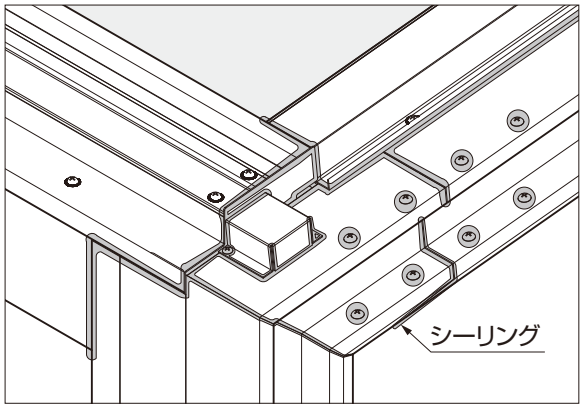


図18-4　A部 ソーラーの場合

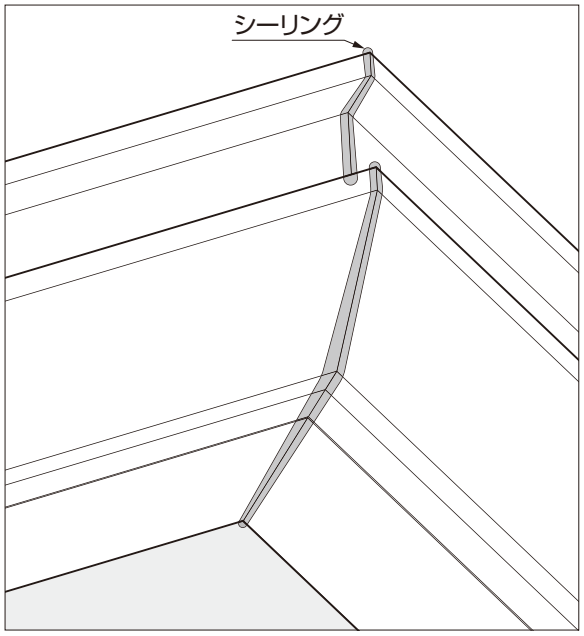


図18-5　B部

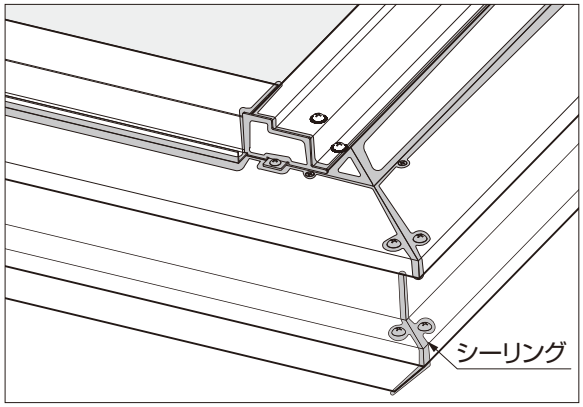


図18-6　B部

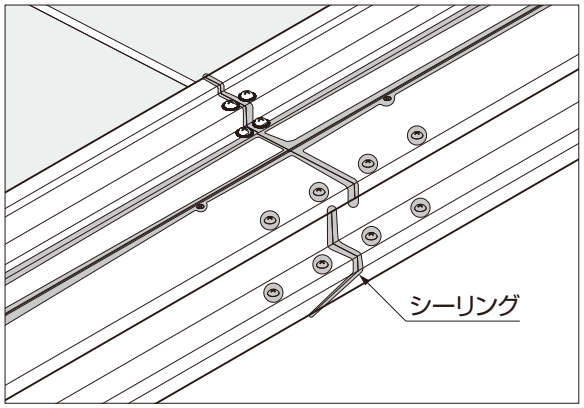
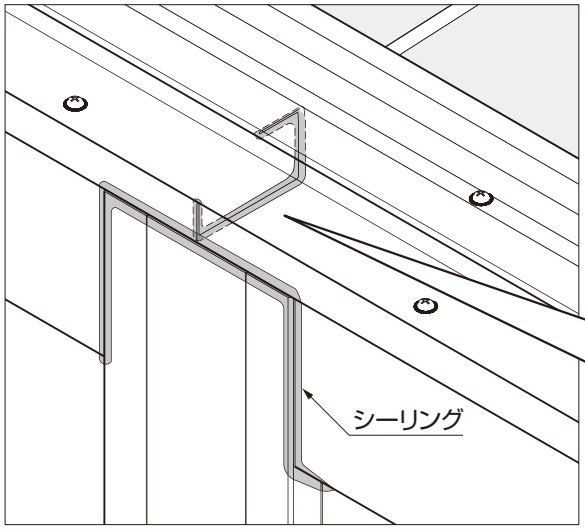


図18-7　C部



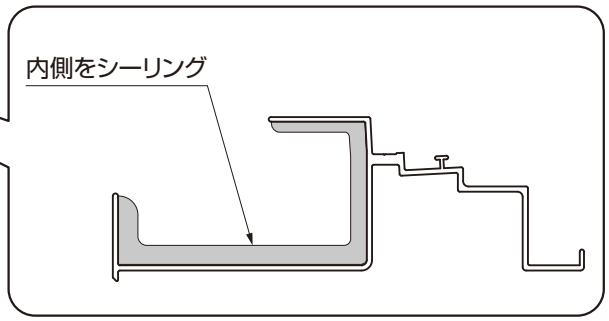


図18-8　E部

①指定の箇所にシーリングをしてください。

ポイント

●十分にシーリングしていないと雨漏れの原因となります。

メモページ

5　オプションの施工方法

1. LEDの取付け オプション

ポイント

●電線の埋設工事、配線工事に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。

1-1 穴加工

（1）LED台座の穴加工

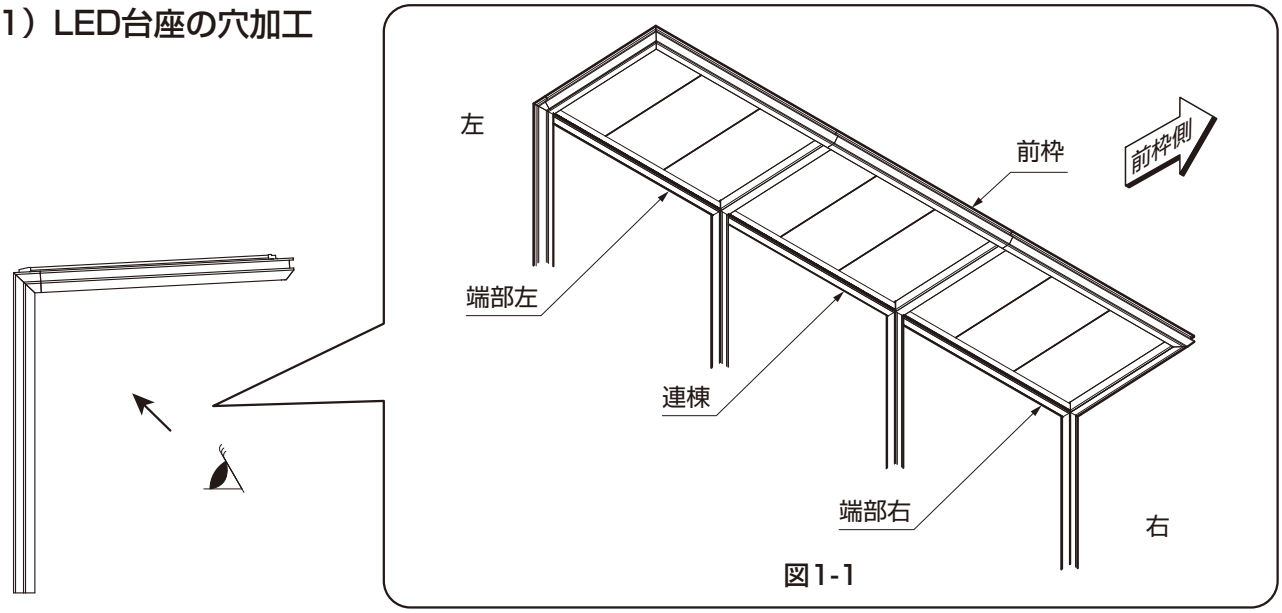


図1-1

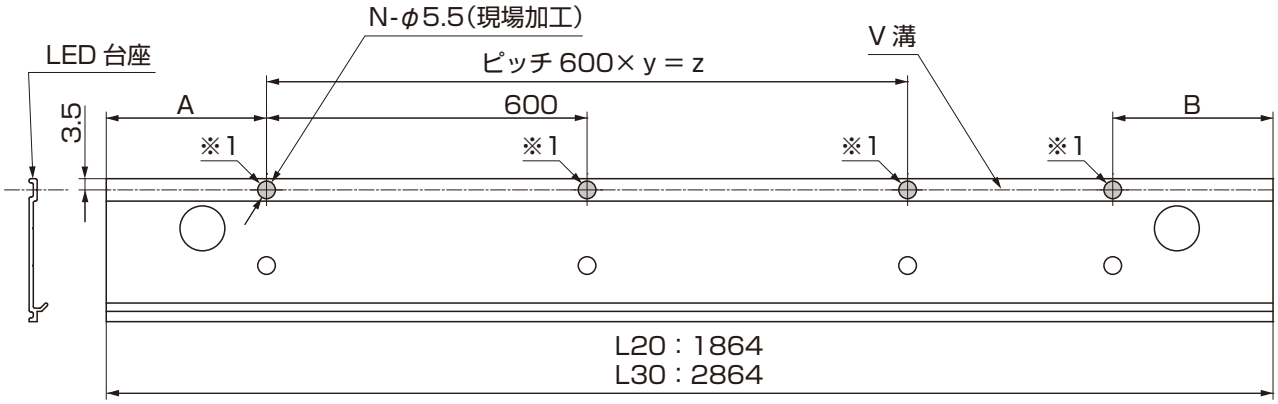


表1-1　LED台座穴加工位置

	呼　称	A	B	N	y	z
L20	単　独	50	50	4	2	1200
	端部右	46	50			
	端部左	50	46			
	連　棟	46	46			
L30	単　独	50	50	6	4	2400
	端部右	46	50			
	端部左	50	46			
	連　棟	46	46			

①LED 台座の※1 にφ5.5 の穴をあけてください。

補 足

●LED台座には左右があります。前枠側から見た左右になります。（図1-1参照。図1-1は前枠側から見上げている図です。）

(2) 桁カバー(前)、桁の穴加工

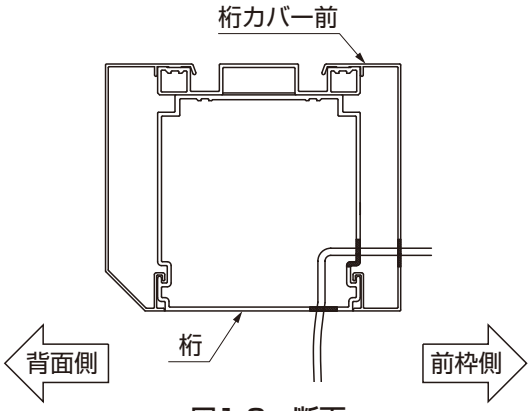


図1-2　断面

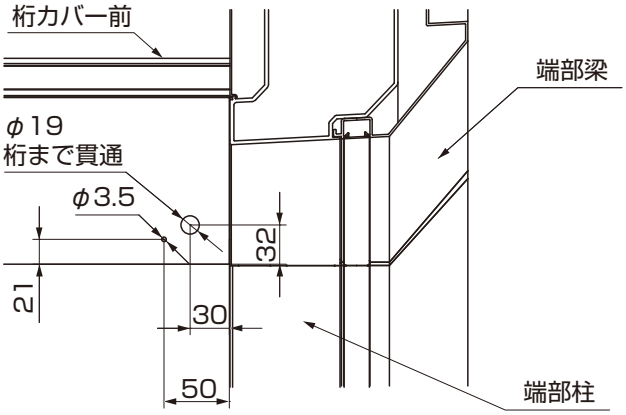
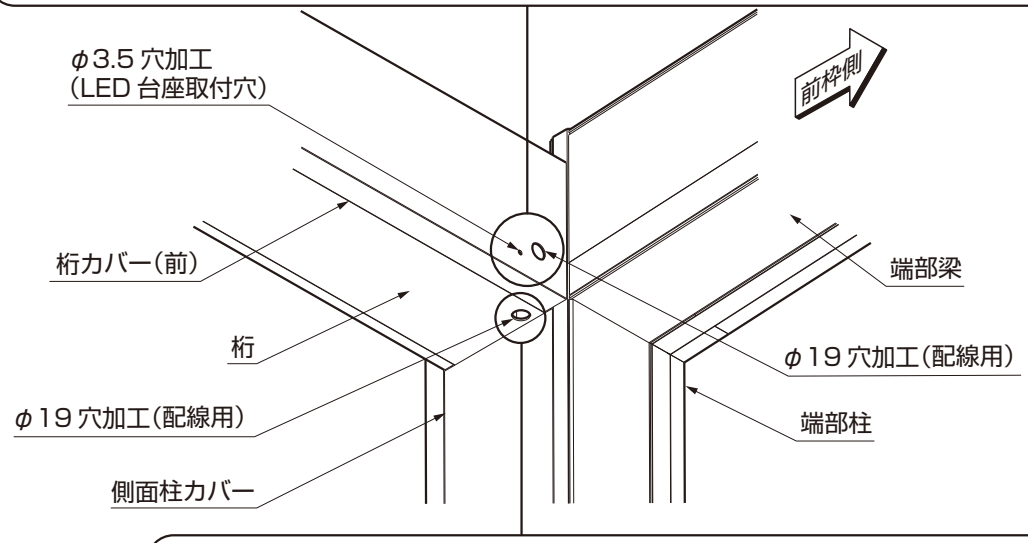


図1-3　正面



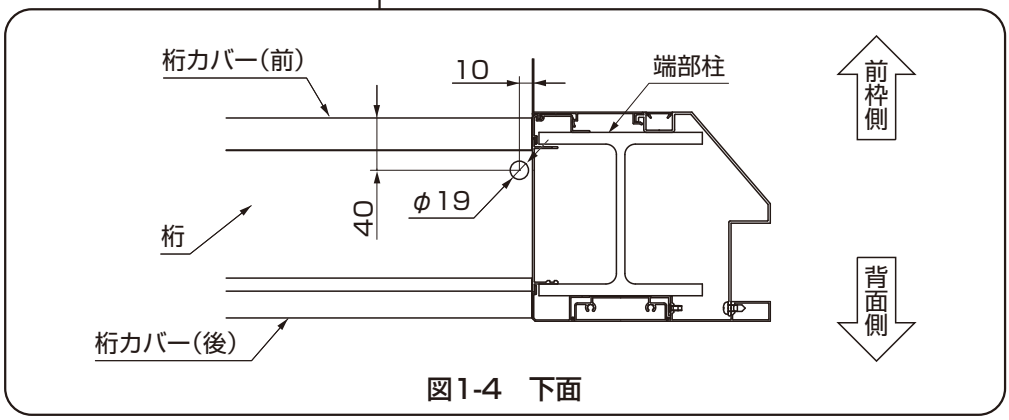


図1-4　下面

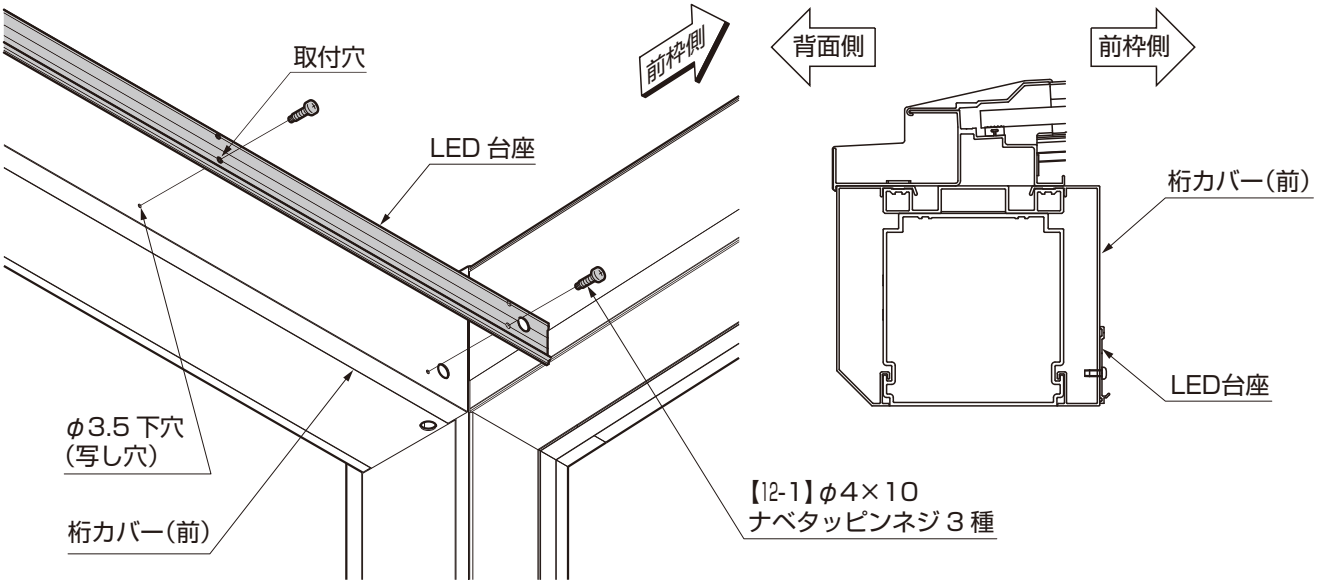
①桁カバー前にLED台座取付用のφ3.5下穴をあけてください。(図1-3)
②桁カバー前と桁にφ19の配線通し穴をあけてください。(図1-2、1-3)
③桁の下面にφ19の配線通し穴をあけてください。(図1-4)

ポイント

●配線用の加工穴には、自在ブッシングなどの保護材(現場手配)を取付けてください。

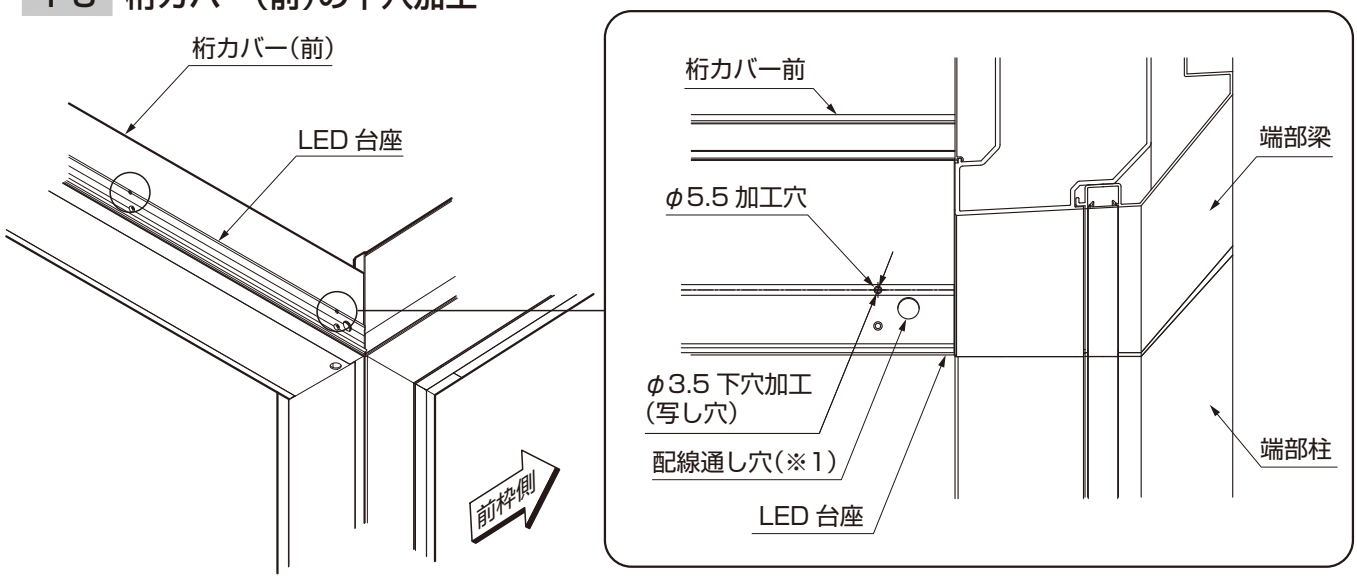
1. LEDの取付け オプション （つづき）

1-2 LED 台座の取付け



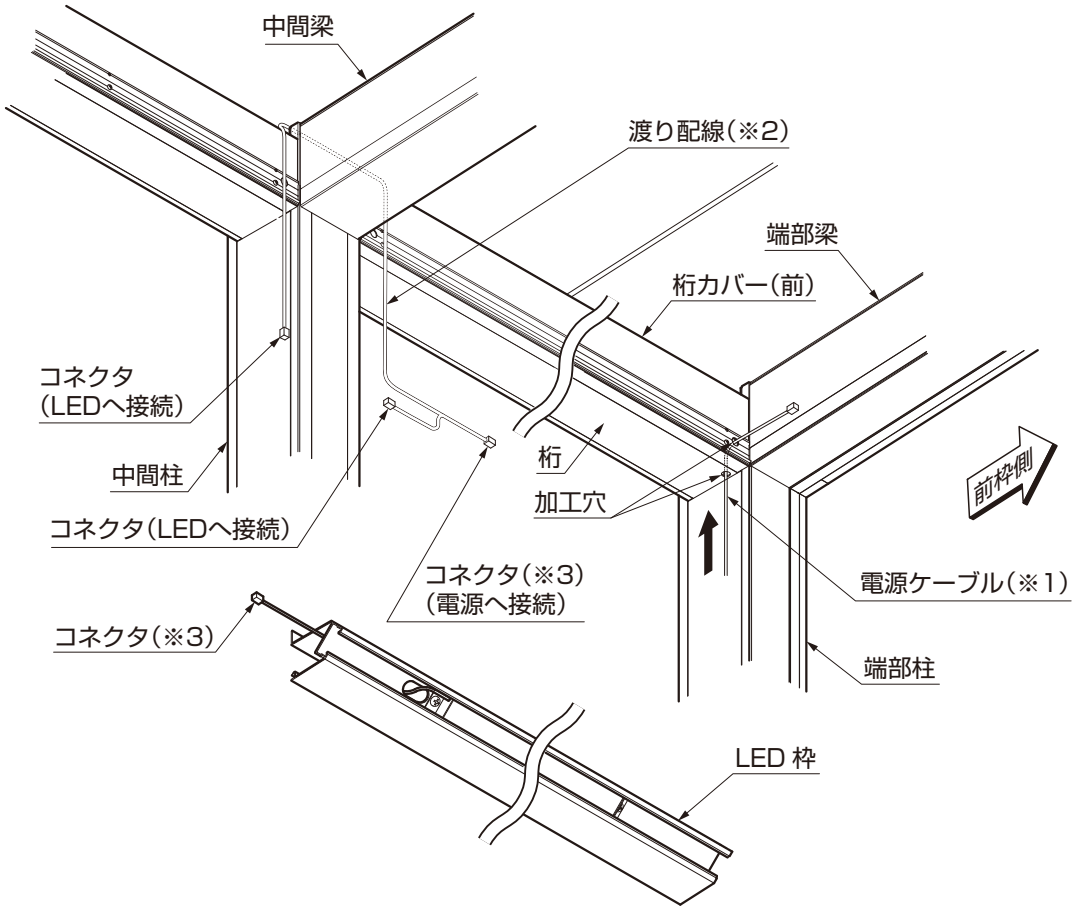
①桁にLED台座をあてがい、写し穴でφ3.5下穴をあけてください。
②桁にLED台座を【12-1】で取付けてください。

1-3 桁カバー(前)の下穴加工



① 1-1 でLED台座にあけた穴を写し穴に桁カバー(前)にφ3.5の穴をあけてください。
②LED台座にあいている配線通し穴をφ19にしてください。(※1)

1-4 配線



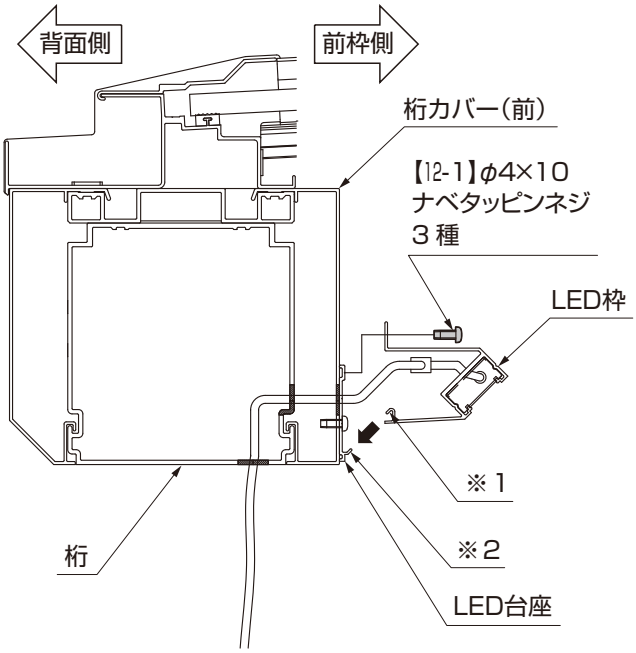
①電源ケーブルを桁下面の加工穴から桁カバー(前)の加工穴へ通してください。(※1)
②渡り配線を使用する場合は、渡り配線を電源ケーブルに接続し、反対側のコネクタを中間梁上部の隙間へ通してください。(※2)
③配線を養生テープで仮固定してください。
④LED 枠のコネクタを電源ケーブルまたは渡り配線ケーブルに接続してください。

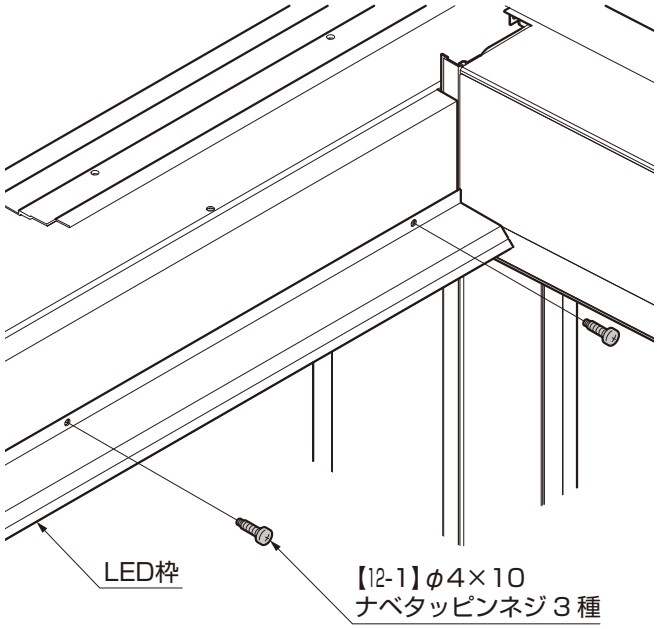
補 足

●LEDユニット1個の入力電圧はDC24V、入力電流は460mAです。接続は並列になります。
●電源ケーブルは現場手配してください。
●LED枠のコネクタと渡り配線ケーブルの電源ケーブルに接続するコネクタはプラグハウジング(02P-MWPV-SSR)です。(※3)
電源ケーブルはこれに接続できるように現場手配してください。

1. LEDの取付け オプション （つづき）

1-5 LED 枠の取付け





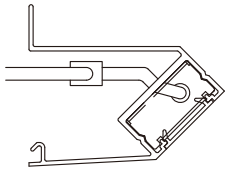
①LED枠の(※１)をLED台座の(※２)に引っ掛け、【12-1】で取付けてください。

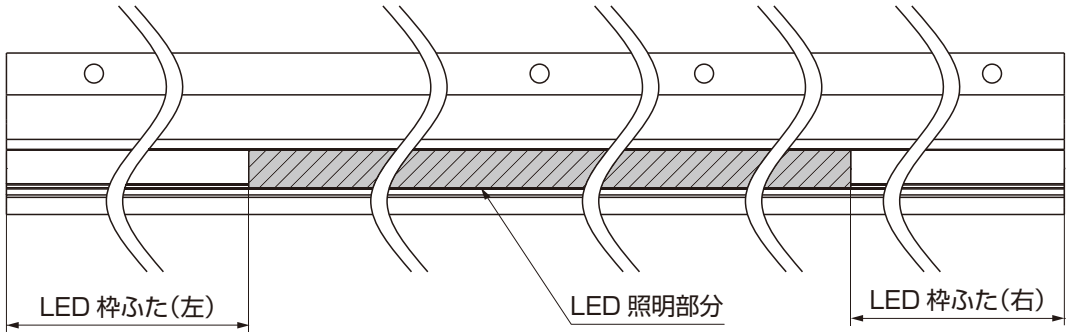
ポイント

●ケーブルをはさまないように注意してください。

1-6 LED 枠ふたの取付け

（1）LED枠ふたの切断





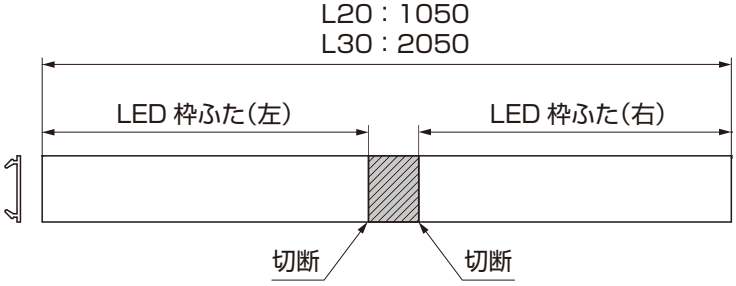
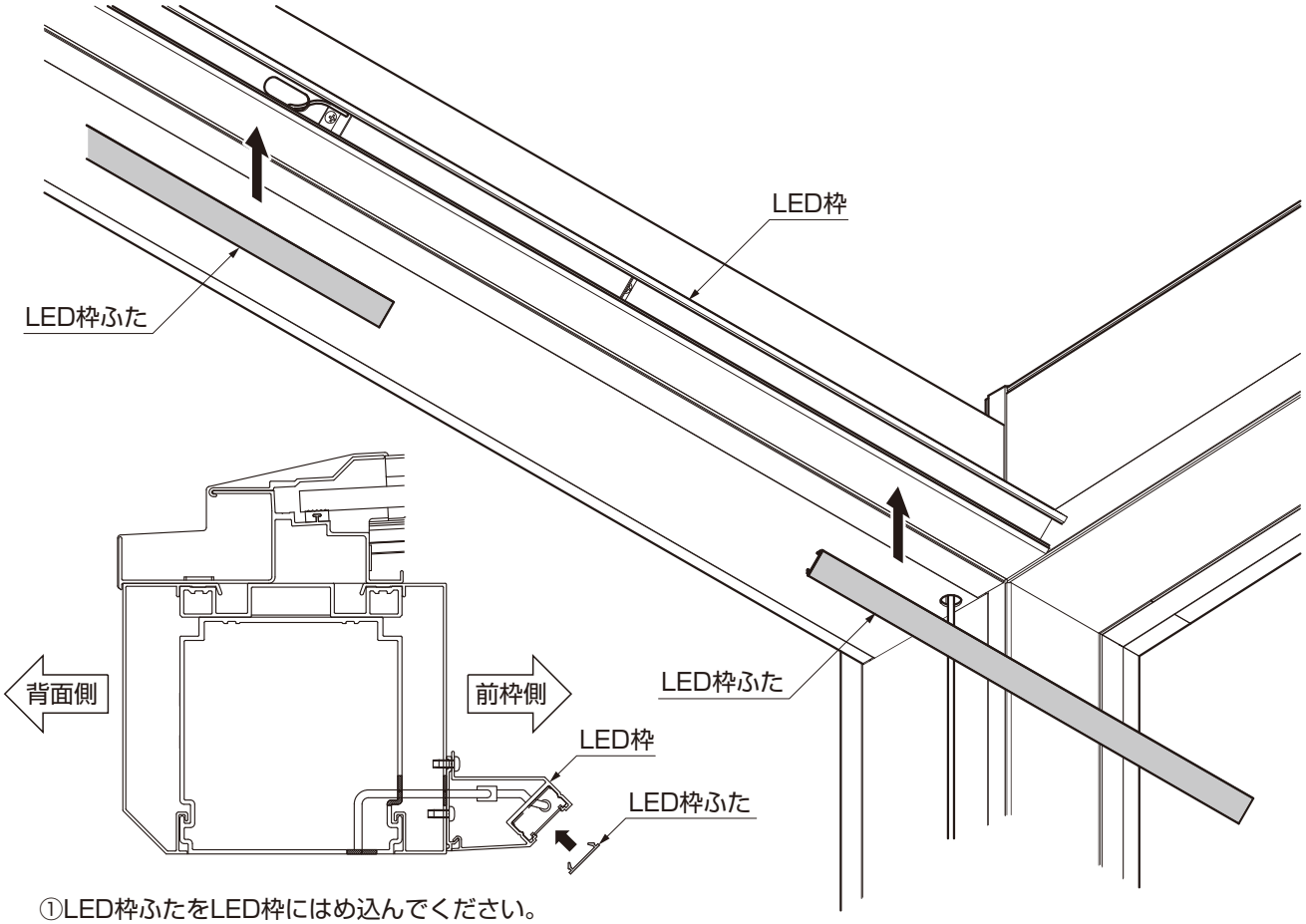


表1-2 LED枠ふた切断長

	呼 称	左 側	右 側
L20	単 独	495	491
	端 部		494
	連 棟		498
L30	単 独	995	991
	端 部		994
	連 棟		998

①LED枠ふたを必要な長さに切断してください。(表1-2参照)

(2) LED枠ふたの取付け

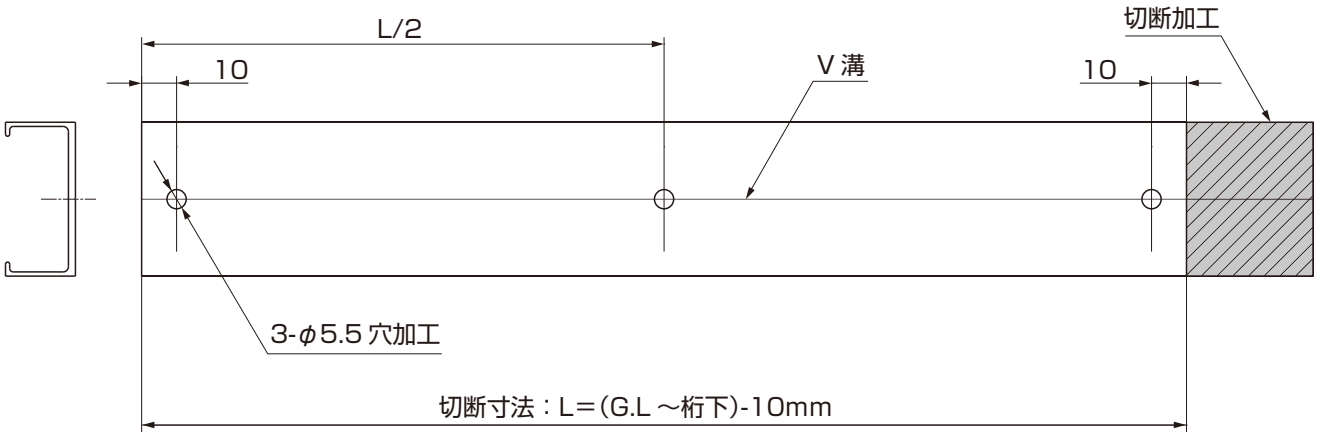


①LED枠ふたをLED枠にはめ込んでください。

補 足

●ふたが入りにくい場合は、あて木などをしてゴムハンマー等で叩いて、はめ込んでください。

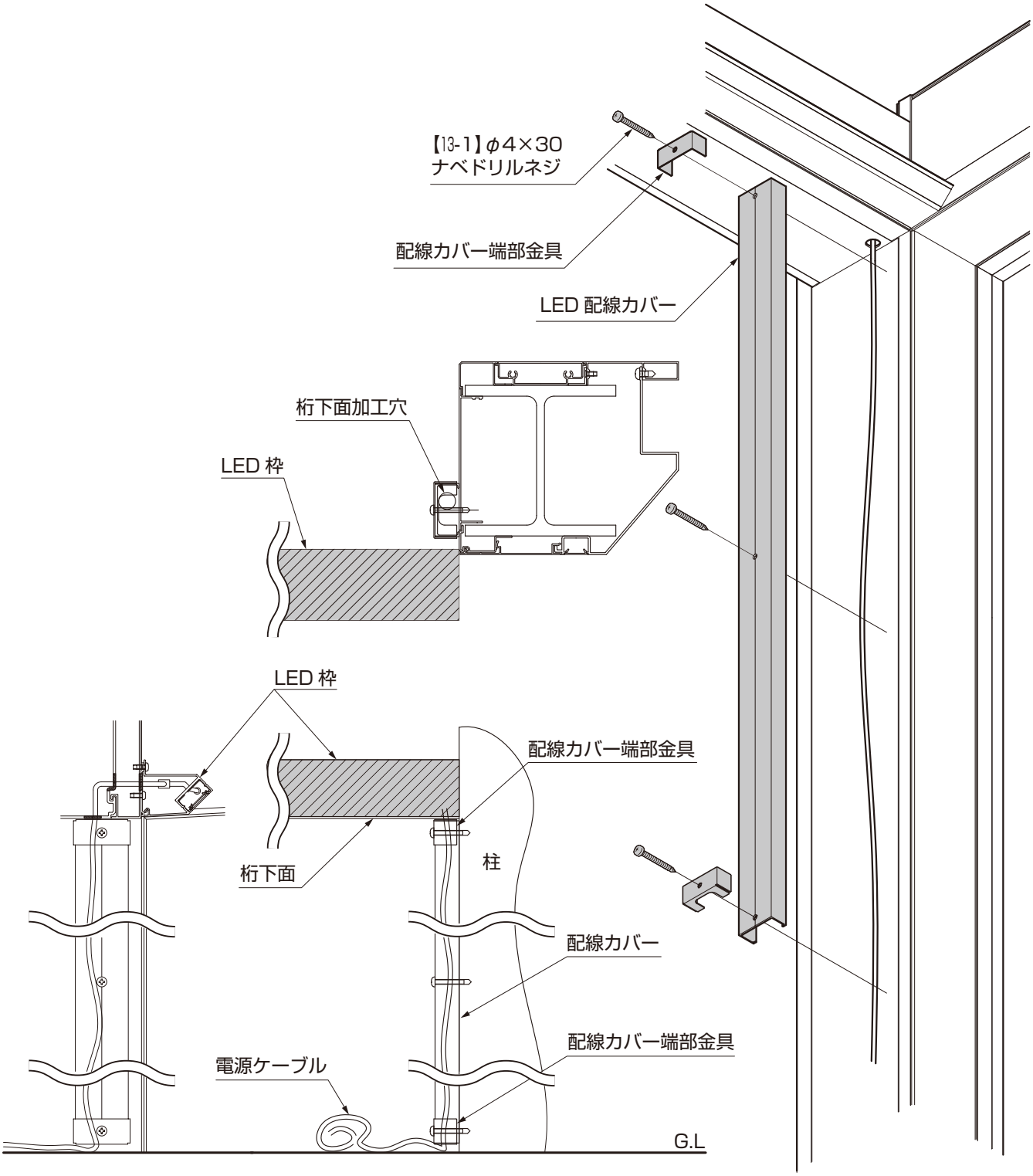
1-7 LED 配線カバーの取付け



①LED配線カバーを必要な長さに切断してください。

1. LEDの取付け オプション （つづき）

1-7 LED 配線カバーの取付け（つづき）



②LED配線カバーを【13-1】で取付けてください。

ポイント

●配線を傷つけないように注意してください。
●桁下面の加工穴が隠れるように取付けてください。

2. 輪止めの取付け オプション

2-1 取付下穴寸法

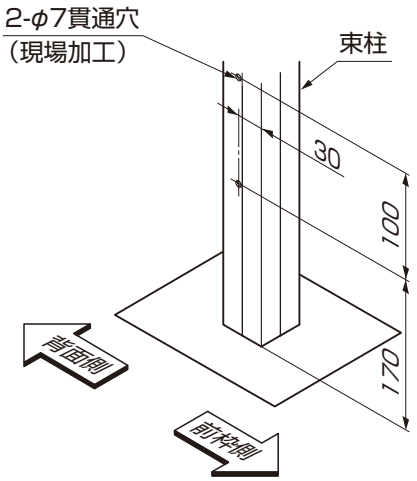


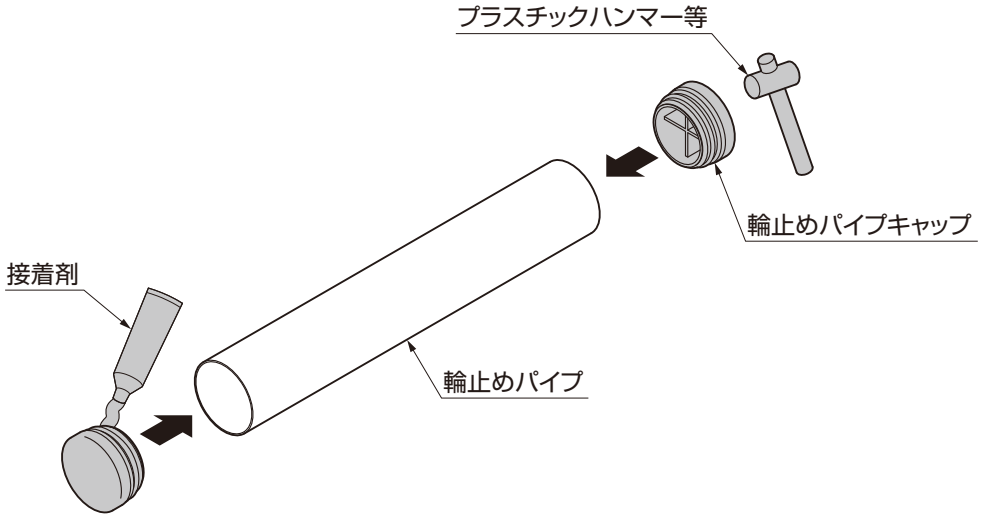
図2-1

①束柱に下穴をあけてください。（図2-1参照）

補 足

●束柱の基礎の施工はP.24「2.基本寸法図 2-4 輪止め付き（ガラス・ソーラー）」を参照してください。

2-2 輪止めパイプキャップの取付け



①輪止めパイプに輪止めパイプキャップを接着剤で取付けてください。

ポイント

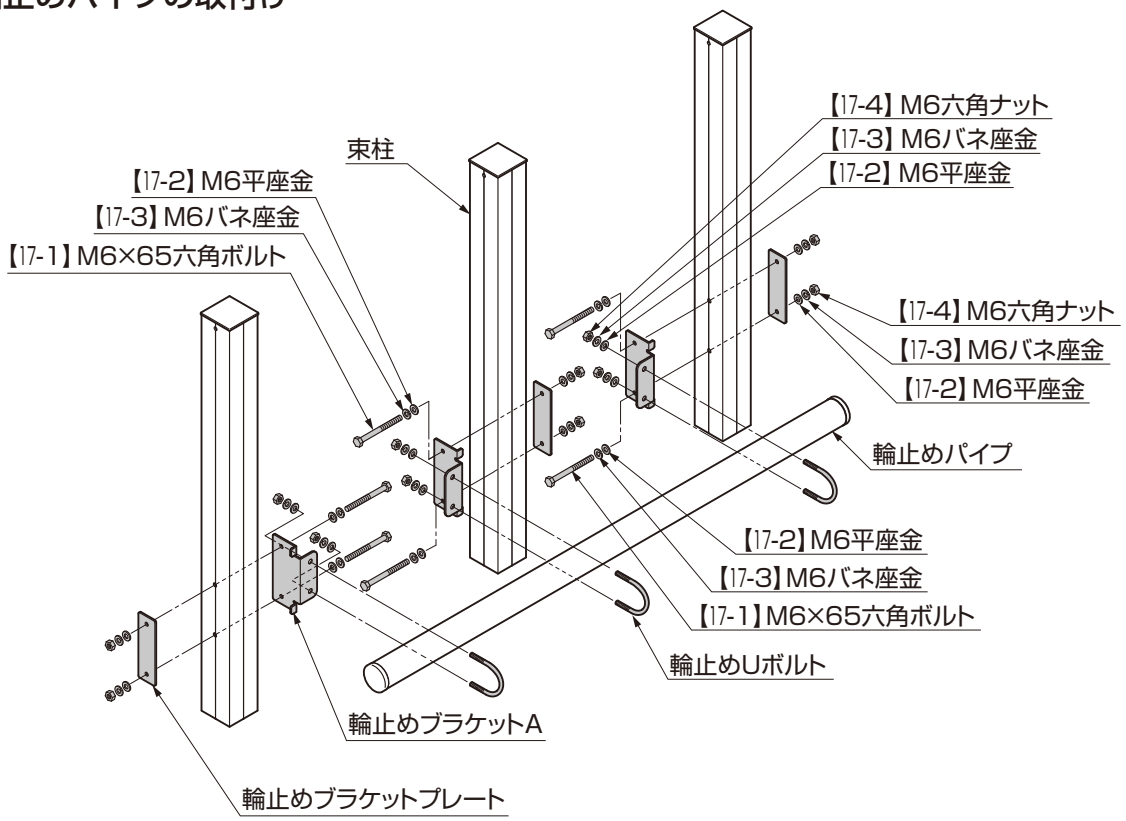
●輪止めキャップが挿入しづらいときは、プラスチックハンマーでたたいて挿入してください。
●キャップの破損を防ぐために、プラスチックハンマー等を使用してください。

補 足

●市販の接着剤を使用する場合は、塩ビ用接着剤または瞬間接着剤などのエポキシ系接着剤を使用してください。

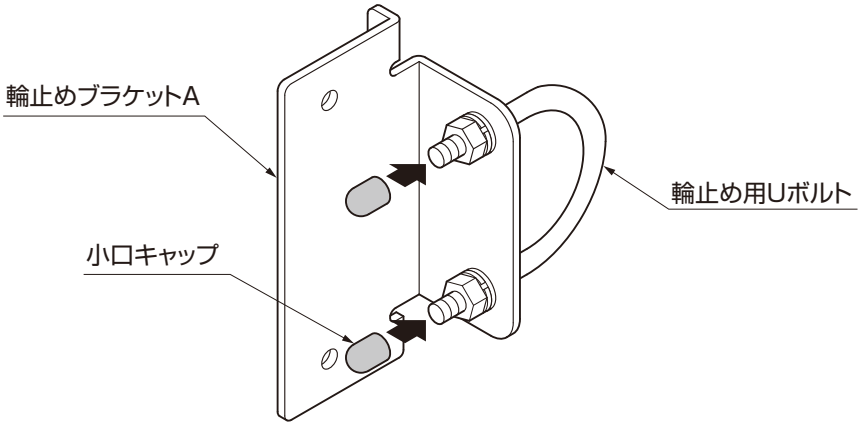
2. 輪止めの取付け オプション （つづき）

2-3 輪止めパイプの取付け



①束柱に【17-1】、【17-2】、【17-3】、【17-4】で輪止めブラケット A、輪止めブラケットプレートを固定してください。
②輪止めパイプを輪止め U ボルトと【17-2】、【17-3】、【17-4】で束柱に固定した輪止めブラケット A に固定してください。

2-4 小口キャップの取付け



①輪止め用Uボルトの先端に、小口キャップを取付けてください。

⚠ 注 意

●小口キャップがないと、使用者がケガをするおそれがありますので、必ず取付けてください。

取説コード
E341
JZZ625094B
201303A_1041
201607C_1048